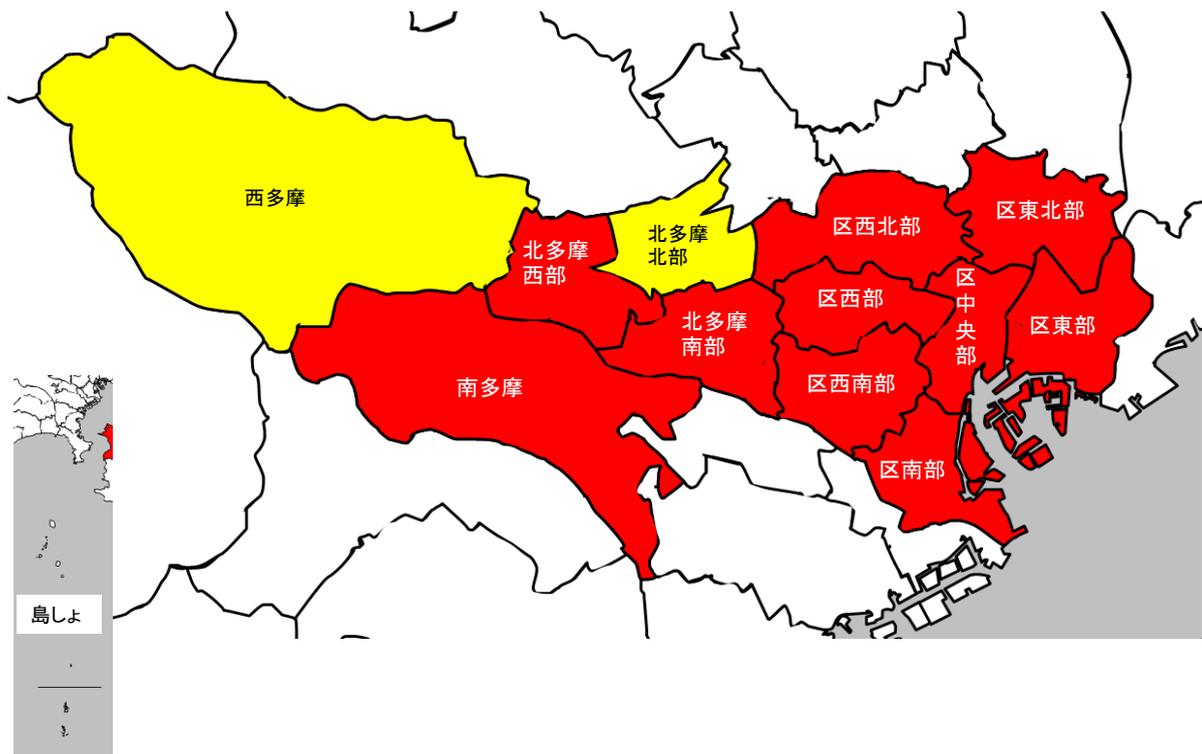


13. 東京都

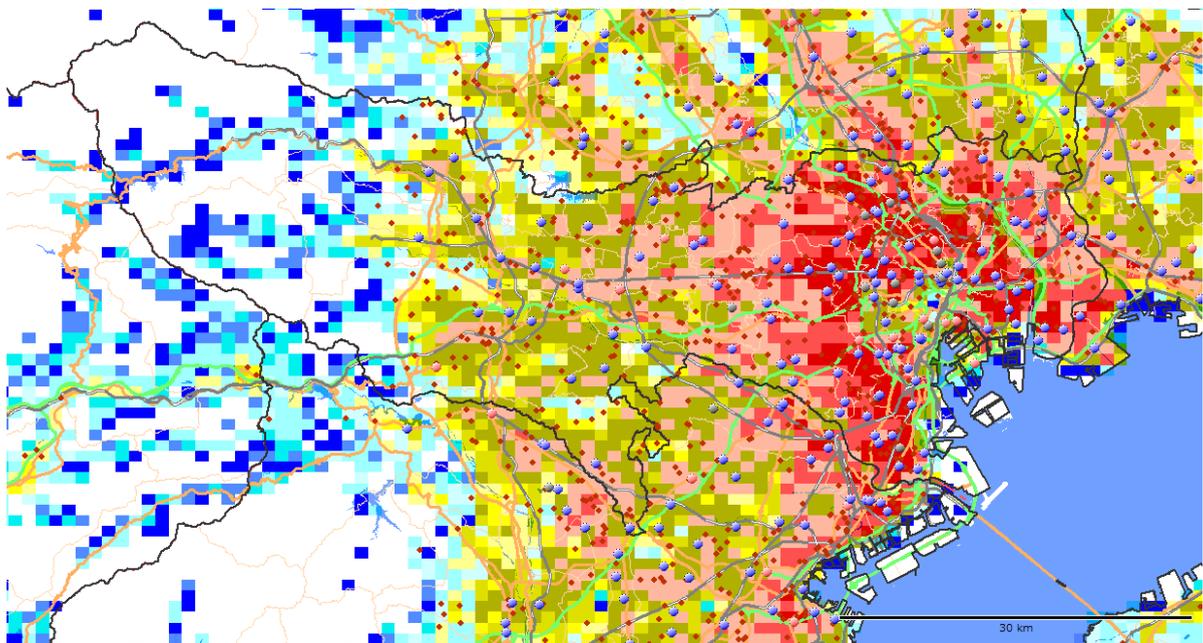


目次

東京都	13	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	13	-	8
1. 区中央部医療圏	13	-	26
2. 区南部医療圏	13	-	31
3. 区西南部医療圏	13	-	36
4. 区西部医療圏	13	-	41
5. 区西北部医療圏	13	-	46
6. 区東北部医療圏	13	-	51
7. 区東部医療圏	13	-	56
8. 西多摩医療圏	13	-	61
9. 南多摩医療圏	13	-	66
10. 北多摩西部医療圏	13	-	71
11. 北多摩南部医療圏	13	-	76
12. 北多摩北部医療圏	13	-	81
13. 島しょ医療圏	13	-	86

13. 東京都

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



(東京都) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 東京都は、総人口約13515千人(2015年)、面積2178km²、人口密度は6205人/km²である。

*人口の将来予測： 東京都の総人口は2025年に13179千人へと減少し(2015年比-2%)、2040年に12308千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の1438千人が、2025年にかけて1977千人へと増加し(2015年比+37%)、2040年には2139千人へと増加する(2025年比+8%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 東京都の一人当たり医療費(国保)は303千円(偏差値41)、介護給付費は253千円(偏差値50)であり、医療費は低いが、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 東京都の一人当たり急性期医療密度指数²は0.91、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.62で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が59(病院医師数56、診療所医師数64)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は45とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は46で、一般病床数はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は52と全国平均レベルである。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は59で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 東京都の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、131242人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が69257床(偏差値39)、高齢者住宅等が61985床(偏差値51)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、85880人(75歳以上1000人当たりの偏差値35)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設36、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設49、有料老人ホーム61、軽費ホーム45、グループホーム40、サ高住43である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値51と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、20384人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-35%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

東京都の総人口は、2005年12576601人が、2015年に13515271人と7%増加し、2025年の人口が13178672人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に17%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

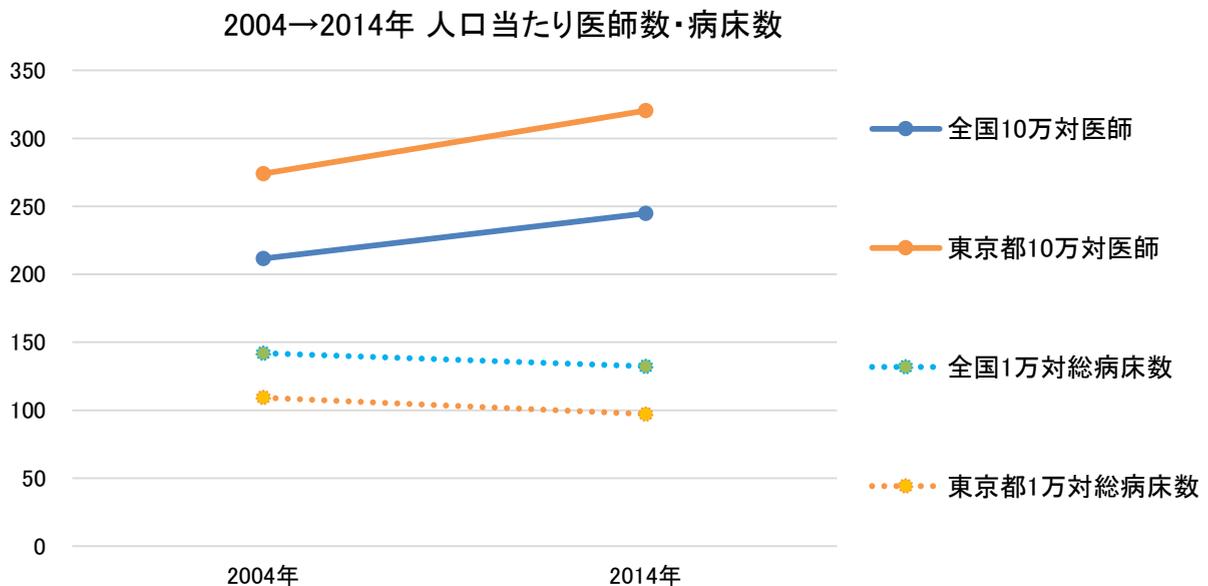
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が665(人口10万人当たり5.3病院(全国平均7.1)偏差値45)であったが、2014年に642(人口10万人当たり4.8病院(全国平均6.7)偏差値45)となり、10年間で23病院が減少した。

2004年の診療所数が12197(人口10万人当たり97診療所(全国平均76)偏差値60)であったが、2014年に12780(人口10万人当たり95診療所(全国平均79)偏差値58)と、583診療所が増加した。

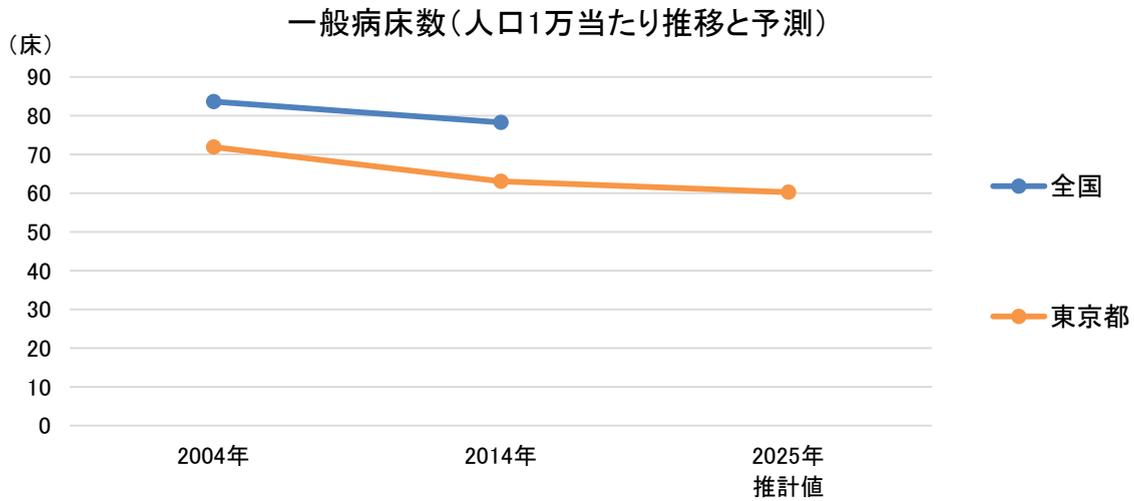
2004年の総病床数が137402床(人口1万人当たり109(全国平均142)偏差値44)であったが、2014年に131395床(人口1万人当たり97(全国平均132)偏差値44)と、6007床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が34463人(人口10万人当たり274人(全国平均212人)偏差値57)であったが、2014年に43297人(人口10万人当たり320人(全国平均245人)偏差値58)と、8834人の増加、率にして26%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



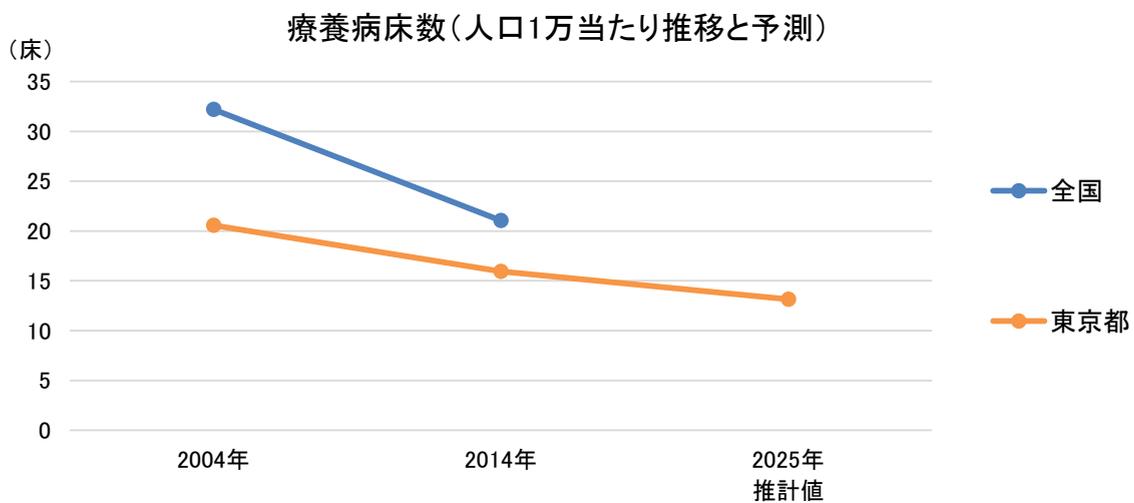
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が90472床(人口1万人当たり72(全国平均84)偏差値46)であったが、2014年に85206床(人口1万人当たり63(全国平均78)偏差値44)と、5266床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には79413床(2025年の推計人口1万人当たり60)になることが予想される。



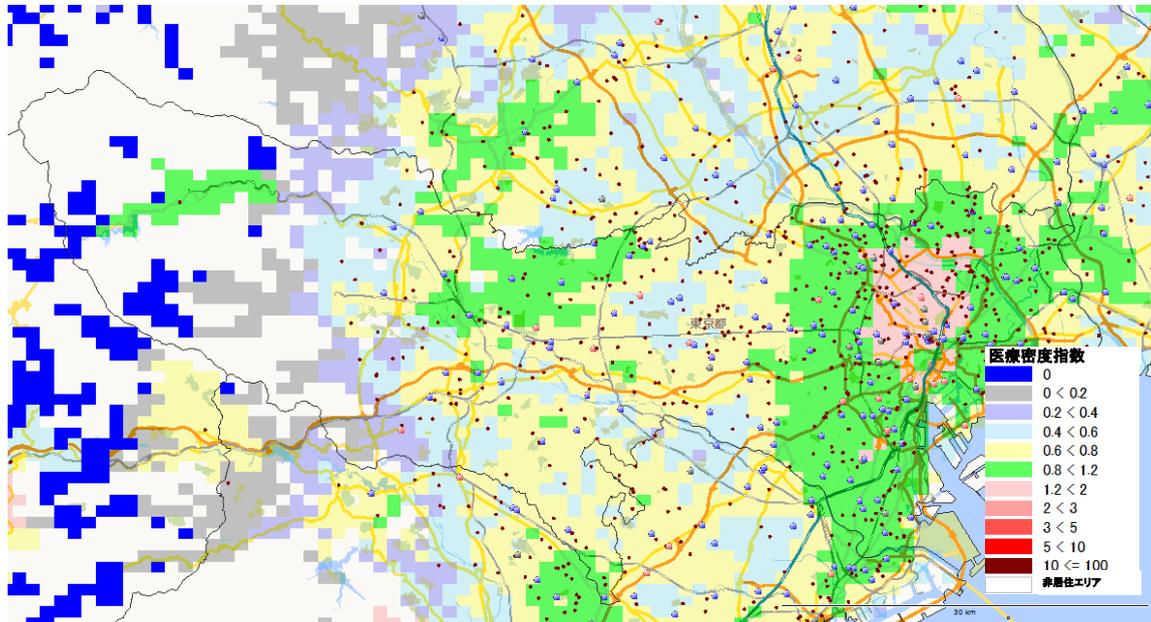
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が20102床(75歳以上1000人当たり21(全国平均32)偏差値43)であったが、2014年に22912床(75歳以上1000人当たり16(全国平均21)偏差値46)と、2810床の増加、率にして14%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には26004床(2025年の推計75歳以上1000人当たり13)になることが予想される。



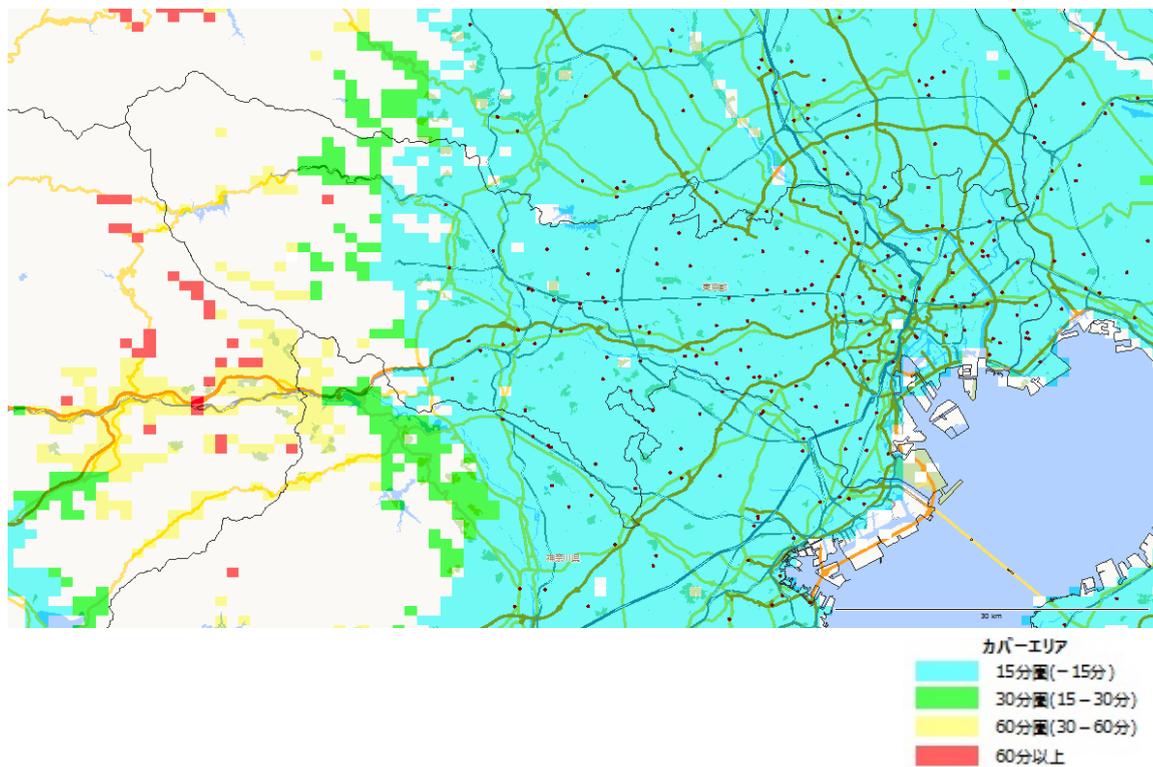
(東京都) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表13-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



13.東京都(2017年版)

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料⁶

※2017年版では、人口に関わる指標（偏差値等）については、2015年人口に基づいた計算を行っている。

資_図表 13-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		26%	120,700	107,439	16,126	21,775	22,232	-5%	-11%	35%	2%
東京都	13,515	1位	2,178	45位	6,204.7		22%	13,179	12,308	1,438	1,977	2,139	-2%	-7%	37%	8%
区中央部	861	6%	64	3%	13,524.0	大都市型	19%	796	758	79	100	117	-8%	-5%	27%	17%
区南部	1,104	8%	84	4%	13,220.8	大都市型	21%	1,074	1,016	110	151	158	-3%	-5%	37%	5%
区西南部	1,406	10%	88	4%	16,002.5	大都市型	20%	1,361	1,282	139	185	216	-3%	-6%	33%	17%
区西部	1,226	9%	68	3%	18,060.6	大都市型	21%	1,165	1,067	127	184	200	-5%	-8%	45%	9%
区西北部	1,916	14%	114	5%	16,817.8	大都市型	22%	1,902	1,771	211	304	340	-1%	-7%	44%	12%
区東北部	1,325	10%	98	5%	13,494.5	大都市型	24%	1,244	1,098	155	197	190	-6%	-12%	27%	-4%
区東部	1,436	11%	104	5%	13,827.2	大都市型	21%	1,433	1,403	138	176	191	0%	-2%	28%	9%
西多摩	391	3%	573	26%	682.6	地方都市型	27%	362	310	50	66	66	-7%	-14%	32%	0%
南多摩	1,430	11%	325	15%	4,405.2	大都市型	25%	1,441	1,353	160	241	252	1%	-6%	51%	5%
北多摩西部	641	5%	90	4%	7,114.0	大都市型	23%	638	590	69	101	108	0%	-8%	46%	7%
北多摩南部	1,023	8%	96	4%	10,641.5	大都市型	21%	1,017	965	105	149	172	-1%	-5%	42%	15%
北多摩北部	731	5%	77	4%	9,560.4	大都市型	24%	724	674	89	118	126	-1%	-7%	33%	7%
島しょ	26	0%	399	18%	66.3	過疎地域型	32%	23	19	4	5	4	-12%	-17%	25%	-20%

出典 <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月
<人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月
<面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月1日

資_図表 13-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,456,851	1,772,098	-21.6%
東京都	0.91	0.62	118,885	160,927	-35.4%
区中央部	1.19	0.45	5,003	8,168	-63.3%
区南部	1.05	0.36	7,710	12,275	-59.2%
区西南部	1.06	0.43	9,605	15,033	-56.5%
区西部	1.00	0.57	7,842	15,001	-91.3%
区西北部	0.96	0.66	16,353	24,725	-51.2%
区東北部	1.05	0.54	12,921	16,051	-24.2%
区東部	0.87	0.31	9,918	14,355	-44.7%
西多摩	0.69	1.84	9,603	5,398	43.8%
南多摩	0.70	1.01	16,748	19,599	-17.0%
北多摩西部	0.75	0.77	5,954	8,259	-38.7%
北多摩南部	0.71	0.53	8,986	12,089	-34.5%
北多摩北部	0.69	0.81	7,944	9,565	-20.4%
島しょ	0.18	0.37	298	409	-37.3%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

資_図表 13-3 医療費、介護給付費⁷

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	343	(44)	1.000	131	(30)	1.000	188	(19)	1.000	253	(35)
東京都	303	41	0.976	104	41	0.893	174	42	1.023	253	50
区中央部	283	36	0.959	94	38	0.833	165	37	1.026	283	59
区南部	331	47	1.022	117	46	0.950	188	50	1.062	254	50
区西南部	281	36	0.941	92	37	0.805	164	37	1.010	286	59
区西部	270	33	0.940	90	36	0.822	156	33	1.003	274	56
区西北部	297	40	0.973	103	41	0.890	170	40	1.021	263	53
区東北部	310	42	0.989	104	41	0.872	183	47	1.068	262	53
区東部	316	44	1.004	107	42	0.893	185	48	1.073	230	44
西多摩	310	42	0.912	111	44	0.862	175	43	0.937	204	36
南多摩	319	44	0.936	112	44	0.867	182	47	0.974	222	41
北多摩西部	308	42	0.937	111	44	0.891	171	41	0.949	231	44
北多摩南部	299	40	0.932	103	41	0.845	171	41	0.976	250	49
北多摩北部	316	44	0.959	115	45	0.917	177	44	0.977	246	48
島しょ	315	44	0.938	140	53	1.090	155	32	0.844	260	52

出典 <一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省
<一人あたり介護給付費>平成27年度介護保険事業状況報告(年報)
平成27年度累計(平成27年3月サービス分から平成28年2月サービス分まで)

※後期高齢者の医療費については、資_図表13-35を参照。

資_図表 13-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,480		6.7	(4.1)	100,995		79	(18.8)
東京都	648	7.6%	4.8	45	12,944	12.8%	96	59
区中央部	52	8%	6.0	48	2,188	17%	254	143
区南部	44	7%	4.0	43	1,010	8%	91	56
区西南部	51	8%	3.6	43	1,683	13%	120	71
区西部	43	7%	3.5	42	1,403	11%	114	69
区西北部	96	15%	5.0	46	1,636	13%	85	53
区東北部	86	13%	6.5	50	954	7%	72	46
区東部	53	8%	3.7	43	1,036	8%	72	46
西多摩	30	5%	7.7	52	252	2%	64	42
南多摩	78	12%	5.5	47	968	7%	68	44
北多摩西部	25	4%	3.9	43	494	4%	77	49
北多摩南部	47	7%	4.6	45	838	6%	82	51
北多摩北部	42	6%	5.7	48	461	4%	63	41
島しょ	1	0%	3.8	43	21	0%	79	50

出典 平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月

13.東京都(2017年版)

資_図表 13-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	無床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	有床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	100,995		79	(18.8)	93,034		73	(18.4)	7,961		6.3	(6.4)
東京都	12,944	12.8%	96	59	12,534	13.5%	93	61	410	5.2%	3.0	45
区中央部	2,188	17%	254	143	2,152	17%	250	146	36	9%	4.2	47
区南部	1,010	8%	91	56	982	8%	89	59	28	7%	2.5	44
区西南部	1,683	13%	120	71	1,635	13%	116	73	48	12%	3.4	46
区西部	1,403	11%	114	69	1,356	11%	111	70	47	11%	3.8	46
区西北部	1,636	13%	85	53	1,577	13%	82	55	59	14%	3.1	45
区東北部	954	7%	72	46	909	7%	69	47	45	11%	3.4	45
区東部	1,036	8%	72	46	998	8%	70	48	38	9%	2.6	44
西多摩	252	2%	64	42	238	2%	61	43	14	3%	3.6	46
南多摩	968	7%	68	44	931	7%	65	46	37	9%	2.6	44
北多摩西部	494	4%	77	49	477	4%	74	51	17	4%	2.7	44
北多摩南部	838	6%	82	51	817	7%	80	54	21	5%	2.1	43
北多摩北部	461	4%	63	41	450	4%	62	44	11	3%	1.5	43
島しょ	21	0%	79	50	12	0%	45	35	9	2%	34.0	94
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 13-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	病院総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院+診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,565,968		1,232	(497)	107,626		85	(101)	1,673,594		1,317	(557)
東京都	128,166	8.2%	948	44	4,205	3.9%	31	45	132,371	7.9%	979	44
区中央部	13,782	11%	1,601	57	325	8%	38	45	14,107	11%	1,639	56
区南部	8,240	6%	746	40	269	6%	24	44	8,509	6%	771	40
区西南部	11,177	9%	795	41	409	10%	29	45	11,586	9%	824	41
区西部	10,617	8%	866	43	381	9%	31	45	10,998	8%	897	42
区西北部	17,246	13%	900	43	548	13%	29	44	17,794	13%	929	43
区東北部	10,472	8%	790	41	581	14%	44	46	11,053	8%	834	41
区東部	8,184	6%	570	37	522	12%	36	45	8,706	7%	606	37
西多摩	6,689	5%	1,711	60	152	4%	39	45	6,841	5%	1,750	58
南多摩	17,608	14%	1,231	50	420	10%	29	45	18,028	14%	1,260	49
北多摩西部	4,480	3%	699	39	181	4%	28	44	4,661	4%	728	39
北多摩南部	11,096	9%	1,085	47	209	5%	20	44	11,305	9%	1,105	46
北多摩北部	8,521	7%	1,165	49	144	3%	20	44	8,665	7%	1,185	48
島しょ	54	0%	204	29	64	2%	242	66	118	0%	445	34
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 13-7 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床数				療養病床数				精神病床数			
	一般病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	893,970		703	(227)	328,406		258	(209)	336,282		265	(217)
東京都	81,493	9.1%	603	46	23,524	7.2%	174	46	22,494	6.7%	166	45
区中央部	12,861	16%	1,494	85	585	2%	68	41	298	1%	35	39
区南部	6,326	8%	573	44	1,716	7%	155	45	178	1%	16	39
区西南部	7,845	10%	558	44	1,988	8%	141	44	1,307	6%	93	42
区西部	8,763	11%	715	51	1,495	6%	122	43	315	1%	26	39
区西北部	10,176	12%	531	42	3,795	16%	198	47	3,243	14%	169	46
区東北部	6,912	8%	522	42	2,066	9%	156	45	1,453	6%	110	43
区東部	6,800	8%	474	40	1,159	5%	81	42	165	1%	11	38
西多摩	1,773	2%	454	39	2,297	10%	588	66	2,615	12%	669	69
南多摩	6,257	8%	437	38	4,082	17%	285	51	7,227	32%	505	61
北多摩西部	3,320	4%	518	42	1,091	5%	170	46	63	0%	10	38
北多摩南部	6,086	7%	595	45	1,457	6%	142	44	3,446	15%	337	53
北多摩北部	4,322	5%	591	45	1,793	8%	245	49	2,184	10%	299	52
島しょ	52	0%	196	28	0	0%	0	38	0	0%	0	38
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 13-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数				地域包括ケア病床数			
	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	73,304		58	(47)	61,433		58	(56)
東京都	6,021	8.2%	45	47	3,387	5.5%	25	44
区中央部	201	3%	23	43	341	10%	40	47
区南部	332	6%	30	44	342	10%	31	45
区西南部	765	13%	54	49	353	10%	25	44
区西部	661	11%	54	49	343	10%	28	45
区西北部	1,072	18%	56	50	448	13%	23	44
区東北部	628	10%	47	48	256	8%	19	43
区東部	418	7%	29	44	378	11%	26	44
西多摩	223	4%	57	50	148	4%	38	46
南多摩	547	9%	38	46	261	8%	18	43
北多摩西部	306	5%	48	48	233	7%	36	46
北多摩南部	476	8%	47	48	201	6%	20	43
北多摩北部	392	7%	54	49	75	2%	10	41
島しょ	0	0%	0	38	8	0%	30	45
出典	平成27年度病床機能報告 平成27年7月				平成29年5月地方厚生局			

13.東京都(2017年版)

資_図表 13-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
東京都	42,969	36,039	2,190	85,340	46,713	19,966	43.6%	46	9.9%	50
区中央部	8,817	8,427	220	4,981	4,439	365	65.5%	55	37.6%	62
区南部	1,788	1,645	93	6,434	4,761	1,393	25.7%	39	6.3%	49
区西南部	6,399	4,839	278	4,570	2,899	1,646	62.5%	54	14.4%	52
区西部	2,827	2,365	380	7,744	6,374	1,093	27.1%	40	25.8%	57
区西北部	3,481	2,997	72	13,890	7,370	3,502	28.9%	40	2.0%	47
区東北部	827	646	164	9,642	6,249	1,933	9.4%	32	7.8%	49
区東部	3,663	3,587	30	4,253	3,092	982	53.7%	51	3.0%	47
西多摩	1,231	1,177	0	5,491	1,007	1,902	53.9%	51	0.0%	46
南多摩	3,247	2,358	0	14,363	4,071	3,863	36.7%	44	0.0%	46
北多摩西部	1,966	1,781	116	2,443	1,437	1,006	55.3%	51	10.3%	51
北多摩南部	3,785	2,764	44	7,411	3,610	1,281	43.4%	46	3.3%	48
北多摩北部	4,886	3,401	793	4,118	1,404	1,000	70.8%	58	44.2%	65
島しょ	52	52	0	0	0	0	100.0%	70		
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資_図表 13-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
東京都	324,576	11.5%	2,402	52	97,992	9.6%	725	47
区中央部	91,596	28%	10,642	132	10,164	10%	1,181	63
区南部	25,308	8%	2,293	51	5,616	6%	509	40
区西南部	31,956	10%	2,274	51	11,760	12%	837	51
区西部	33,540	10%	2,736	55	10,404	11%	849	52
区西北部	28,032	9%	1,463	43	11,040	11%	576	42
区東北部	16,560	5%	1,250	41	9,348	10%	705	46
区東部	29,292	9%	2,040	48	10,404	11%	725	47
西多摩	5,616	2%	1,437	42	2,160	2%	553	41
南多摩	19,956	6%	1,395	42	9,204	9%	643	44
北多摩西部	9,348	3%	1,459	43	4,392	4%	686	46
北多摩南部	24,768	8%	2,422	52	8,280	8%	810	50
北多摩北部	8,604	3%	1,176	40	5,184	5%	709	47
島しょ	0	0%	0	28	36	0%	136	26
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 13-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	345,356		272	(89)	214,678		169	(65)	130,678		103	(31)
東京都	47,879	13.9%	354	59	28,186	13.1%	209	56	19,694	15.1%	146	64
区中央部	10,806	23%	1,256	161	6,800	24%	790	145	4,007	20%	466	168
区南部	3,650	8%	331	57	2,160	8%	196	54	1,491	8%	135	60
区西南部	5,083	11%	362	60	2,688	10%	191	53	2,395	12%	170	72
区西部	6,309	13%	515	77	3,921	14%	320	73	2,389	12%	195	80
区西北部	5,524	12%	288	52	3,296	12%	172	50	2,228	11%	116	54
区東北部	2,971	6%	224	45	1,475	5%	111	41	1,496	8%	113	53
区東部	3,323	7%	231	45	1,743	6%	121	43	1,580	8%	110	52
西多摩	811	2%	207	43	528	2%	135	45	283	1%	72	40
南多摩	3,091	6%	216	44	1,663	6%	116	42	1,428	7%	100	49
北多摩西部	1,401	3%	219	44	694	2%	108	41	708	4%	110	52
北多摩南部	3,295	7%	322	56	2,233	8%	218	58	1,063	5%	104	50
北多摩北部	1,573	3%	215	44	981	3%	134	45	592	3%	81	43
島しょ	41	0%	156	37	6	0%	23	28	35	0%	133	60
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 13-12 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.3	(6.5)	12,494		9.8	(4.5)	10,443		8.2	(3.7)
東京都	2,513	16.0%	18.6	60	1,836	14.7%	13.6	58	1,523	14.6%	11.3	58
区中央部	674	27%	78.3	152	284	15%	33.0	102	370	24%	43.0	144
区南部	173	7%	15.7	55	116	6%	10.5	52	109	7%	9.9	54
区西南部	256	10%	18.2	59	263	14%	18.7	70	199	13%	14.2	66
区西部	416	17%	33.9	83	241	13%	19.7	72	222	15%	18.1	77
区西北部	280	11%	14.6	54	207	11%	10.8	52	168	11%	8.8	51
区東北部	130	5%	9.8	46	122	7%	9.2	49	75	5%	5.7	43
区東部	131	5%	9.1	45	133	7%	9.3	49	120	8%	8.4	50
西多摩	37	1%	9.5	46	22	1%	5.6	41	16	1%	4.1	39
南多摩	137	5%	9.6	46	121	7%	8.5	47	76	5%	5.3	42
北多摩西部	58	2%	9.1	45	63	3%	9.8	50	36	2%	5.6	43
北多摩南部	153	6%	15.0	54	203	11%	19.9	72	102	7%	10.0	55
北多摩北部	68	3%	9.3	45	60	3%	8.2	46	28	2%	3.8	38
島しょ	0	0%	0	31	1	0%	3.8	36	2	0%	7.5	48
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

13.東京都(2017年版)

資_図表 13-13 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.1)	7,466		5.9	(2.5)
東京都	834	15.8%	6.2	60	1,378	14.7%	10.2	59	1,050	14.1%	7.8	57
区中央部	185	22%	21.5	134	286	21%	33.2	133	208	20%	24.2	122
区南部	77	9%	7.0	64	108	8%	9.8	58	96	9%	8.7	61
区西南部	107	13%	7.6	67	165	12%	11.7	64	121	12%	8.6	61
区西部	126	15%	10.3	80	195	14%	15.9	77	140	13%	11.4	72
区西北部	92	11%	4.8	53	187	14%	9.8	58	130	12%	6.8	54
区東北部	41	5%	3.1	45	95	7%	7.2	49	71	7%	5.4	48
区東部	49	6%	3.4	46	91	7%	6.3	47	88	8%	6.1	51
西多摩	7	1%	1.8	39	15	1%	3.8	39	10	1%	2.6	37
南多摩	57	7%	4.0	49	72	5%	5.0	42	58	6%	4.1	43
北多摩西部	21	3%	3.3	46	45	3%	7.0	49	22	2%	3.4	40
北多摩南部	52	6%	5.1	55	79	6%	7.7	51	75	7%	7.3	56
北多摩北部	20	2%	2.7	43	40	3%	5.5	44	31	3%	4.2	44
島しょ	0	0%	0	30	0	0%	0	26	0	0%	0	27
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 13-14 専門医数 (精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.0	(6.9)	15,369		12.1	(4.4)
東京都	1,146	13.8%	8.5	56	2,639	12.9%	19.5	55	1,651	10.7%	12.2	50
区中央部	222	19%	25.8	105	747	28%	86.8	153	280	17%	32.5	96
区南部	47	4%	4.3	43	196	7%	17.8	52	145	9%	13.1	52
区西南部	147	13%	10.5	61	213	8%	15.2	49	168	10%	12.0	50
区西部	142	12%	11.6	65	377	14%	30.8	71	201	12%	16.4	60
区西北部	165	14%	8.6	56	276	10%	14.4	48	230	14%	12.0	50
区東北部	63	5%	4.8	45	169	6%	12.8	45	121	7%	9.1	43
区東部	49	4%	3.4	41	192	7%	13.4	46	137	8%	9.5	44
西多摩	18	2%	4.6	44	32	1%	8.2	39	25	2%	6.4	37
南多摩	100	9%	7.0	51	136	5%	9.5	40	114	7%	8.0	41
北多摩西部	22	2%	3.4	41	69	3%	10.8	42	55	3%	8.6	42
北多摩南部	106	9%	10.4	61	154	6%	15.1	49	120	7%	11.7	49
北多摩北部	65	6%	8.9	57	74	3%	10.1	41	54	3%	7.4	39
島しょ	0	0%	0	31	4	0%	15.1	49	1	0%	3.8	31
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 13-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.0)	6,376		5.0	(2.3)	5,300		4.2	(2.9)
東京都	627	11.0%	4.6	51	742	11.6%	5.5	52	703	13.3%	5.2	54
区中央部	142	23%	16.5	109	164	22%	19.1	110	235	33%	27.3	130
区南部	58	9%	5.3	54	69	9%	6.3	55	48	7%	4.3	51
区西南部	68	11%	4.8	52	78	11%	5.5	52	63	9%	4.5	51
区西部	94	15%	7.7	66	104	14%	8.5	65	107	15%	8.7	66
区西北部	69	11%	3.6	46	81	11%	4.2	47	58	8%	3.0	46
区東北部	25	4%	1.9	37	31	4%	2.3	39	18	3%	1.4	40
区東部	42	7%	2.9	42	45	6%	3.1	42	35	5%	2.4	44
西多摩	13	2%	3.3	44	8	1%	2.0	37	10	1%	2.6	44
南多摩	41	7%	2.9	42	57	8%	4.0	46	28	4%	2.0	42
北多摩西部	23	4%	3.6	46	25	3%	3.9	45	21	3%	3.3	47
北多摩南部	36	6%	3.5	45	56	8%	5.5	52	60	9%	5.9	56
北多摩北部	16	3%	2.2	39	24	3%	3.3	43	20	3%	2.7	45
島しょ	0	0%	0	28	0	0%	0	28	0	0%	0	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 13-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.0)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
東京都	859	13.1%	6.4	54	245	15.9%	1.8	57	441	13.4%	3.3	54
区中央部	238	28%	27.7	125	77	31%	8.9	135	90	20%	10.5	96
区南部	75	9%	6.8	55	18	7%	1.6	55	24	5%	2.2	48
区西南部	82	10%	5.8	52	26	11%	1.8	57	42	10%	3.0	52
区西部	124	14%	10.1	66	34	14%	2.8	67	58	13%	4.7	63
区西北部	83	10%	4.3	47	26	11%	1.4	52	48	11%	2.5	50
区東北部	39	5%	2.9	43	4	2%	0.3	40	19	4%	1.4	43
区東部	56	7%	3.9	46	17	7%	1.2	50	29	7%	2.0	47
西多摩	17	2%	4.3	47	4	2%	1.0	48	5	1%	1.3	42
南多摩	34	4%	2.4	41	11	4%	0.8	45	44	10%	3.1	53
北多摩西部	19	2%	3.0	43	8	3%	1.2	50	26	6%	4.1	59
北多摩南部	72	8%	7.0	56	14	6%	1.4	52	42	10%	4.1	59
北多摩北部	20	2%	2.7	42	6	2%	0.8	46	13	3%	1.8	45
島しょ	0	0%	0	33	0	0%	0	37	1	0%	3.8	57
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

13.東京都(2017年版)

資_図表 13-17 専門医数 (形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
東京都	386	19.5%	2.9	61	269	11.4%	2.0	51
区中央部	125	32%	14.5	161	31	12%	3.6	63
区南部	28	7%	2.5	58	26	10%	2.4	54
区西南部	42	11%	3.0	62	32	12%	2.3	53
区西部	66	17%	5.4	83	37	14%	3.0	59
区西北部	46	12%	2.4	57	33	12%	1.7	49
区東北部	11	3%	0.8	44	14	5%	1.1	44
区東部	12	3%	0.8	44	23	9%	1.6	48
西多摩	2	1%	0.5	41	3	1%	0.8	42
南多摩	12	3%	0.8	44	19	7%	1.3	46
北多摩西部	10	3%	1.6	50	14	5%	2.2	52
北多摩南部	29	8%	2.8	61	20	7%	2.0	51
北多摩北部	3	1%	0.4	40	17	6%	2.3	54
島しょ	0	0%	0	37	0	0%	0	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

資_図表 13-18 看護師数 (総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,114,100		877	(286)	916,998		722	(240)	197,102		155	(73)
東京都	98,265	8.8%	727	45	80,969	8.8%	599	45	17,296	8.8%	128	46
区中央部	16,421	17%	1,908	86	12,951	16%	1,505	83	3,470	20%	403	84
区南部	6,746	7%	611	41	5,672	7%	514	41	1,074	6%	97	42
区西南部	9,640	10%	686	43	7,908	10%	563	43	1,732	10%	123	46
区西部	10,138	10%	827	48	8,205	10%	669	48	1,933	11%	158	50
区西北部	11,978	12%	625	41	9,975	12%	521	42	2,003	12%	105	43
区東北部	6,887	7%	520	38	5,370	7%	405	37	1,517	9%	114	44
区東部	7,308	7%	509	37	5,764	7%	401	37	1,544	9%	108	44
西多摩	2,935	3%	751	46	2,588	3%	662	48	347	2%	89	41
南多摩	9,240	9%	646	42	7,943	10%	555	43	1,297	7%	91	41
北多摩西部	3,713	4%	580	40	2,948	4%	460	39	764	4%	119	45
北多摩南部	8,123	8%	794	47	7,262	9%	710	50	861	5%	84	40
北多摩北部	5,012	5%	685	43	4,353	5%	595	45	659	4%	90	41
島しょ	123	0%	466	36	30	0%	112	25	94	1%	353	77
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 13-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	126,125		99	(53)	288,151		227	(91)
東京都	9,468	7.5%	70	45	46,343	16.1%	343	63
区中央部	600	6%	70	44	13,424	29%	1,560	197
区南部	738	8%	67	44	3,686	8%	334	62
区西南部	976	10%	69	44	4,161	9%	296	58
区西部	904	10%	74	45	4,543	10%	371	66
区西北部	1,484	16%	77	46	5,000	11%	261	54
区東北部	845	9%	64	43	2,572	6%	194	46
区東部	666	7%	46	40	3,048	7%	212	48
西多摩	348	4%	89	48	652	1%	167	43
南多摩	1,079	11%	75	46	3,354	7%	234	51
北多摩西部	452	5%	71	45	1,421	3%	222	49
北多摩南部	774	8%	76	46	2,712	6%	265	54
北多摩北部	601	6%	82	47	1,747	4%	239	51
島しょ	2	0%	8	33	23	0%	87	35
出典	平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資_図表 13-20 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	13,255		0.8	(0.4)	1,210		0.1	(0.1)	10,420		0.6	(0.2)
東京都	1,274	9.6%	0.9	51	97	8.0%	0.1	49	955	9.2%	0.7	51
区中央部	139	11%	1.8	72	3	3%	0.0	44	69	7%	0.9	61
区南部	116	9%	1.1	55	4	4%	0.0	44	78	8%	0.7	53
区西南部	180	14%	1.3	61	5	5%	0.0	44	122	13%	0.9	61
区西部	150	12%	1.2	58	7	7%	0.1	47	84	9%	0.7	51
区西北部	209	16%	1.0	54	17	18%	0.1	51	129	14%	0.6	48
区東北部	104	8%	0.7	46	19	20%	0.1	58	101	11%	0.7	50
区東部	99	8%	0.7	48	6	6%	0.0	45	82	9%	0.6	47
西多摩	15	1%	0.3	38	5	5%	0.1	54	28	3%	0.6	46
南多摩	85	7%	0.5	43	14	14%	0.1	52	88	9%	0.5	45
北多摩西部	40	3%	0.6	44	6	6%	0.1	52	45	5%	0.6	50
北多摩南部	78	6%	0.7	48	8	8%	0.1	50	73	8%	0.7	52
北多摩北部	56	4%	0.6	46	3	3%	0.0	43	55	6%	0.6	49
島しょ	3	0%	0.7	47	0	0%	0	38	1	0%	0.2	30
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成29年5月			

13.東京都(2017年版)

資_図表 13-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
					全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,674,440		104	(17)	992,340		62	(12)	682,100		42	(16)
東京都	131,242	7.8%	91	43	69,257	7.0%	48	39	61,985	9.1%	43	51
区中央部	5,306	4%	67	28	2,969	4%	38	31	2,337	4%	30	42
区南部	8,428	6%	76	34	3,604	5%	33	26	4,824	8%	44	51
区西南部	10,933	8%	78	35	3,917	6%	28	23	7,016	11%	50	55
区西部	8,236	6%	65	27	3,752	5%	30	24	4,484	7%	35	46
区西北部	18,204	14%	86	40	9,035	13%	43	35	9,169	15%	43	51
区東北部	15,234	12%	98	47	8,282	12%	53	43	6,952	11%	45	52
区東部	10,287	8%	75	33	5,667	8%	41	33	4,620	7%	34	44
西多摩	9,925	8%	200	107	8,843	13%	178	145	1,082	2%	22	37
南多摩	18,620	14%	116	57	9,617	14%	60	49	9,003	15%	56	59
北多摩西部	6,995	5%	101	48	3,927	6%	57	46	3,068	5%	44	51
北多摩南部	9,733	7%	92	43	4,245	6%	40	33	5,488	9%	52	56
北多摩北部	9,043	7%	101	49	5,110	7%	57	47	3,933	6%	44	51
島しょ	298	0%	69	30	289	0%	67	55	9	0%	2	25
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 13-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
					全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	364,437		23	(5.8)	563,306		35	(9.7)	64,597		4.0	(4.1)
東京都	20,466	5.6%	14	36	43,724	7.8%	30	45	5,067	7.8%	3.5	49
区中央部	789	4%	10	28	2,081	5%	26	41	99	2%	1.3	43
区南部	786	4%	7	23	2,425	6%	22	37	393	8%	3.6	49
区西南部	1,099	5%	8	25	2,568	6%	18	33	250	5%	1.8	45
区西部	868	4%	7	23	2,723	6%	21	36	161	3%	1.3	43
区西北部	3,036	15%	14	36	5,190	12%	25	39	809	16%	3.8	50
区東北部	3,115	15%	20	46	4,729	11%	31	45	438	9%	2.8	47
区東部	2,182	11%	16	38	3,299	8%	24	39	186	4%	1.3	44
西多摩	1,415	7%	29	60	6,580	15%	133	150	848	17%	17.1	82
南多摩	2,641	13%	16	39	5,861	13%	37	52	1,115	22%	7.0	57
北多摩西部	1,369	7%	20	45	2,498	6%	36	51	60	1%	0.9	42
北多摩南部	1,597	8%	15	37	2,339	5%	22	37	309	6%	2.9	47
北多摩北部	1,569	8%	18	41	3,142	7%	35	50	399	8%	4.5	51
島しょ	0	0%	0	11	289	1%	67	83	0	0%	0	40
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 13-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	有料老人ホーム			軽費ホーム	軽費ホーム			グループホーム	グループホーム		
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	230,505		14.3	(10.8)	23,117		1.4	(2.1)	195,525		12.1	(5.8)
東京都	38,278	16.6%	26.6	61	630	2.7%	0.4	45	9,126	4.7%	6.3	40
区中央部	1,470	4%	18.6	54	118	19%	1.5	50	446	5%	5.6	39
区南部	2,931	8%	26.5	61	110	17%	1.0	48	810	9%	7.3	42
区西南部	4,658	12%	33.4	68	0	0%	0	43	884	10%	6.3	40
区西部	3,069	8%	24.2	59	170	27%	1.3	50	851	9%	6.7	41
区西北部	5,721	15%	27.1	62	0	0%	0	43	1,269	14%	6.0	39
区東北部	3,375	9%	21.8	57	60	10%	0.4	45	1,204	13%	7.8	42
区東部	3,086	8%	22.4	57	88	14%	0.6	46	1,077	12%	7.8	43
西多摩	413	1%	8.3	44	0	0%	0	43	180	2%	3.6	35
南多摩	6,051	16%	37.8	72	30	5%	0.2	44	860	9%	5.4	38
北多摩西部	1,423	4%	20.5	56	14	2%	0.2	44	402	4%	5.8	39
北多摩南部	4,025	11%	38.2	72	40	6%	0.4	45	586	6%	5.6	39
北多摩北部	2,056	5%	23.1	58	0	0%	0	43	548	6%	6.2	40
島しょ	0	0%	0	37	0	0%	0	43	9	0%	2.1	33
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 13-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	サ高住(全施設)			サ高住 (特定 施設)	サ高住(特定 施設)			サ高住 (非特定 施設)	サ高住(非特定 施設)			
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	232,953		14.4	(7.2)	15,364		1.0	(1.7)	217,589		13.5	(6.7)	
東京都	13,951	6.0%	9.7	43	1,594	10.4%	1.1	51	12,357	5.7%	8.6	43	
区中央部	303	2%	3.8	35	0	0%	0	44	303	2%	3.8	36	
区南部	973	7%	8.8	42	255	16%	2.3	58	718	6%	6.5	40	
区西南部	1,474	11%	10.6	45	146	9%	1.0	51	1,328	11%	9.5	44	
区西部	394	3%	3.1	34	0	0%	0	44	394	3%	3.1	35	
区西北部	2,179	16%	10.3	44	328	21%	1.6	54	1,851	15%	8.8	43	
区東北部	2,313	17%	14.9	51	0	0%	0	44	2,313	19%	14.9	52	
区東部	369	3%	2.7	34	0	0%	0	44	369	3%	2.7	34	
西多摩	489	4%	9.8	44	167	10%	3.4	64	322	3%	6.5	40	
南多摩	2,062	15%	12.9	48	190	12%	1.2	51	1,872	15%	11.7	47	
北多摩西部	1,229	9%	17.7	55	188	12%	2.7	60	1,041	8%	15.0	52	
北多摩南部	837	6%	7.9	41	90	6%	0.9	49	747	6%	7.1	41	
北多摩北部	1,329	10%	14.9	51	230	14%	2.6	60	1,099	9%	12.3	48	
島しょ	0	0%	0	30	0	0%	0	44	0	0%	0	30	
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計			平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの					平成29年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの				

資_図表 13-25 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事看護師数				看護師数(施設)				看護師数(訪問)			
	介護サービス従事看護師数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	165,392		10.3	(2.3)	119,201		7.4	(2.1)	46,191		2.9	(1.0)
東京都	12,821	7.8%	8.9	44	8,316	7.0%	5.8	42	4,505	9.8%	3.1	53
区中央部	644	5%	8.2	41	350	4%	4.4	36	295	7%	3.7	59
区南部	855	7%	7.7	39	487	6%	4.4	36	368	8%	3.3	55
区西南部	1,336	10%	9.6	47	724	9%	5.2	39	611	14%	4.4	66
区西部	903	7%	7.1	37	487	6%	3.8	33	416	9%	3.3	54
区西北部	1,838	14%	8.7	43	1,236	15%	5.8	43	602	13%	2.8	50
区東北部	1,350	11%	8.7	43	839	10%	5.4	40	511	11%	3.3	55
区東部	1,029	8%	7.5	38	630	8%	4.6	36	400	9%	2.9	50
西多摩	783	6%	15.8	74	648	8%	13.0	77	135	3%	2.7	48
南多摩	1,613	13%	10.1	49	1,231	15%	7.7	51	382	8%	2.4	45
北多摩西部	619	5%	8.9	44	406	5%	5.9	43	213	5%	3.1	52
北多摩南部	947	7%	9.0	45	633	8%	6.0	43	314	7%	3.0	51
北多摩北部	879	7%	9.9	48	623	7%	7.0	48	256	6%	2.9	50
島しょ	24	0%	5.6	30	21	0%	5.0	38	3	0%	0.6	26
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 13-26 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数				介護職員数(介護施設等)				介護職員数(在宅)			
	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (介護施設等)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (在宅)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,457,554		90	(12.5)	1,233,195		76	(11.5)	224,360		13.9	(5.6)
東京都	106,264	7.3%	74	37	85,880	7.0%	60	35	20,384	9.1%	14.2	50
区中央部	5,319	5%	67	32	4,004	5%	51	28	1,315	6%	16.6	55
区南部	6,545	6%	59	25	5,089	6%	46	24	1,455	7%	13.2	49
区西南部	9,009	8%	65	29	6,882	8%	49	26	2,127	10%	15.3	52
区西部	8,056	8%	63	28	6,139	7%	48	26	1,917	9%	15.1	52
区西北部	15,527	15%	73	36	12,019	14%	57	33	3,508	17%	16.6	55
区東北部	12,834	12%	83	44	10,149	12%	65	40	2,685	13%	17.3	56
区東部	9,267	9%	67	31	7,392	9%	54	30	1,876	9%	13.6	49
西多摩	7,157	7%	144	93	6,846	8%	138	103	311	2%	6.3	36
南多摩	12,645	12%	79	41	10,923	13%	68	43	1,721	8%	10.7	44
北多摩西部	5,446	5%	79	41	4,502	5%	65	40	945	5%	13.6	49
北多摩南部	7,529	7%	72	35	6,108	7%	58	34	1,421	7%	13.5	49
北多摩北部	6,662	6%	75	37	5,584	7%	63	38	1,078	5%	12.1	47
島しょ	268	0%	62	28	243	0%	56	33	26	0%	6.0	36
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 13-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		66	(31)	450,441		28	(12)	1,480,879		92	(32)
東京都	150,295	14.0%	105	62	58,102	12.9%	40	60	152,611	10.3%	106	54
区中央部	11,289	8%	143	74	4,128	7%	52	70	8,952	6%	113	57
区南部	12,515	8%	113	65	5,493	9%	50	68	10,648	7%	96	51
区西南部	23,060	15%	166	81	8,065	14%	58	75	16,642	11%	119	59
区西部	16,182	11%	128	69	5,451	9%	43	63	14,588	10%	115	57
区西北部	19,464	13%	92	58	7,083	12%	34	55	24,318	16%	115	57
区東北部	25,122	17%	162	80	5,073	9%	33	54	19,300	13%	125	60
区東部	9,811	7%	71	51	4,521	8%	33	54	13,850	9%	101	53
西多摩	1,709	1%	34	40	1,114	2%	22	45	2,478	2%	50	37
南多摩	12,481	8%	78	54	5,252	9%	33	54	14,691	10%	92	50
北多摩西部	5,382	4%	78	54	3,173	5%	46	65	7,302	5%	105	54
北多摩南部	7,731	5%	73	52	4,813	8%	46	65	10,881	7%	103	54
北多摩北部	5,373	4%	60	48	3,921	7%	44	64	8,756	6%	98	52
島しょ	176	0%	41	42	15	0%	3	29	205	0%	48	36

出典 平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの

資_図表 13-28 総人口の推移と医療需要⁸の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	120,699,960	-6%	12%	6%	18%
東京都		12,576,601	13,515,271	7%	13,178,672	5%	17%	7%	25%
区中央部	大都市型	680,856	860,669	26%	795,712	17%	26%	1%	27%
区南部	大都市型	1,012,031	1,103,937	9%	1,074,021	6%	15%	6%	23%
区西南部	大都市型	1,308,563	1,405,501	7%	1,361,068	4%	13%	8%	22%
区西部	大都市型	1,144,930	1,225,772	7%	1,164,925	2%	12%	9%	22%
区西北部	大都市型	1,796,419	1,915,881	7%	1,901,726	6%	17%	11%	29%
区東北部	大都市型	1,240,892	1,325,299	7%	1,243,907	0%	18%	1%	19%
区東部	大都市型	1,305,962	1,435,681	10%	1,432,511	10%	20%	4%	25%
西多摩	地方都市型	398,832	390,897	-2%	361,840	-9%	13%	3%	17%
南多摩	大都市型	1,364,453	1,430,411	5%	1,441,077	6%	21%	11%	35%
北多摩西部	大都市型	618,886	640,617	4%	638,003	3%	15%	12%	28%
北多摩南部	大都市型	968,714	1,022,646	6%	1,016,764	5%	15%	10%	27%
北多摩北部	大都市型	707,319	731,469	3%	723,675	2%	16%	7%	24%
島しょ	過疎地域型	28,744	26,491	-8%	23,443	-18%	0%	-3%	-2%

出典 <人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など)
<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月
<人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月

13.東京都(2017年版)

資_図表 13-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
東京都	665	5.3	45	642	4.8	45	-23	-3%	617
区中央部	60	8.8	54	51	5.9	48	-9	-15%	41
区南部	47	4.6	44	42	3.8	43	-5	-11%	37
区西南部	56	4.3	43	50	3.6	42	-6	-11%	43
区西部	47	4.1	42	43	3.5	42	-4	-9%	39
区西北部	103	5.7	46	95	5.0	46	-8	-8%	86
区東北部	80	6.4	48	86	6.5	50	6	8%	93
区東部	51	3.9	42	53	3.7	43	2	4%	55
西多摩	29	7.3	50	30	7.7	52	1	3%	31
南多摩	76	5.6	46	77	5.4	47	1	1%	78
北多摩西部	23	3.7	41	25	3.9	43	2	9%	27
北多摩南部	47	4.9	44	48	4.7	45	1	2%	49
北多摩北部	45	6.4	48	41	5.6	47	-4	-9%	37
島しょ	1	3.5	41	1	3.8	43	0	0%	1
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 13-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
東京都	12,197	97	60	12,780	95	58	583	5%	13,421
区中央部	1,885	277	150	2,111	245	139	226	12%	2,360
区南部	1,016	100	62	998	90	56	-18	-2%	978
区西南部	1,557	119	71	1,670	119	71	113	7%	1,794
区西部	1,440	126	75	1,401	114	69	-39	-3%	1,358
区西北部	1,581	88	56	1,625	85	53	44	3%	1,673
区東北部	892	72	48	934	70	45	42	5%	980
区東部	914	70	47	1,030	72	46	116	13%	1,158
西多摩	253	63	44	250	64	42	-3	-1%	247
南多摩	911	67	45	956	67	43	45	5%	1,006
北多摩西部	469	76	50	487	76	48	18	4%	507
北多摩南部	796	82	53	828	81	51	32	4%	863
北多摩北部	465	66	45	468	64	42	3	1%	471
島しょ	18	63	43	22	83	52	4	22%	26
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 13-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	245	(94)	40,834	15%	356,135
東京都	34,463	274	57	43,297	320	58	8,834	26%	53,017
区中央部	8,204	1,205	168	10,831	1,258	158	2,627	32%	13,721
区南部	2,749	272	57	3,286	298	56	537	20%	3,877
区西南部	3,676	281	58	4,412	314	57	736	20%	5,222
区西部	5,235	457	79	6,217	507	78	982	19%	7,297
区西北部	3,844	214	50	4,862	254	51	1,018	26%	5,982
区東北部	1,809	146	42	2,191	165	42	382	21%	2,611
区東部	1,788	137	41	2,773	193	44	985	55%	3,857
西多摩	501	126	40	646	165	42	145	29%	806
南多摩	2,064	151	43	2,494	174	42	430	21%	2,967
北多摩西部	924	149	43	1,149	179	43	225	24%	1,397
北多摩南部	2,416	249	55	3,071	300	56	655	27%	3,792
北多摩北部	1,219	172	45	1,332	182	43	113	9%	1,456
島しょ	34	118	39	33	125	37	-1	-3%	32
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資_図表 13-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	132	(56)	-131,929	-7%	1,535,514
東京都	137,402	109	44	131,395	97	44	-6,007	-4%	124,788
区中央部	15,606	229	66	13,881	161	55	-1,725	-11%	11,984
区南部	9,041	89	41	8,290	75	40	-751	-8%	7,464
区西南部	13,040	100	42	11,282	80	41	-1,758	-13%	9,348
区西部	11,586	101	43	10,972	90	42	-614	-5%	10,297
区西北部	19,479	108	44	17,713	92	43	-1,766	-9%	15,770
区東北部	10,518	85	40	10,993	83	41	475	5%	11,516
区東部	7,697	59	35	8,730	61	37	1,033	13%	9,866
西多摩	6,880	173	55	6,867	176	58	-13	0%	6,853
南多摩	17,567	129	48	17,891	125	49	324	2%	18,247
北多摩西部	4,344	70	37	4,668	73	39	324	7%	5,024
北多摩南部	11,134	115	45	11,420	112	46	286	3%	11,735
北多摩北部	10,392	147	51	8,570	117	47	-1,822	-18%	6,566
島しょ	118	41	32	118	45	34	0	0%	118
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 13-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	78	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
東京都	90,472	72	46	85,206	63	44	-5,266	-6%	79,413	60
区中央部	14,619	215	96	12,929	150	77	-1,690	-12%	11,070	139
区南部	7,352	73	46	6,574	60	43	-778	-11%	5,718	53
区西南部	9,225	70	45	8,239	59	43	-986	-11%	7,154	53
区西部	9,633	84	50	9,115	74	49	-518	-5%	8,545	73
区西北部	12,029	67	44	10,671	56	42	-1,358	-11%	9,177	48
区東北部	7,076	57	41	7,407	56	42	331	5%	7,771	62
区東部	6,566	50	38	7,331	51	40	765	12%	8,173	57
西多摩	1,944	49	38	1,925	49	39	-19	-1%	1,904	53
南多摩	6,654	49	38	6,660	47	38	6	0%	6,667	46
北多摩西部	3,301	53	39	3,449	54	41	148	4%	3,612	57
北多摩南部	6,495	67	44	6,384	62	44	-111	-2%	6,262	62
北多摩北部	5,462	77	48	4,412	60	43	-1,050	-19%	3,257	45
島しょ	116	40	35	110	42	36	-6	-5%	103	44
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 13-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
東京都	20,102	21	43	22,912	16	46	2,810	14%	26,004	13
区中央部	596	10	37	600	8	39	4	1%	604	6
区南部	1,261	16	41	1,518	14	44	257	20%	1,801	12
区西南部	1,245	12	38	1,699	12	42	454	36%	2,198	12
区西部	1,519	15	40	1,498	12	42	-21	-1%	1,475	8
区西北部	3,516	23	45	3,690	17	47	174	5%	3,881	13
区東北部	1,942	20	43	2,092	14	44	150	8%	2,257	11
区東部	896	11	38	1,174	9	39	278	31%	1,480	8
西多摩	2,348	70	72	2,316	47	72	-32	-1%	2,281	34
南多摩	3,185	35	51	3,962	25	53	777	24%	4,817	20
北多摩西部	843	19	43	1,150	17	46	307	36%	1,488	15
北多摩南部	1,216	17	41	1,464	14	44	248	20%	1,737	12
北多摩北部	1,535	28	48	1,743	20	49	208	14%	1,972	17
島しょ	0	0	32	6	1	33	6	100%	13	3
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

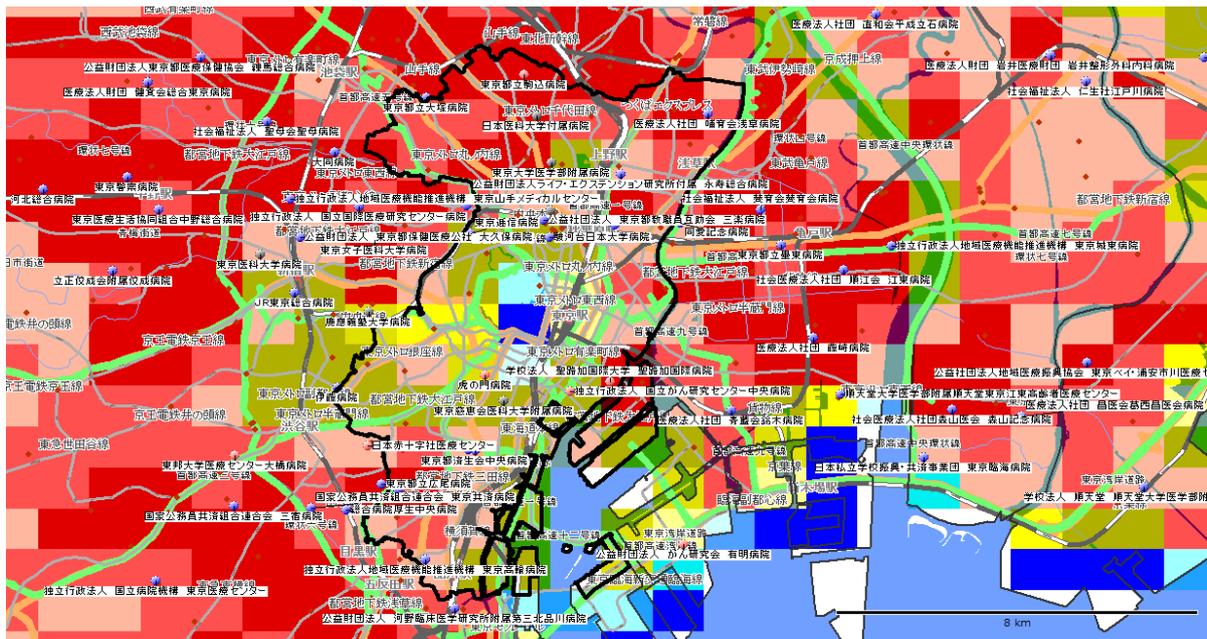
資_図表 13-35 後期高齢者の医療費・地域差指数⁷

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	934	(123)	1.000	460	(99)	1.000	441	(41)	1.000
東京都	915	49	1.005	416	46	0.933	460	55	1.066
区中央部	975	53	1.064	449	49	0.988	484	60	1.129
区南部	989	54	1.085	452	49	1.006	497	64	1.158
区西南部	959	52	1.043	422	46	0.922	496	63	1.153
区西部	962	52	1.046	446	49	0.973	474	58	1.106
区西北部	944	51	1.037	440	48	0.982	465	56	1.081
区東北部	927	49	1.029	404	44	0.926	485	61	1.123
区東部	900	47	1.003	390	43	0.899	472	58	1.096
西多摩	795	39	0.877	385	42	0.865	370	33	0.865
南多摩	847	43	0.943	388	43	0.891	421	45	0.981
北多摩西部	856	44	0.950	400	44	0.913	415	44	0.965
北多摩南部	881	46	0.966	392	43	0.873	448	52	1.043
北多摩北部	855	44	0.946	402	44	0.913	413	43	0.959
島しょ	729	33	0.788	361	40	0.780	345	27	0.801
出典	＜一人あたり医療費＞平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

くちゅうおうぶ 13-1. 区中央部医療圏

構成市区町村⁹ [千代田区](#) [台東区](#) [中央区](#) [港区](#) [文京区](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(区中央部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 区中央部(千代田区)は、総人口約861千人(2015年)、面積64km²、人口密度は13524人/km²の大都市型二次医療圏である。
- *人口の将来予測： 区中央部の総人口は2025年に796千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に758千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の79千人が、2025年にかけて100千人へと増加し(2015年比+27%)、2040年には117千人へと増加する(2025年比+17%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 区中央部の一人当たり医療費(国保)は283千円(偏差値36)、介護給付費は283千円(偏差値59)であり、医療費は低い、介護給付費は高い。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 区中央部の一人当たり急性期医療密度指数²は1.19、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.45で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。
- *医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が161(病院医師数145、診療所医師数168)と、総医師数は非常に多く、病院医師数、診療所医師数ともに、非常に多い。総看護師数の偏差値は86と非常に多い。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は85で、一般病床数は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は132と非常に多い。区中央部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の国際医療福祉大学三田病院(Ⅲ群)、東京都済生会中央病院(Ⅲ群・救命)、三井記念病院(Ⅱ群)、東京都立駒込病院(Ⅱ群)、虎の門病院(Ⅱ群)、聖路加国際病院(Ⅱ群・救命)、東京大学医学部附属病院(Ⅰ群・救命)、東京医科歯科大学医学部附属病院(Ⅰ群・救命)、順天堂大学医学部附属順天堂医院(Ⅰ群)、日本医科大学付属病院(Ⅰ群・救命)、東京慈恵会医科大学付属病院(Ⅰ群)、国立がん研究センター中央病院(Ⅱ群)、1000例以上の東京逋信病院(Ⅲ群)、永寿総合病院(Ⅲ群)、北里大学北里研究所病院(Ⅲ群)、三楽病院(Ⅲ群)、日本大学病院(Ⅱ群・救命)、500例以上のJCHO東京高輪病院(Ⅲ群)がある。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は41と療養病床数は少ない。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は偏差値43と少ない。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は39で精神病床数は少ない。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は143で診療所数は非常に多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 区中央部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、5306人(75歳以上1000人当たりの偏差値28)と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2969床(偏差値31)、高齢者住宅等が2337床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4004人(75歳以上1000人当たりの偏差値28)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。
施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設28、特別養護老人ホーム41、介護療養型医療施設43、有料老人ホーム54、軽費ホーム50、グループホーム39、サ高住35である。
- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値72と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値61と多い。介護職員(在宅)の合計は、1315人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。
- *介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-63%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(区中央部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

区中央部医療圏の総人口は、2005年680856人が、2015年に860669人と26%増加し、2025年の人口が795712人と予測され、2005年→2025年の間に17%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に26%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

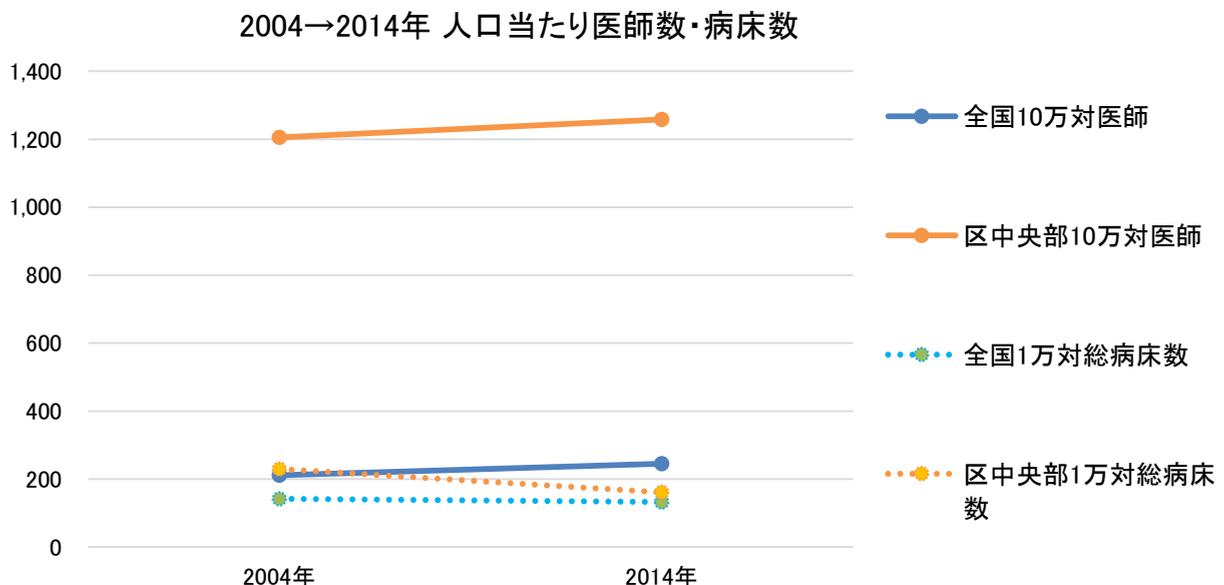
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が60(人口10万人当たり8.8病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2014年に51(人口10万人当たり5.9病院(全国平均6.7)偏差値48)となり、10年間で9病院が減少した。

2004年の診療所数が1885(人口10万人当たり277診療所(全国平均76)偏差値150)であったが、2014年に2111(人口10万人当たり245診療所(全国平均79)偏差値139)と、226診療所が増加した。

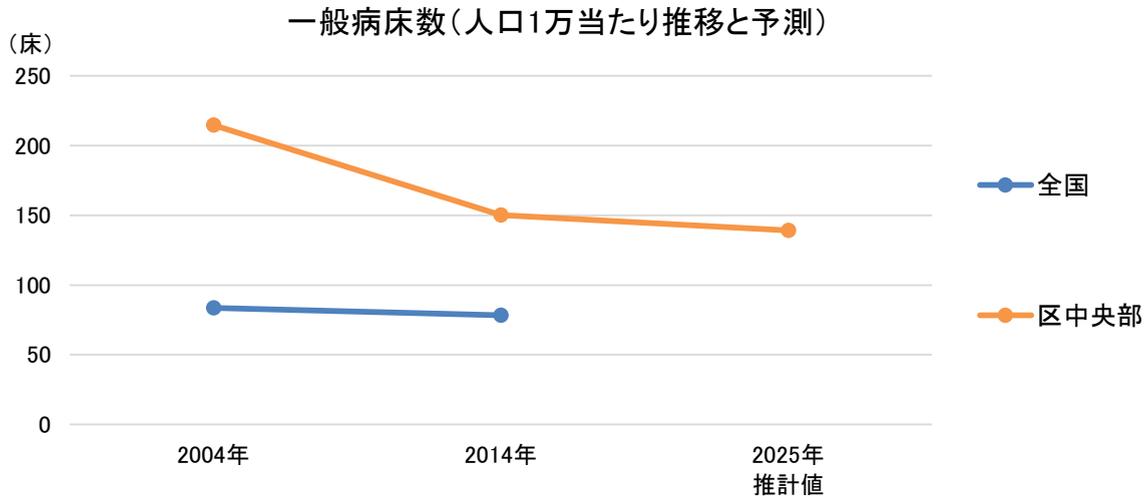
2004年の総病床数が15606床(人口1万人当たり229(全国平均142)偏差値66)であったが、2014年に13881床(人口1万人当たり161(全国平均132)偏差値55)と、1725床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が8204人(人口10万人当たり1205人(全国平均212人)偏差値168)であったが、2014年に10831人(人口10万人当たり1258人(全国平均245人)偏差値158)と、2627人の増加、率にして32%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



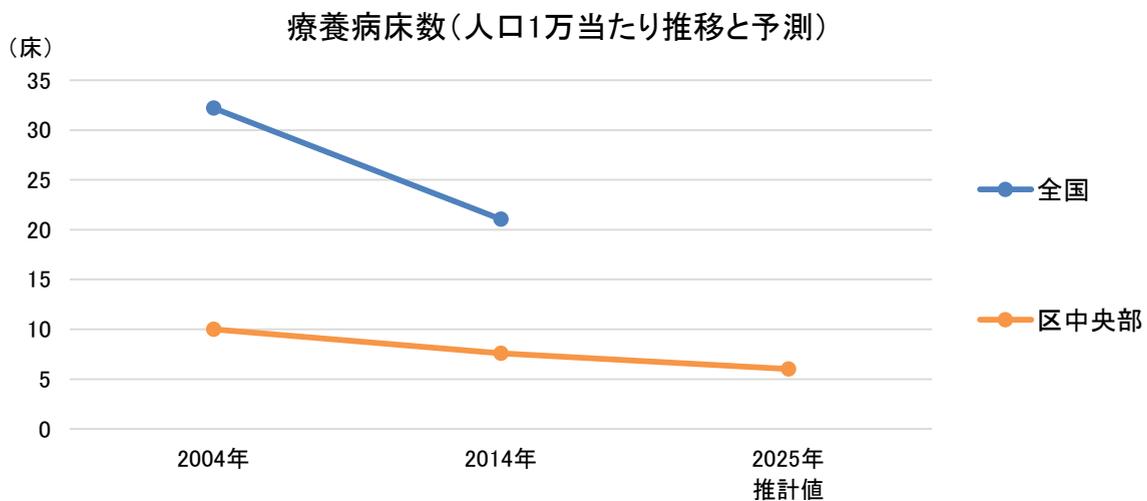
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が14619床(人口1万人当たり215(全国平均84)偏差値96)であったが、2014年に12929床(人口1万人当たり150(全国平均78)偏差値77)と、1690床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には11070床(2025年の推計人口1万人当たり139)になることが予想される。



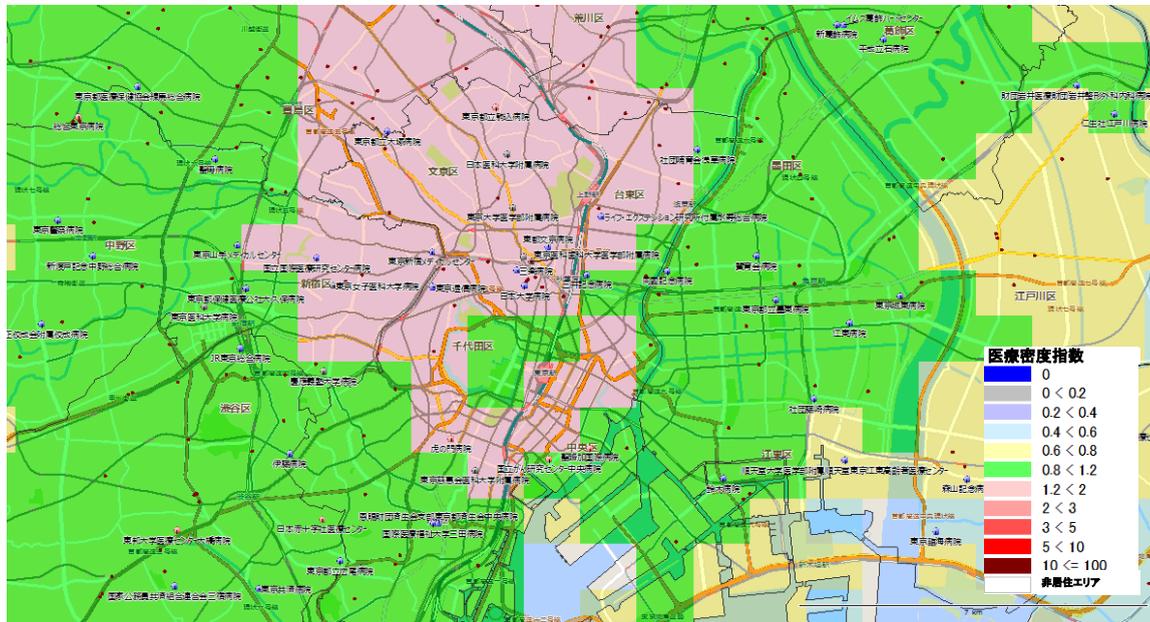
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が596床(75歳以上1000人当たり10(全国平均32)偏差値37)であったが、2014年に600床(75歳以上1000人当たり8(全国平均21)偏差値39)と、4床の増加、率にして1%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には604床(2025年の推計75歳以上1000人当たり6)になることが予想される。



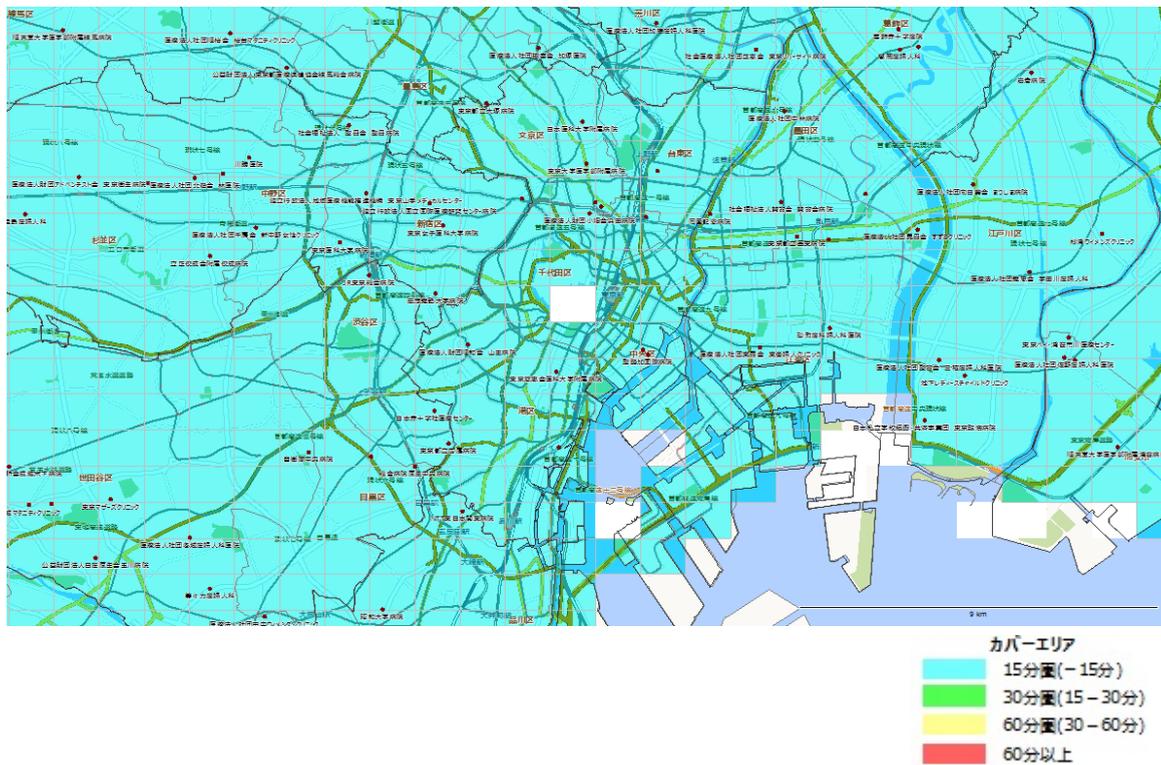
(区中央部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表13-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-1-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

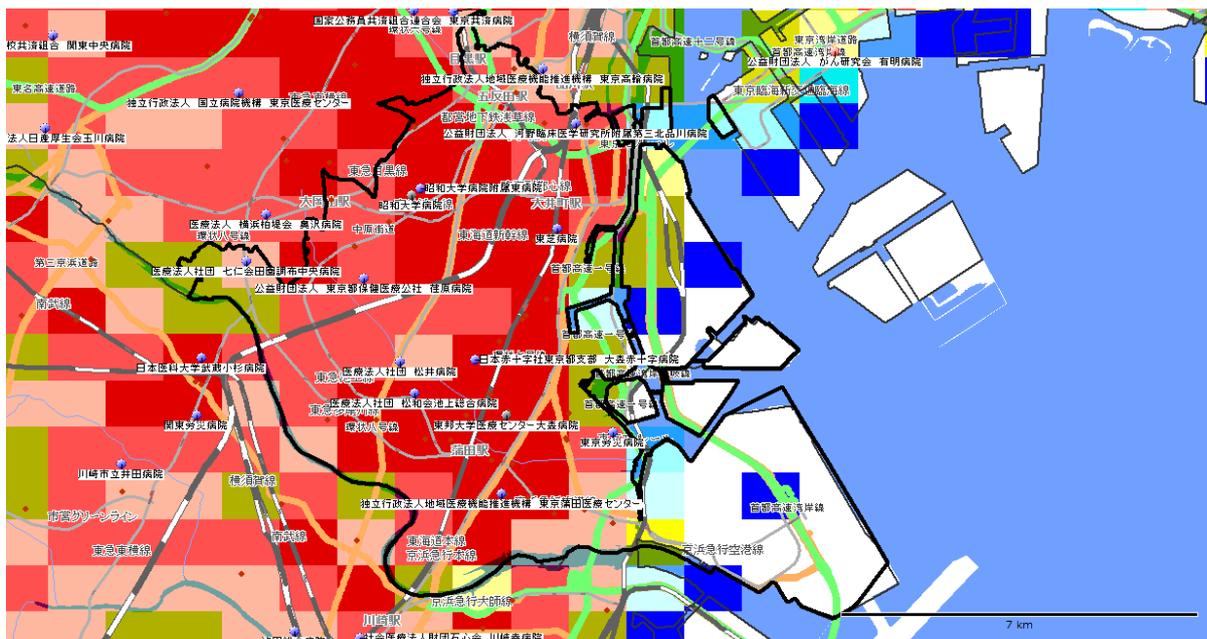
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



くなんぶ 13-2. 区南部医療圏

構成市区町村⁹ [品川区](#) [大田区](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(区南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 区南部(品川区)は、総人口約1104千人(2015年)、面積84km²、人口密度は13221人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 区南部の総人口は2025年に1074千人へと減少し(2015年比-3%)、2040年に1016千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の110千人が、2025年にかけて151千人へと増加し(2015年比+37%)、2040年には158千人へと増加する(2025年比+5%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 区南部の一人当たり医療費(国保)は331千円(偏差値47)、介護給付費は254千円(偏差値50)であり、医療費はやや低いが、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 区南部の一人当たり急性期医療密度指数²は1.05、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.36で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が57(病院医師数54、診療所医師数60)と、総医師数、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は41と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は44で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は51と全国平均レベルである。区南部には、年間全身麻酔件数が2000例以上のN T T 東日本関東病院(Ⅱ群)、東邦大学医療センター大森病院(Ⅰ群・救命)、昭和大学病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上の荏原病院(Ⅲ群)、大森赤十字病院(Ⅲ群)、東京労災病院(Ⅲ群)、500例以上の池上総合病院(Ⅲ群)、東芝病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は偏差値44と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は39で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は56で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 区南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、8428人(75歳以上1000人当たりの偏差値34)と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3604床(偏差値26)、高齢者住宅等が4824床(偏差値51)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5089人(75歳以上1000人当たりの偏差値24)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設23、特別養護老人ホーム37、介護療養型医療施設49、有料老人ホーム61、軽費ホーム48、グループホーム42、サ高住42である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値55とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値53とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、1455人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-59%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(区南部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

区南部医療圏の総人口は、2005年1012031人が、2015年に1103937人と9%増加し、2025年の人口が1074021人と予測され、2005年→2025年の間に6%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に15%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

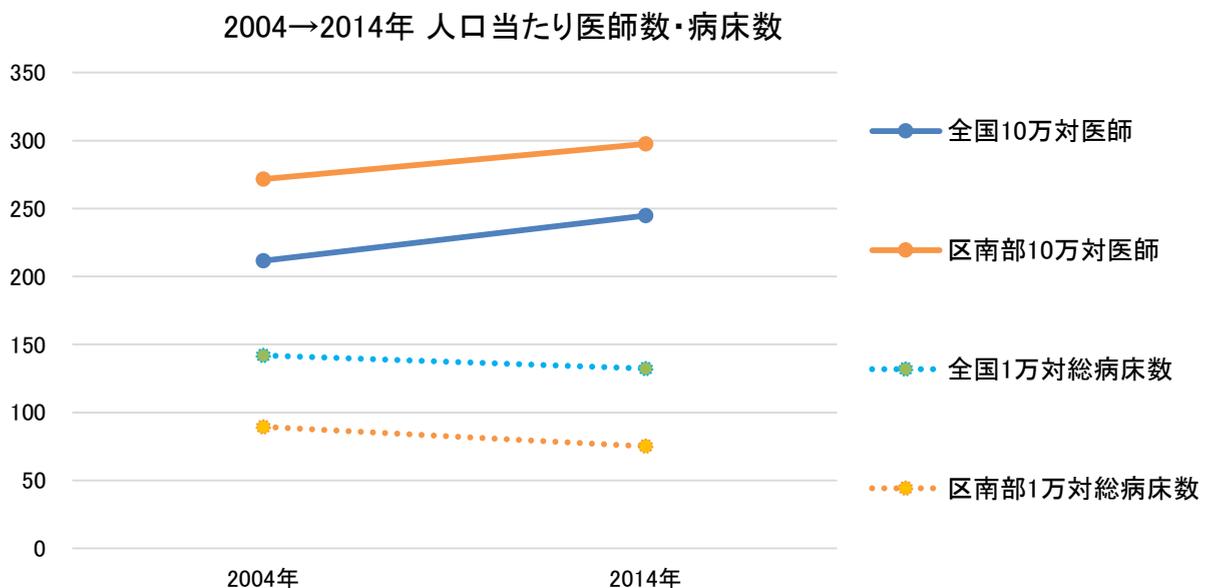
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が47(人口10万人当たり4.6病院(全国平均7.1)偏差値44)であったが、2014年に42(人口10万人当たり3.8病院(全国平均6.7)偏差値43)となり、10年間で5病院が減少した。

2004年の診療所数が1016(人口10万人当たり100診療所(全国平均76)偏差値62)であったが、2014年に998(人口10万人当たり90診療所(全国平均79)偏差値56)と、18診療所が減少した。

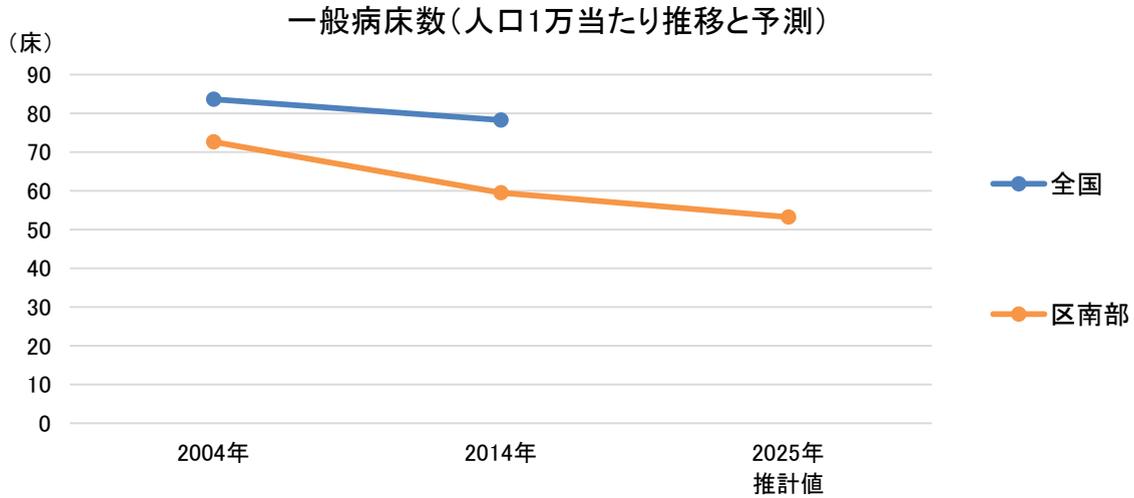
2004年の総病床数が9041床(人口1万人当たり89(全国平均142)偏差値41)であったが、2014年に8290床(人口1万人当たり75(全国平均132)偏差値40)と、751床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が2749人(人口10万人当たり272人(全国平均212人)偏差値57)であったが、2014年に3286人(人口10万人当たり298人(全国平均245人)偏差値56)と、537人の増加、率にして20%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



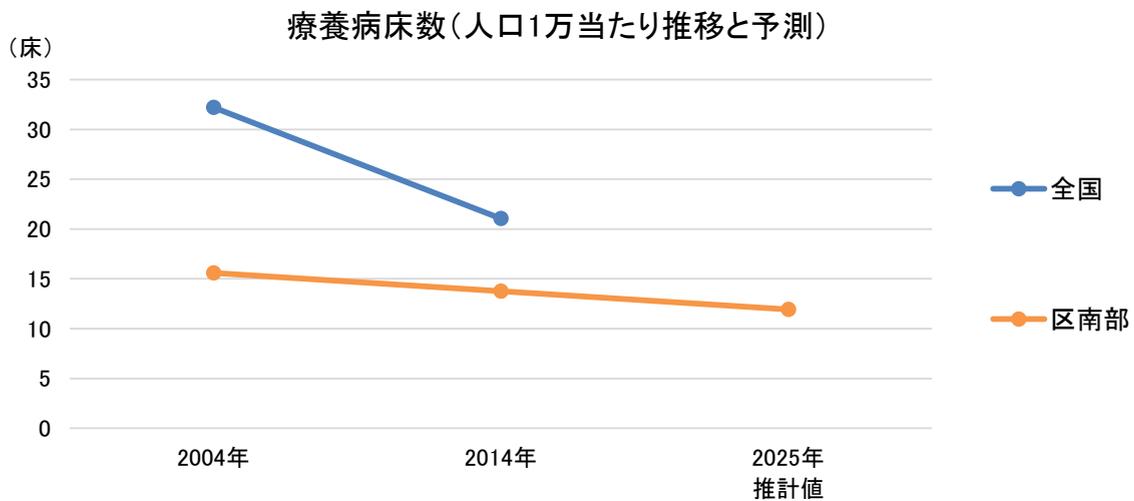
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が7352床(人口1万人当たり73(全国平均84)偏差値46)であったが、2014年に6574床(人口1万人当たり60(全国平均78)偏差値43)と、778床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には5718床(2025年の推計人口1万人当たり53)になることが予想される。



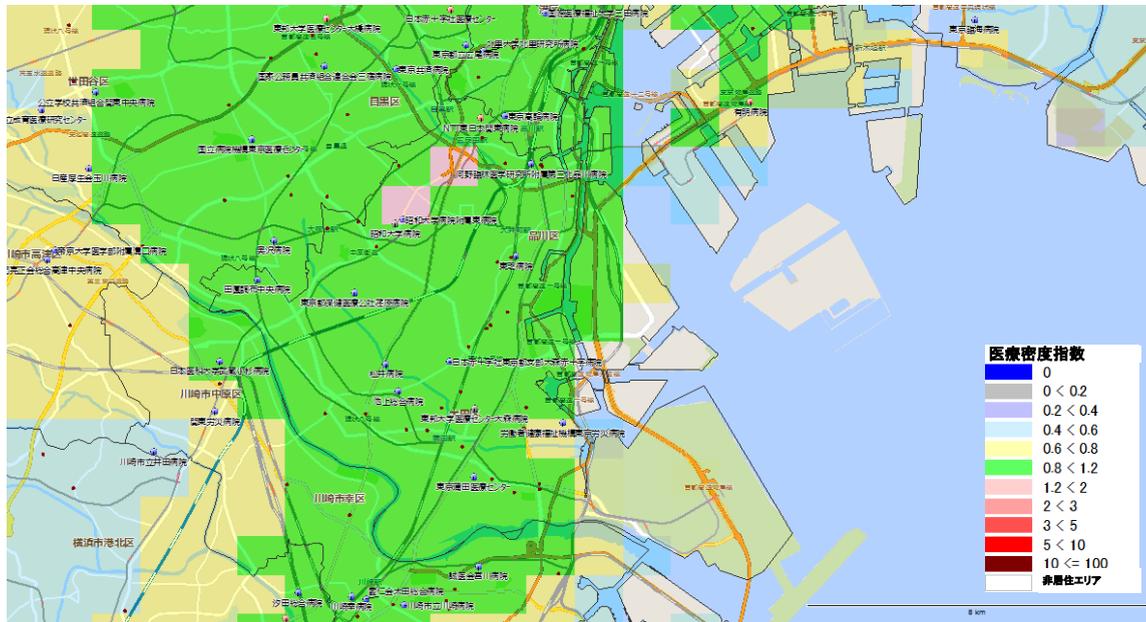
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1261床(75歳以上1000人当たり16(全国平均32)偏差値41)であったが、2014年に1518床(75歳以上1000人当たり14(全国平均21)偏差値44)と、257床の増加、率にして20%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には1801床(2025年の推計75歳以上1000人当たり12)になることが予想される。



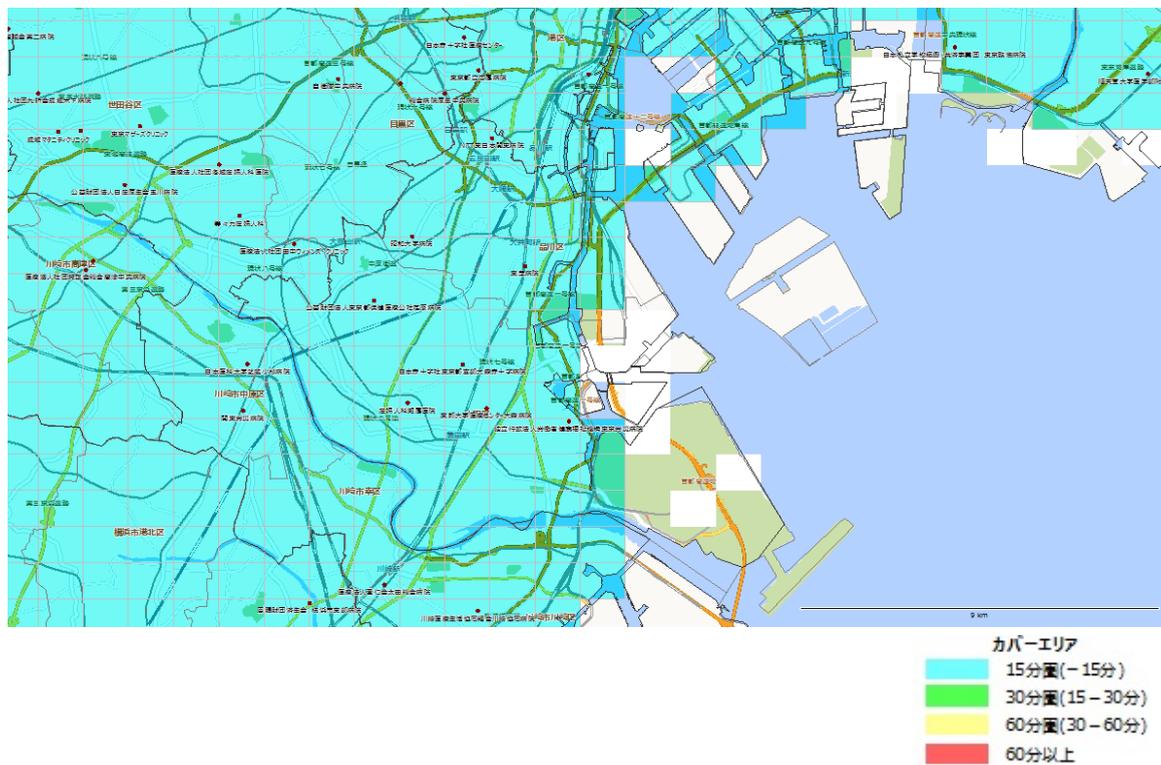
(区南部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表13-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-2-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

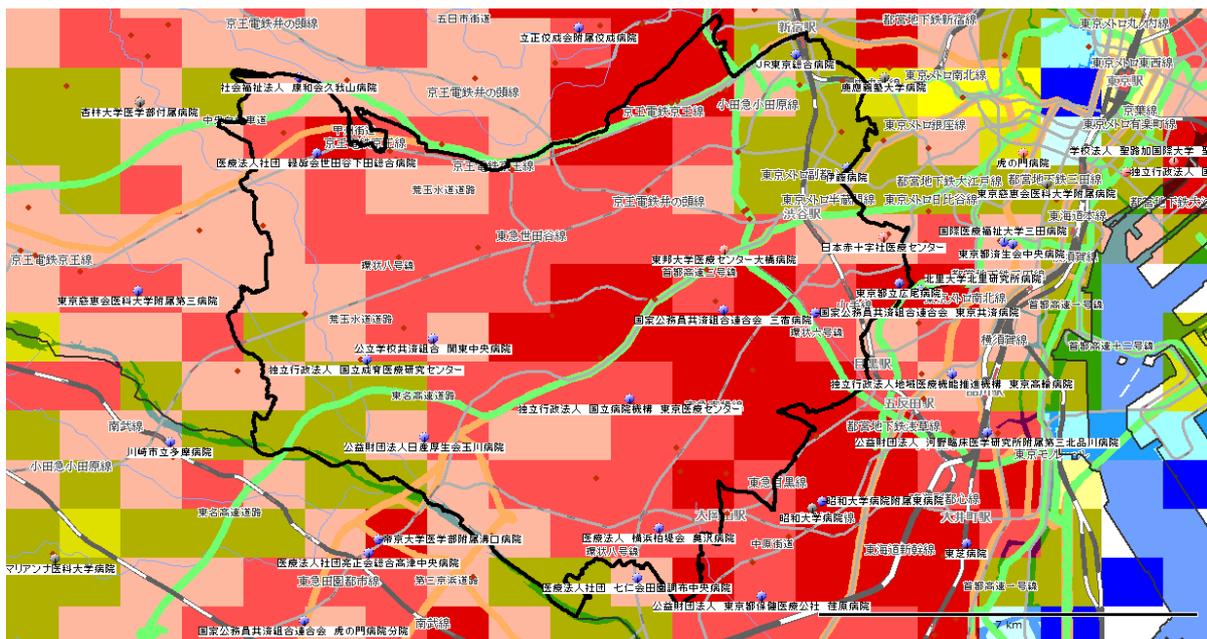
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



くせいなんぶ 13-3. 区西南部医療圏

構成市区町村⁹ [目黒区](#) [世田谷区](#) [渋谷区](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

● I 群

● II 群

● III 群

● 一般病院

(区西南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 区西南部(目黒区)は、総人口約1406千人(2015年)、面積88km²、人口密度は16003人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 区西南部の総人口は2025年に1361千人へと減少し(2015年比-3%)、2040年に1282千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の139千人が、2025年にかけて185千人へと増加し(2015年比+33%)、2040年には216千人へと増加する(2025年比+17%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 区西南部の一人当たり医療費(国保)は281千円(偏差値36)、介護給付費は286千円(偏差値59)であり、医療費は低いが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 区西南部の一人当たり急性期医療密度指数²は1.06、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.43で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が60(病院医師数53、診療所医師数72)と、総医師数は多く、診療所医師数は非常に多い。総看護師数の偏差値は43と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は44で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は51と全国平均レベルである。区西南部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の国立成育医療研究センター(Ⅲ群)、国立病院機構東京医療センター(Ⅲ群・救命)、日本赤十字社医療センター(Ⅱ群・救命)、東邦大学医療センター大橋病院(Ⅱ群)、1000例以上の伊藤病院(Ⅲ群)、J R 東京総合病院(Ⅲ群)、東京都立広尾病院(Ⅲ群・救命)、関東中央病院(Ⅲ群)、玉川病院(Ⅲ群)、厚生中央病院(Ⅲ群)、500例以上の久我山病院(Ⅲ群)、三宿病院(Ⅲ群)、東京共済病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は44と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は42で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は71で診療所数は非常に多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 区西南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、10933人(75歳以上1000人当たりの偏差値35)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3917床(偏差値23)、高齢者住宅等が7016床(偏差値55)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6882人(75歳以上1000人当たりの偏差値26)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設25、特別養護老人ホーム33、介護療養型医療施設45、有料老人ホーム68、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム40、サ高住45である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値61と多く、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値61と多い。介護職員(在宅)の合計は、2127人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-57%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(区西南部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

区西南部医療圏の総人口は、2005年1308563人が、2015年に1405501人と7%増加し、2025年の人口が1361068人と予測され、2005年→2025年の間に4%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に13%増加し、2015年から2025年にかけて8%程度の増加が予測される。

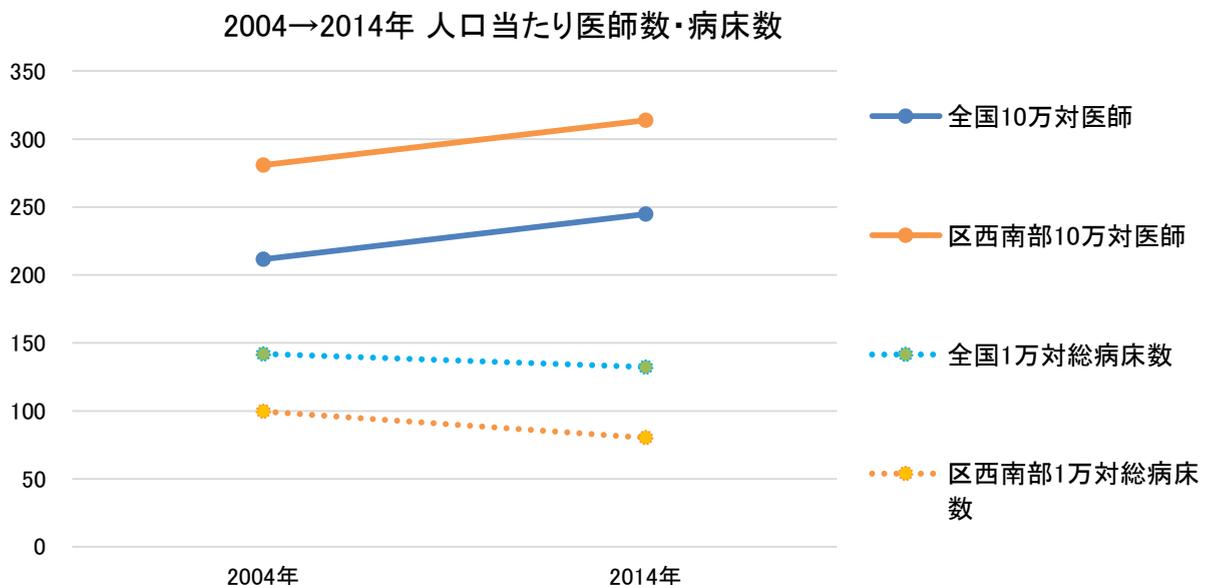
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が56(人口10万人当たり4.3病院(全国平均7.1)偏差値43)であったが、2014年に50(人口10万人当たり3.6病院(全国平均6.7)偏差値42)となり、10年間で6病院が減少した。

2004年の診療所数が1557(人口10万人当たり119診療所(全国平均76)偏差値71)であったが、2014年に1670(人口10万人当たり119診療所(全国平均79)偏差値71)と、113診療所が増加した。

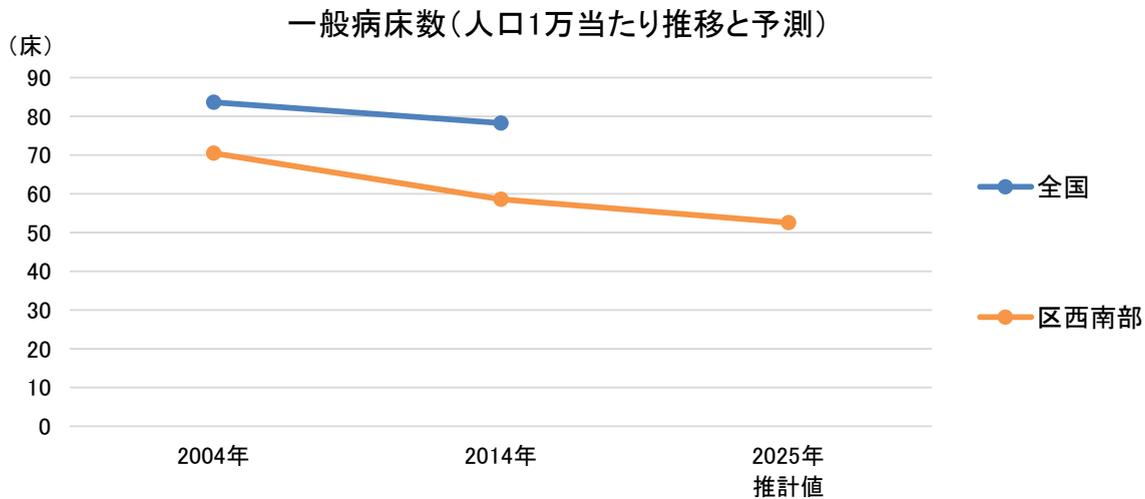
2004年の総病床数が13040床(人口1万人当たり100(全国平均142)偏差値42)であったが、2014年に11282床(人口1万人当たり80(全国平均132)偏差値41)と、1758床の減少、率にして13%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が3676人(人口10万人当たり281人(全国平均212人)偏差値58)であったが、2014年に4412人(人口10万人当たり314人(全国平均245人)偏差値57)と、736人の増加、率にして20%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



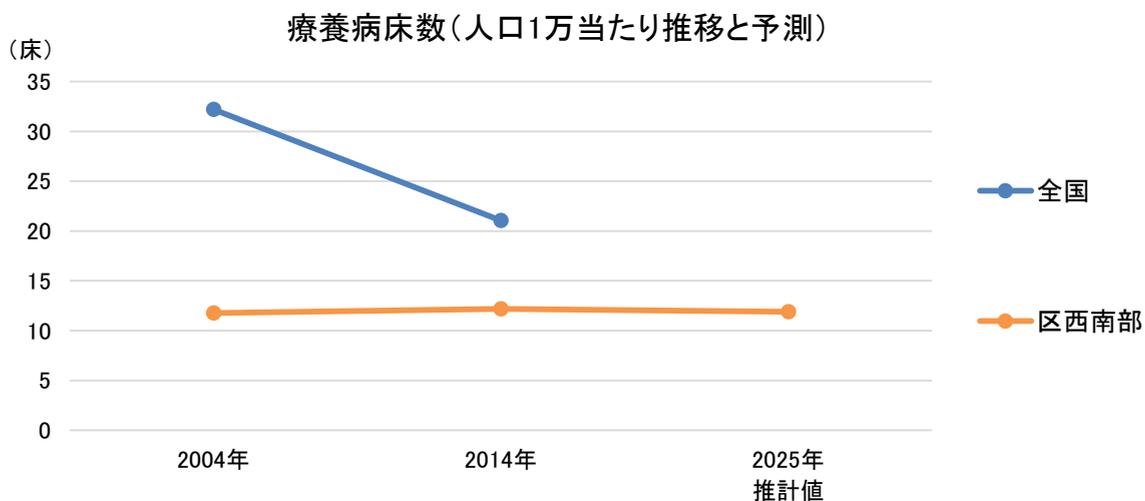
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が9225床(人口1万人当たり70(全国平均84)偏差値45)であったが、2014年に8239床(人口1万人当たり59(全国平均78)偏差値43)と、986床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には7154床(2025年の推計人口1万人当たり53)になることが予想される。



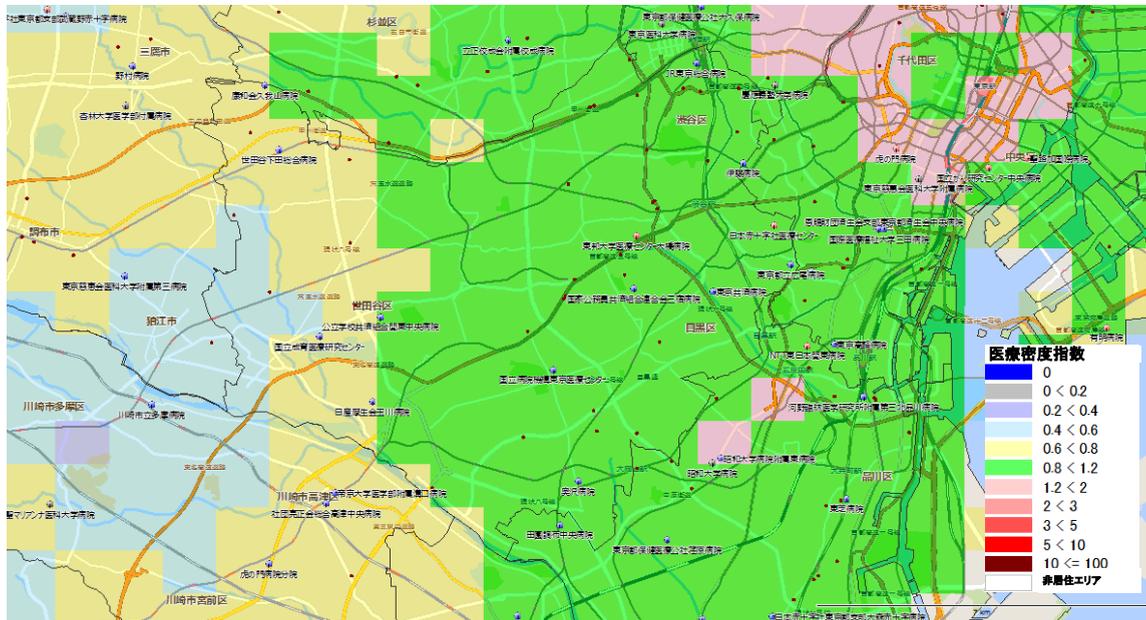
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1245床(75歳以上1000人当たり12(全国平均32)偏差値38)であったが、2014年に1699床(75歳以上1000人当たり12(全国平均21)偏差値42)と、454床の増加、率にして36%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には2198床(2025年の推計75歳以上1000人当たり12)になることが予想される。



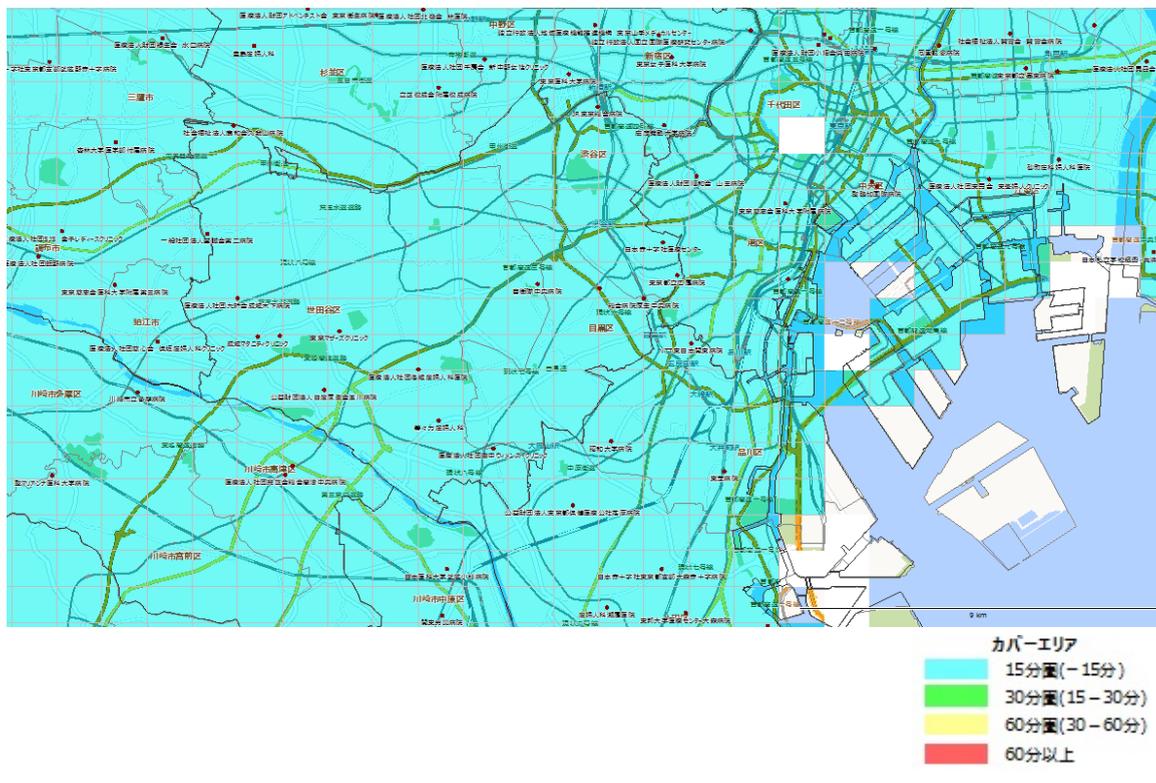
(区西南部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表13-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-3-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

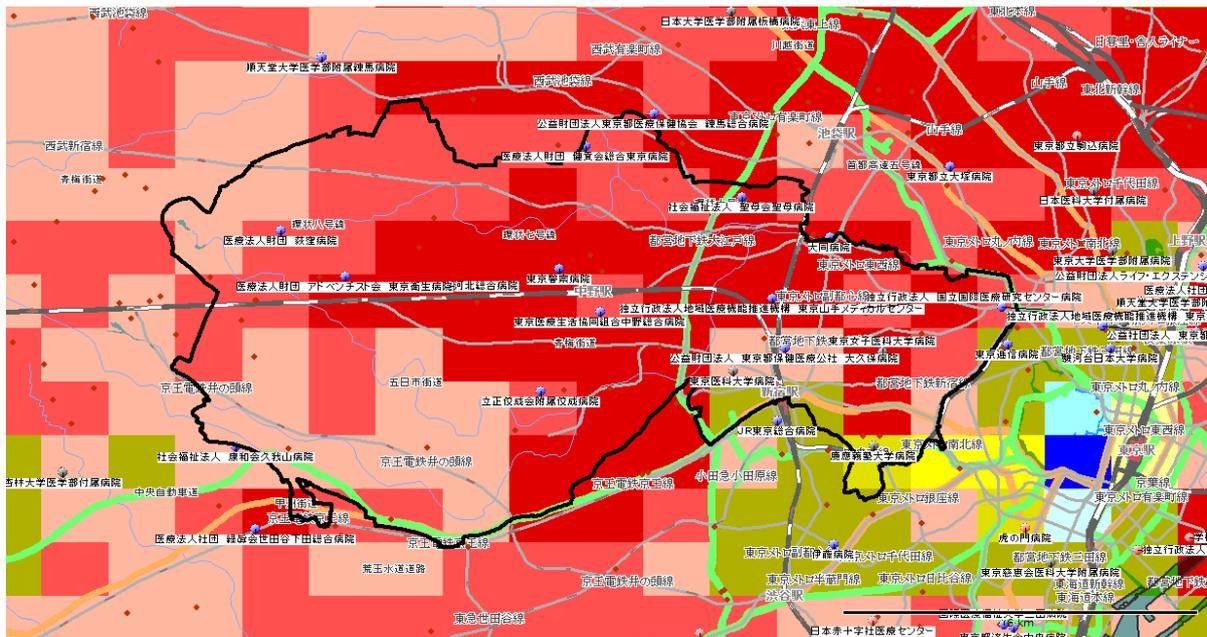
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



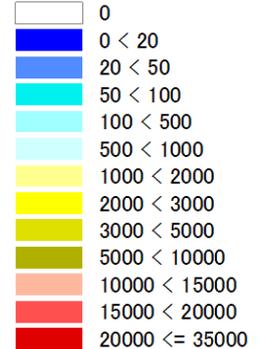
くせいぶ 13-4. 区西部医療圏

構成市区町村⁹ [新宿区](#) [中野区](#) [杉並区](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(区西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 区西部(新宿区)は、総人口約1226千人(2015年)、面積68km²、人口密度は18061人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 区西部の総人口は2025年に1165千人へと減少し(2015年比-5%)、2040年に1067千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の127千人が、2025年にかけて184千人へと増加し(2015年比+45%)、2040年には200千人へと増加する(2025年比+9%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 区西部の一人当たり医療費(国保)は270千円(偏差値33)、介護給付費は274千円(偏差値56)であり、医療費は非常に低いが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 区西部の一人当たり急性期医療密度指数²は1、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.57で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が77(病院医師数73、診療所医師数80)と、総医師数は非常に多く、病院医師数、診療所医師数ともに、非常に多い。総看護師数の偏差値は48と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は51で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は55とやや多い。区西部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の国立国際医療研究センター病院(Ⅱ群・救命)、東京警察病院(Ⅲ群)、慶應義塾大学病院(Ⅰ群)、東京女子医科大学病院(Ⅰ群・救命)、東京医科大学病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上の荻窪病院(Ⅲ群)、河北総合病院(Ⅲ群)、中野総合病院(Ⅲ群)、JCHO東京山手メディカルセンター(Ⅲ群)、JCHO東京新宿メディカルセンター(Ⅲ群)、500例以上の総合東京病院(Ⅲ群)、立正佼成会附属佼成病院(Ⅲ群)、大久保病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は39で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は69で診療所数は非常に多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 区西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、8236人(75歳以上1000人当たりの偏差値27)と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3752床(偏差値24)、高齢者住宅等が4484床(偏差値46)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6139人(75歳以上1000人当たりの偏差値26)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設23、特別養護老人ホーム36、介護療養型医療施設43、有料老人ホーム59、軽費ホーム50、グループホーム41、サ高住34である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値58と多く、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値51と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1917人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-91%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(区西部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

区西部医療圏の総人口は、2005年1144930人が、2015年に1225772人と7%増加し、2025年の人口が1164925人と予測され、2005年→2025年の間に2%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に12%増加し、2015年から2025年にかけて9%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

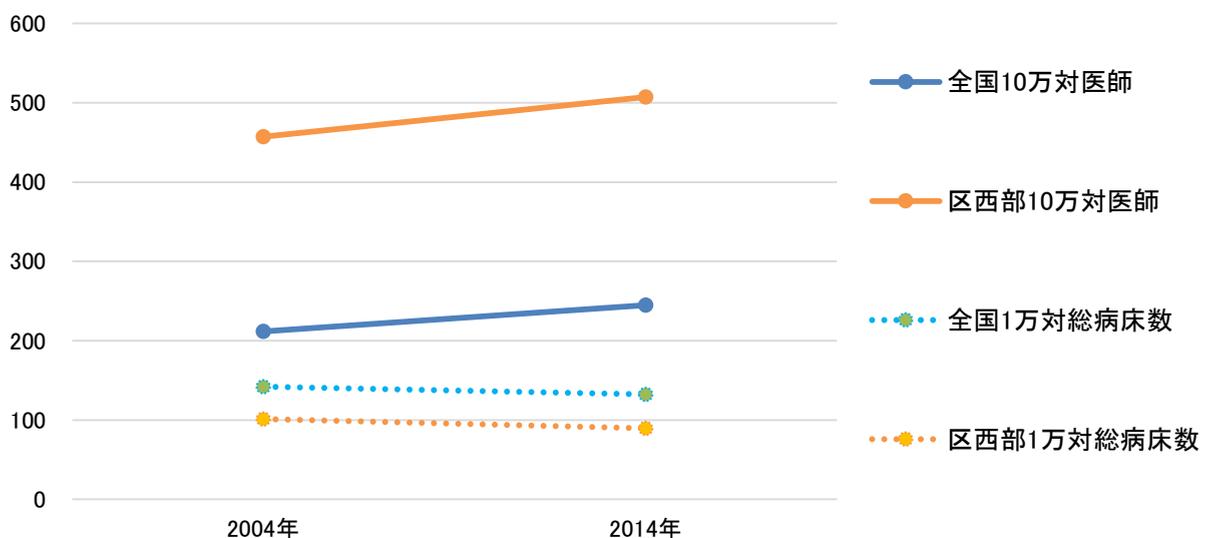
2004年の病院数が47(人口10万人当たり4.1病院(全国平均7.1)偏差値42)であったが、2014年に43(人口10万人当たり3.5病院(全国平均6.7)偏差値42)となり、10年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が1440(人口10万人当たり126診療所(全国平均76)偏差値75)であったが、2014年に1401(人口10万人当たり114診療所(全国平均79)偏差値69)と、39診療所が減少した。

2004年の総病床数が11586床(人口1万人当たり101(全国平均142)偏差値43)であったが、2014年に10972床(人口1万人当たり90(全国平均132)偏差値42)と、614床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

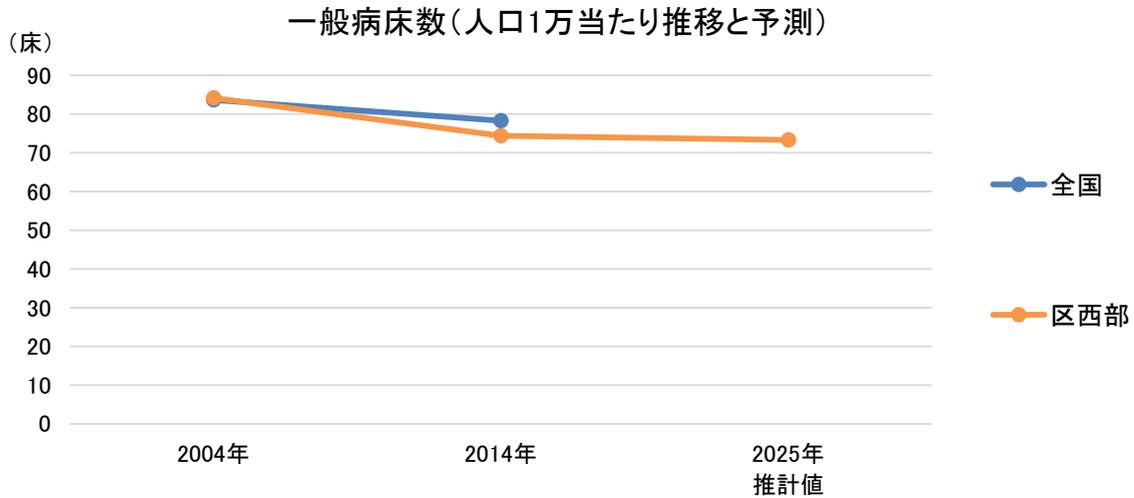
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が5235人(人口10万人当たり457人(全国平均212人)偏差値79)であったが、2014年に6217人(人口10万人当たり507人(全国平均245人)偏差値78)と、982人の増加、率にして19%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



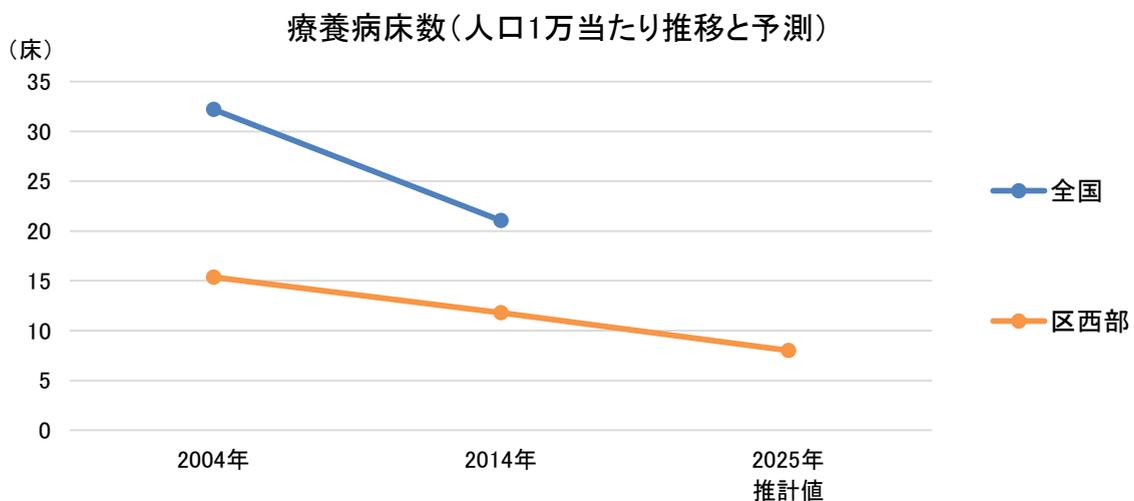
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が9633床(人口1万人当たり84(全国平均84)偏差値50)であったが、2014年に9115床(人口1万人当たり74(全国平均78)偏差値49)と、518床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には8545床(2025年の推計人口1万人当たり73)になることが予想される。



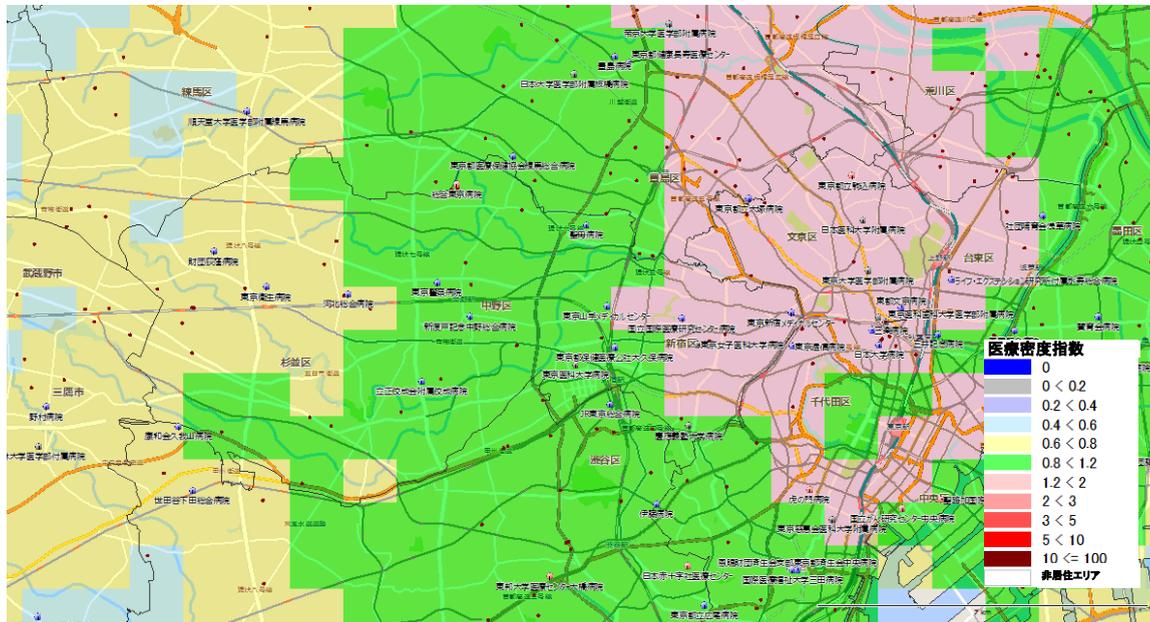
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1519床(75歳以上1000人当たり15(全国平均32)偏差値40)であったが、2014年に1498床(75歳以上1000人当たり12(全国平均21)偏差値42)と、21床の減少、率にして1%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1475床(2025年の推計75歳以上1000人当たり8)になることが予想される。



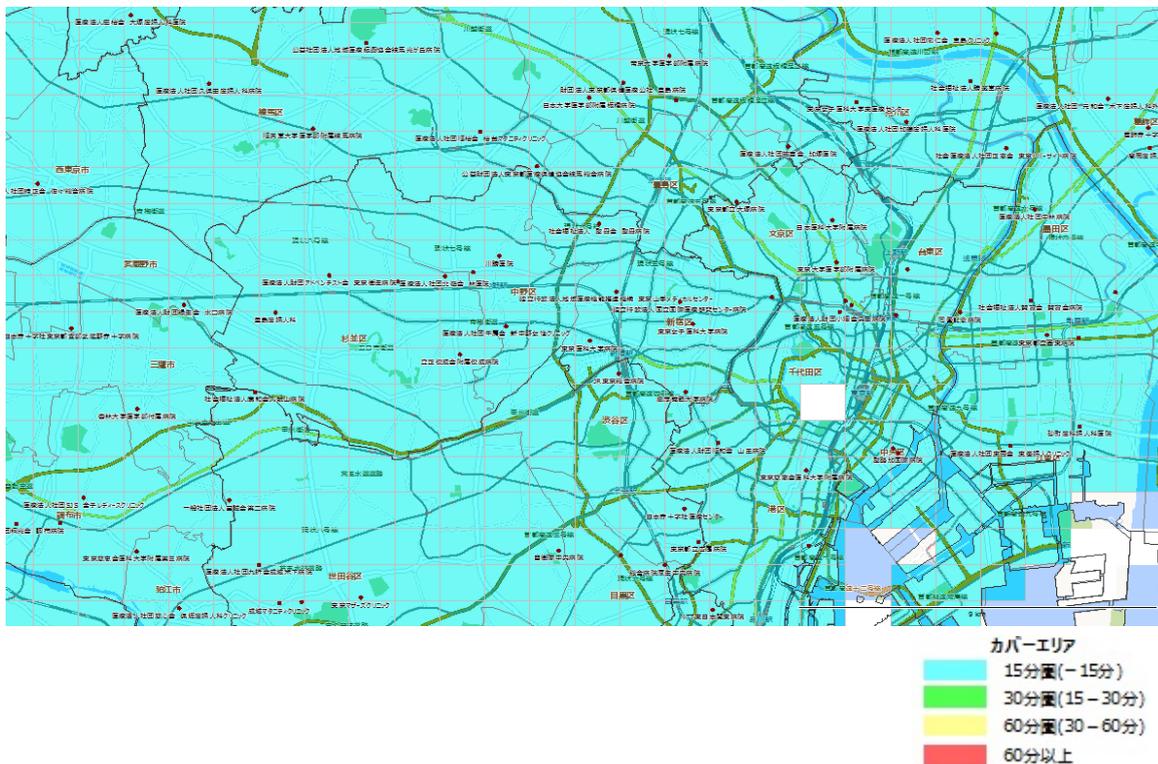
(区西部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表13-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-4-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

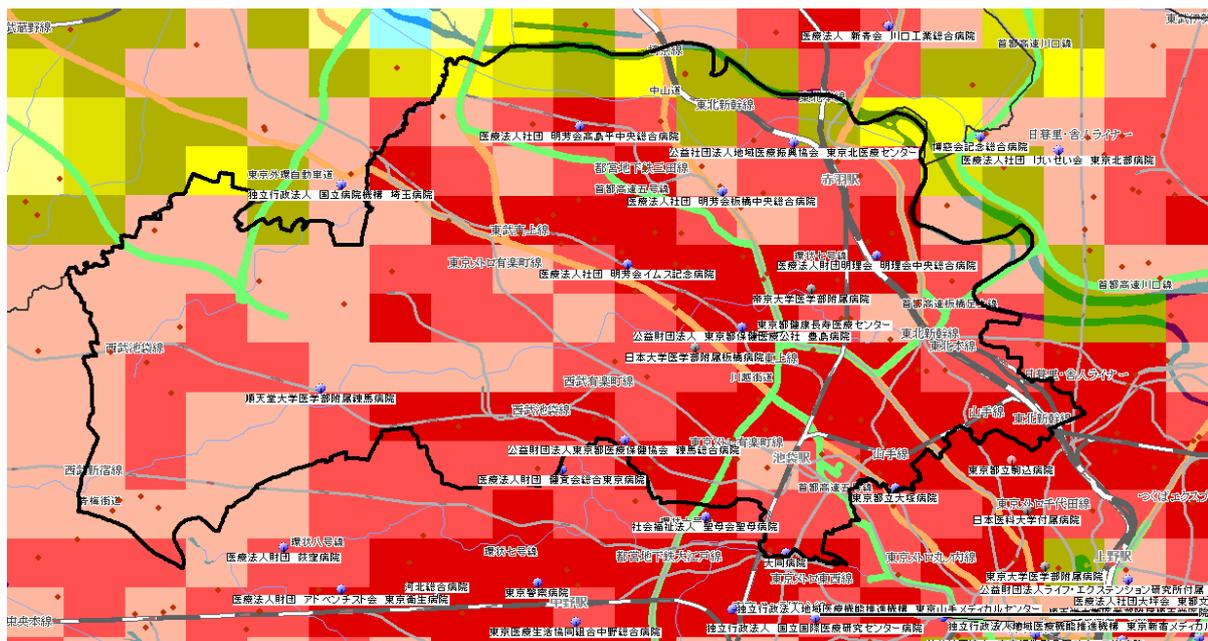
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



くせいほくぶ 13-5. 区西北部医療圏

構成市区町村⁹ [豊島区](#) [北区](#) [板橋区](#) [練馬区](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(区西北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 区西北部(豊島区)は、総人口約1916千人(2015年)、面積114km²、人口密度は16818人/km²の大都市型二次医療圏である。
- *人口の将来予測： 区西北部の総人口は2025年に1902千人へと減少し(2015年比-1%)、2040年に1771千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の211千人が、2025年にかけて304千人へと増加し(2015年比+44%)、2040年には340千人へと増加する(2025年比+12%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 区西北部の一人当たり医療費(国保)は297千円(偏差値40)、介護給付費は263千円(偏差値53)であり、医療費は低い、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 区西北部の一人当たり急性期医療密度指数²は0.96、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.66で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。
- *医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が52(病院医師数50、診療所医師数54)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は41と少ない。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は42で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。区西北部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の順天堂大学医学部附属練馬病院(Ⅱ群)、板橋中央総合病院(Ⅱ群)、帝京大学医学部附属病院(Ⅰ群・救命)、日本大学医学部附属板橋病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上の練馬総合病院(Ⅲ群)、豊島病院(Ⅲ群)、高島平中央総合病院(Ⅲ群)、東京北医療センター(Ⅲ群)、東京都立大塚病院(Ⅲ群)、500例以上の練馬光が丘病院(Ⅲ群)、東京都健康長寿医療センター(Ⅲ群)、明理会中央総合病院(Ⅲ群)がある。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は47と療養病床数はやや少ない。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は46で精神病床数はやや少ない。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は53で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 区西北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、18204人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が9035床(偏差値35)、高齢者住宅等が9169床(偏差値51)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、12019人(75歳以上1000人当たりの偏差値33)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。
施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設36、特別養護老人ホーム39、介護療養型医療施設50、有料老人ホーム62、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム39、サ高住44である。
- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値54とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値48と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、3508人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。
- *介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-51%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(区西北部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

区西北部医療圏の総人口は、2005年1796419人が、2015年に1915881人と7%増加し、2025年の人口が1901726人と予測され、2005年→2025年の間に6%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に17%増加し、2015年から2025年にかけて11%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

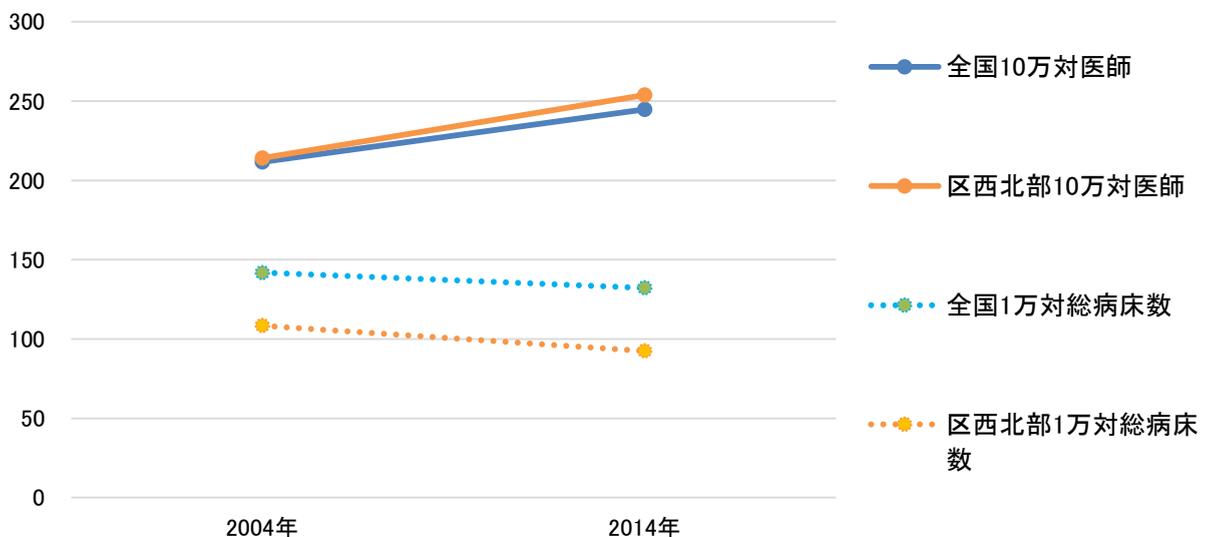
2004年の病院数が103(人口10万人当たり5.7病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2014年に95(人口10万人当たり5病院(全国平均6.7)偏差値46)となり、10年間で8病院が減少した。

2004年の診療所数が1581(人口10万人当たり88診療所(全国平均76)偏差値56)であったが、2014年に1625(人口10万人当たり85診療所(全国平均79)偏差値53)と、44診療所が増加した。

2004年の総病床数が19479床(人口1万人当たり108(全国平均142)偏差値44)であったが、2014年に17713床(人口1万人当たり92(全国平均132)偏差値43)と、1766床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

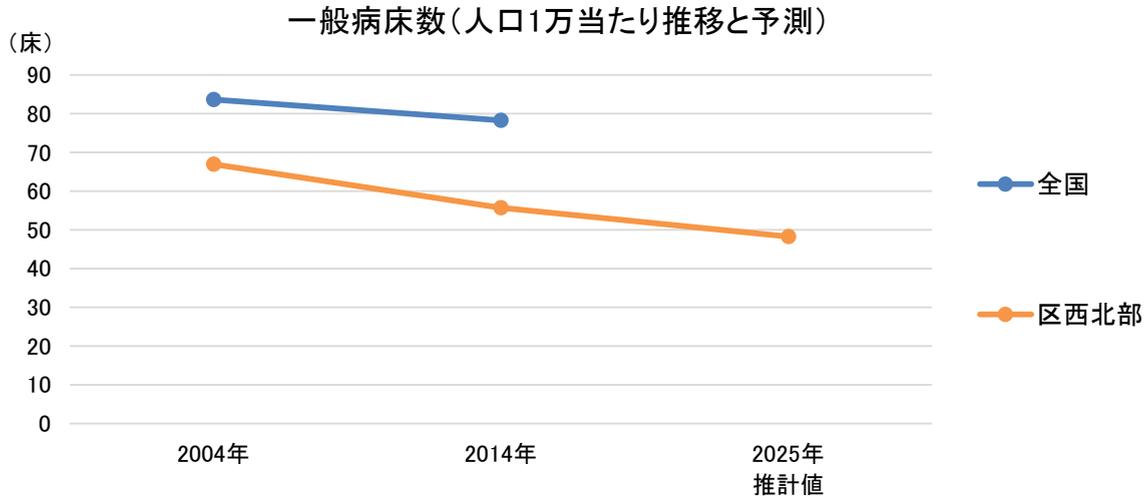
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が3844人(人口10万人当たり214人(全国平均212人)偏差値50)であったが、2014年に4862人(人口10万人当たり254人(全国平均245人)偏差値51)と、1018人の増加、率にして26%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



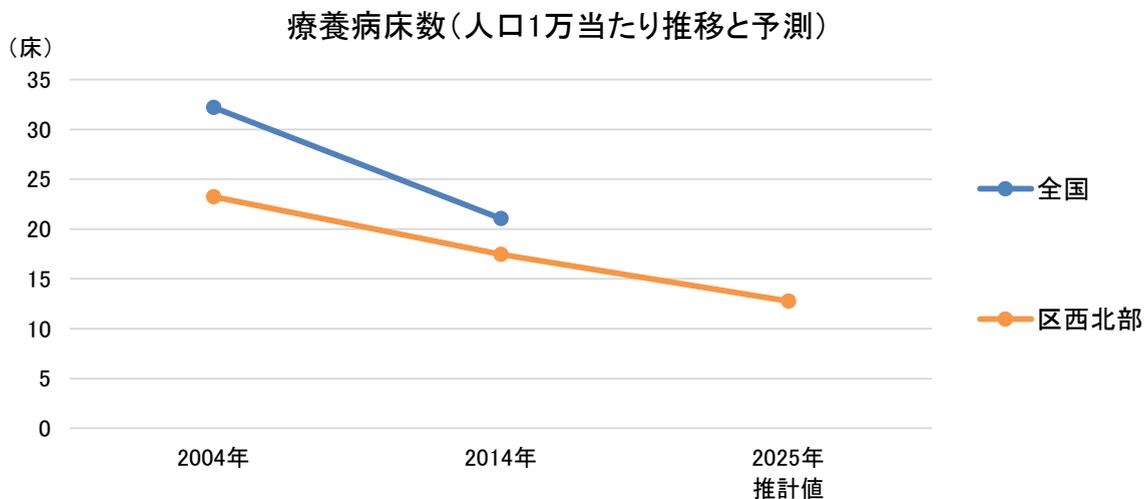
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が12029床(人口1万人当たり67(全国平均84)偏差値44)であったが、2014年に10671床(人口1万人当たり56(全国平均78)偏差値42)と、1358床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には9177床(2025年の推計人口1万人当たり48)になることが予想される。



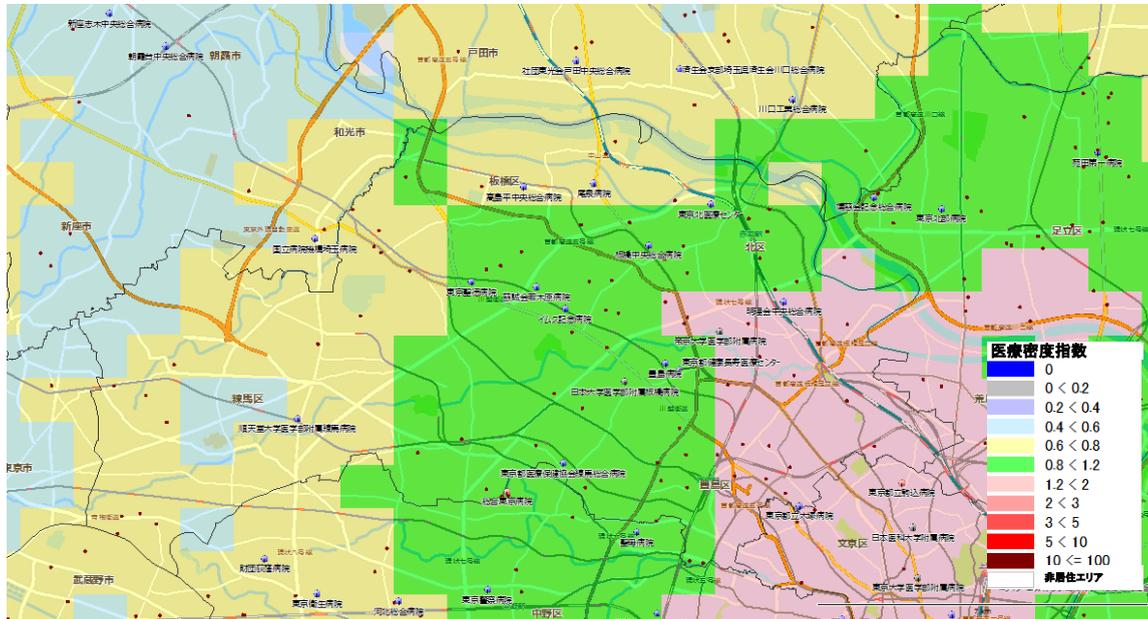
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が3516床(75歳以上1000人当たり23(全国平均32)偏差値45)であったが、2014年に3690床(75歳以上1000人当たり17(全国平均21)偏差値47)と、174床の増加、率にして5%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には3881床(2025年の推計75歳以上1000人当たり13)になることが予想される。



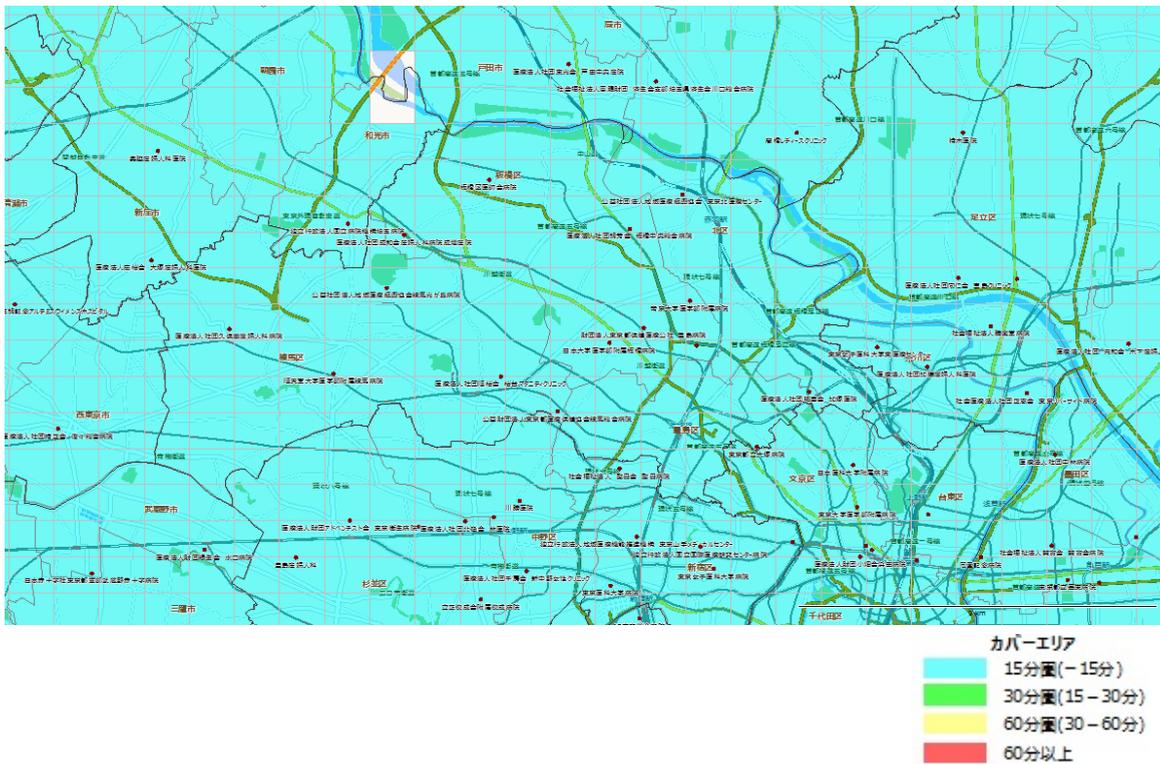
(区西北部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表13-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-5-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

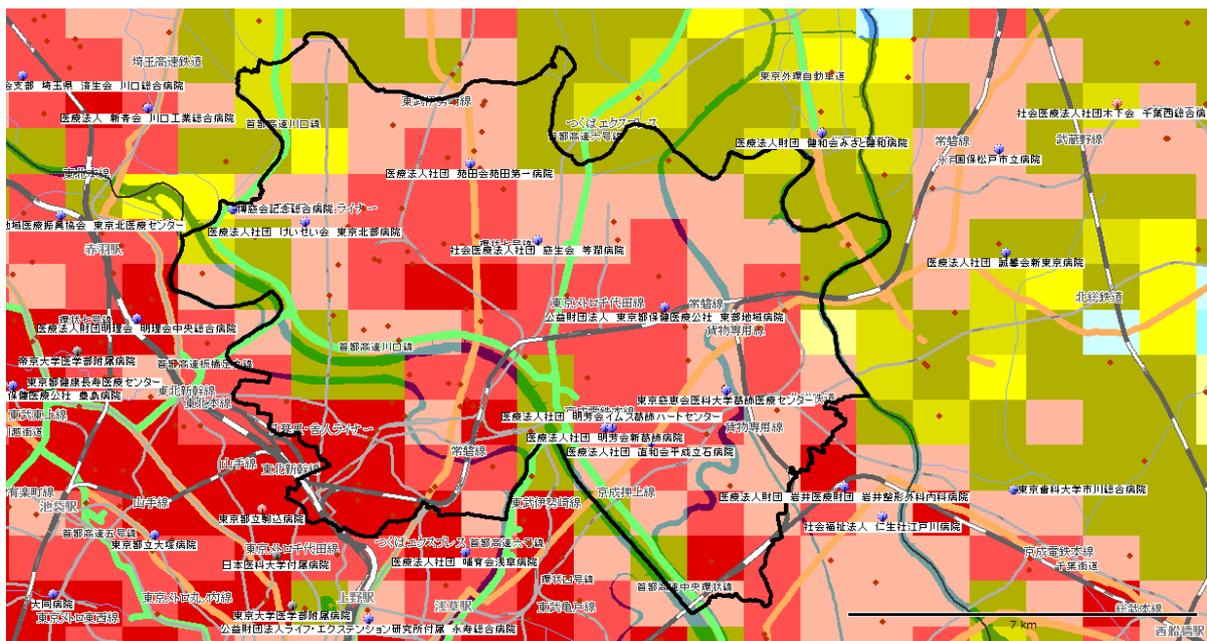
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



13-6. くとうほくぶ 区東北部医療圏

構成市区町村⁹ [荒川区](#) [足立区](#) [葛飾区](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

● I 群

● II 群

● III 群

● 一般病院

(区東北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 区東北部(荒川区)は、総人口約1325千人(2015年)、面積98km²、人口密度は13495人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 区東北部の総人口は2025年に1244千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に1098千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の155千人が、2025年にかけて197千人へと増加し(2015年比+27%)、2040年には190千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 区東北部の一人当たり医療費(国保)は310千円(偏差値42)、介護給付費は262千円(偏差値53)であり、医療費は低い、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 区東北部の一人当たり急性期医療密度指数²は1.05、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.54で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が45(病院医師数41、診療所医師数53)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は38と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は42で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。区東北部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の東京女子医科大学東医療センター(Ⅱ群・救命)、1000例以上の東部地域病院(Ⅲ群)、東京慈恵会医科大学葛飾医療センター(Ⅲ群)、500例以上の平成立石病院(Ⅲ群)、新葛飾病院(Ⅲ群)、苑田第一病院(Ⅲ群)、博慈会記念総合病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値43と少なく、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は43で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 区東北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、15234人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が8282床(偏差値43)、高齢者住宅等が6952床(偏差値52)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、10149人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設46、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設47、有料老人ホーム57、軽費ホーム45、グループホーム42、サ高住51である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値46とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値58と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値50と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、2685人(75歳以上1000人当たりの偏差値56)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-24%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(区東北部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

区東北部医療圏の総人口は、2005年1240892人が、2015年に1325299人と7%増加し、2025年の人口が1243907人と予測され、2005年→2025年の間に1%未満の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に18%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

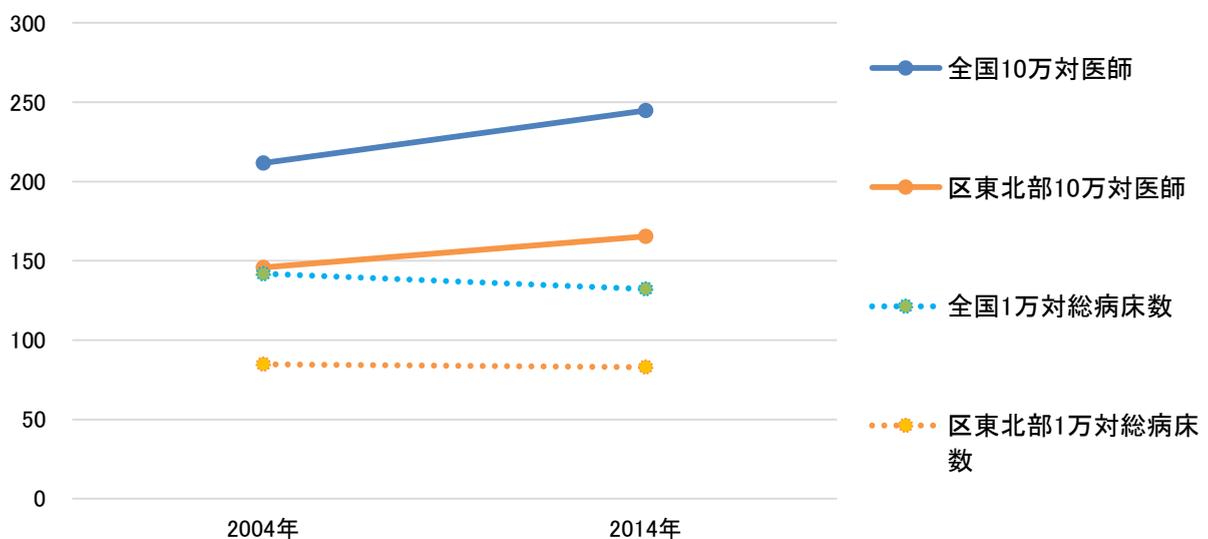
2004年の病院数が80(人口10万人当たり6.4病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2014年に86(人口10万人当たり6.5病院(全国平均6.7)偏差値50)となり、10年間で6病院が増加した。

2004年の診療所数が892(人口10万人当たり72診療所(全国平均76)偏差値48)であったが、2014年に934(人口10万人当たり70診療所(全国平均79)偏差値45)と、42診療所が増加した。

2004年の総病床数が10518床(人口1万人当たり85(全国平均142)偏差値40)であったが、2014年に10993床(人口1万人当たり83(全国平均132)偏差値41)と、475床の増加、率にして5%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。

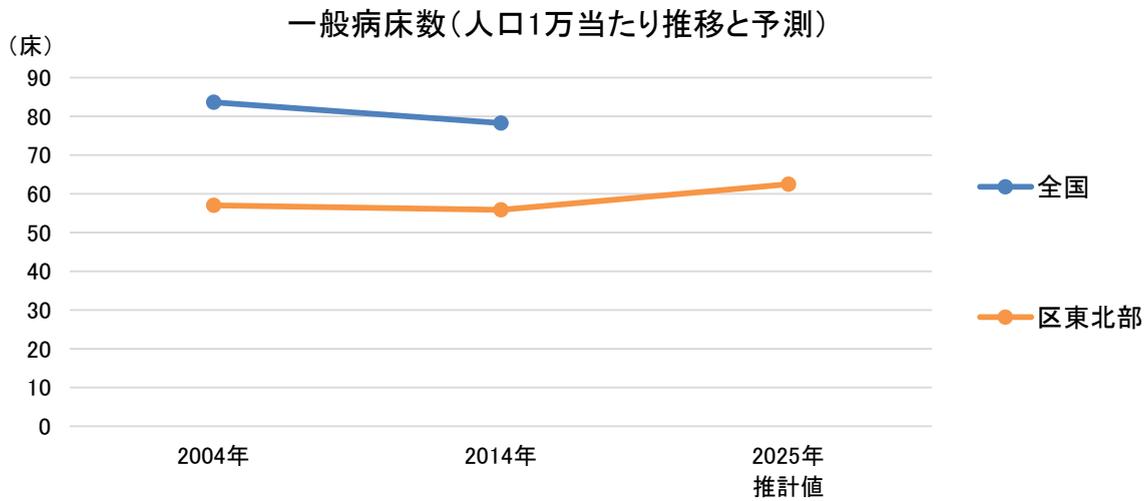
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が1809人(人口10万人当たり146人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2014年に2191人(人口10万人当たり165人(全国平均245人)偏差値42)と、382人の増加、率にして21%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



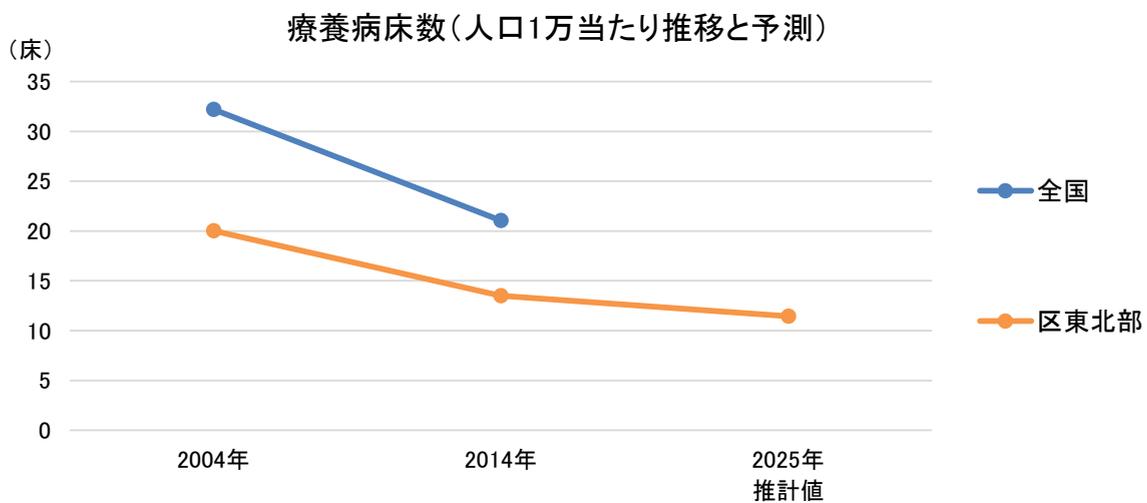
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が7076床(人口1万人当たり57(全国平均84)偏差値41)であったが、2014年に7407床(人口1万人当たり56(全国平均78)偏差値42)と、331床の増加、率にして5%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には7771床(2025年の推計人口1万人当たり62)になることが予想される。



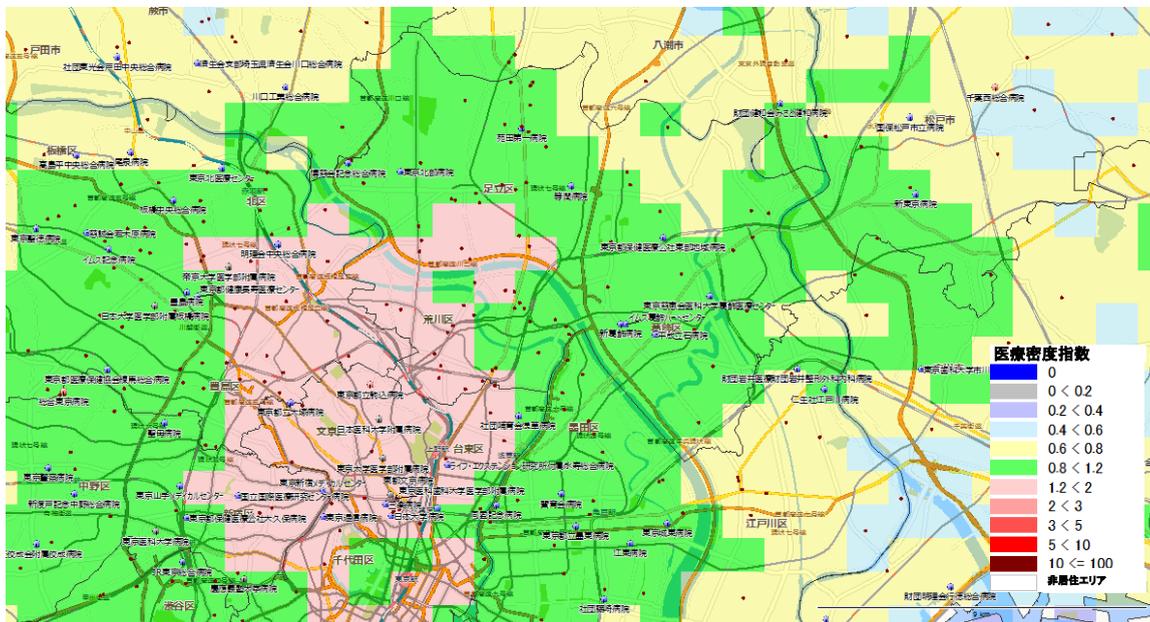
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1942床(75歳以上1000人当たり20(全国平均32)偏差値43)であったが、2014年に2092床(75歳以上1000人当たり14(全国平均21)偏差値44)と、150床の増加、率にして8%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には2257床(2025年の推計75歳以上1000人当たり11)になることが予想される。



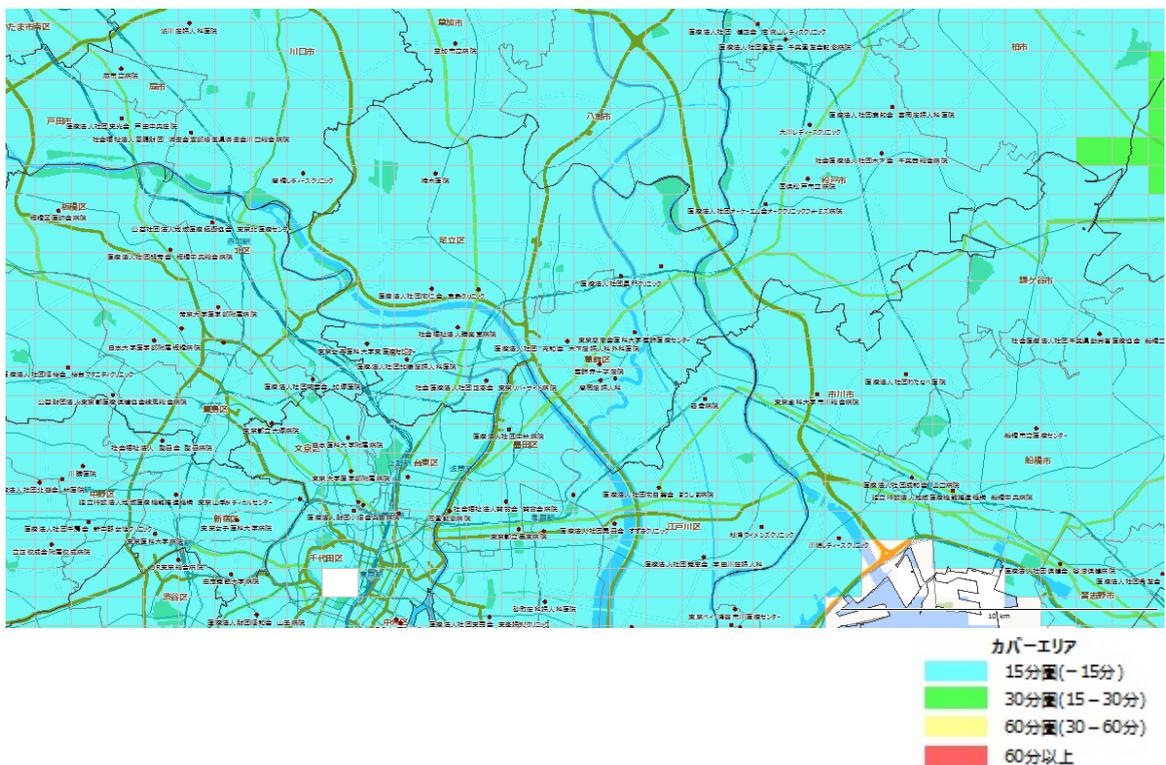
(区東北部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表13-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-6-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

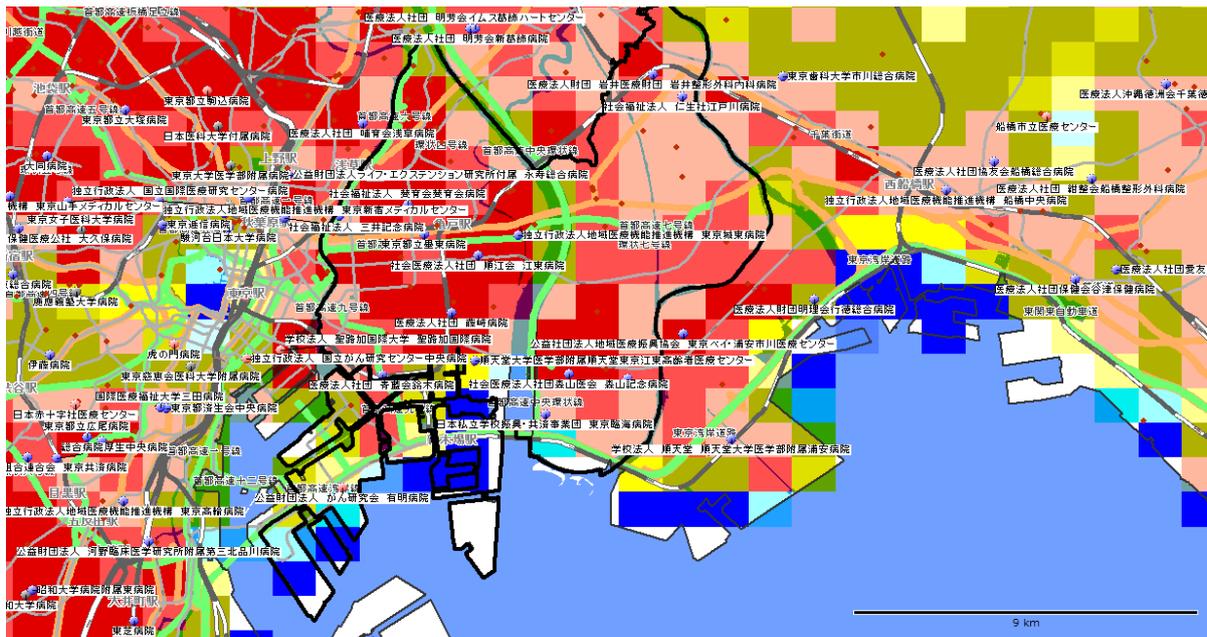
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



くとうぶ 13-7. 区東部医療圏

構成市区町村⁹ [墨田区](#) [江東区](#) [江戸川区](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(区東部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 区東部(墨田区)は、総人口約1436千人(2015年)、面積104km²、人口密度は13827人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 区東部の総人口は2025年に1433千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年に1403千人へと減少する(2025年比-2%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の138千人が、2025年にかけて176千人へと増加し(2015年比+28%)、2040年には191千人へと増加する(2025年比+9%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 区東部の一人当たり医療費(国保)は316千円(偏差値44)、介護給付費は230千円(偏差値44)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 区東部の一人当たり急性期医療密度指数²は0.87、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.31で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が45(病院医師数43、診療所医師数52)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は37と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は40で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は48と全国平均レベルである。区東部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の江戸川病院(Ⅲ群)、東京都立墨東病院(Ⅱ群・救命)、がん研究会有明病院(Ⅱ群)、1000例以上の昭和大学江東豊洲病院(Ⅲ群)、東京臨海病院(Ⅲ群)、岩井整形外科内科病院(Ⅲ群)、江東病院(Ⅲ群)、同愛記念病院(Ⅲ群)、500例以上の森山記念病院(Ⅲ群)、順天堂東京江東高齢者医療センター(Ⅲ群)、藤崎病院(Ⅲ群)、賛育会病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は42と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値40と少なく、回復期病床数は偏差値44と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は38で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 区東部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、10287人(75歳以上1000人当たりの偏差値33)と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が5667床(偏差値33)、高齢者住宅等が4620床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、7392人(75歳以上1000人当たりの偏差値30)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設38、特別養護老人ホーム39、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム57、軽費ホーム46、グループホーム43、サ高住34である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値48と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値45とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値47とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、1876人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-45%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(区東部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

区東部医療圏の総人口は、2005年1305962人が、2015年に1435681人と10%増加し、2025年の人口が1432511人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に20%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

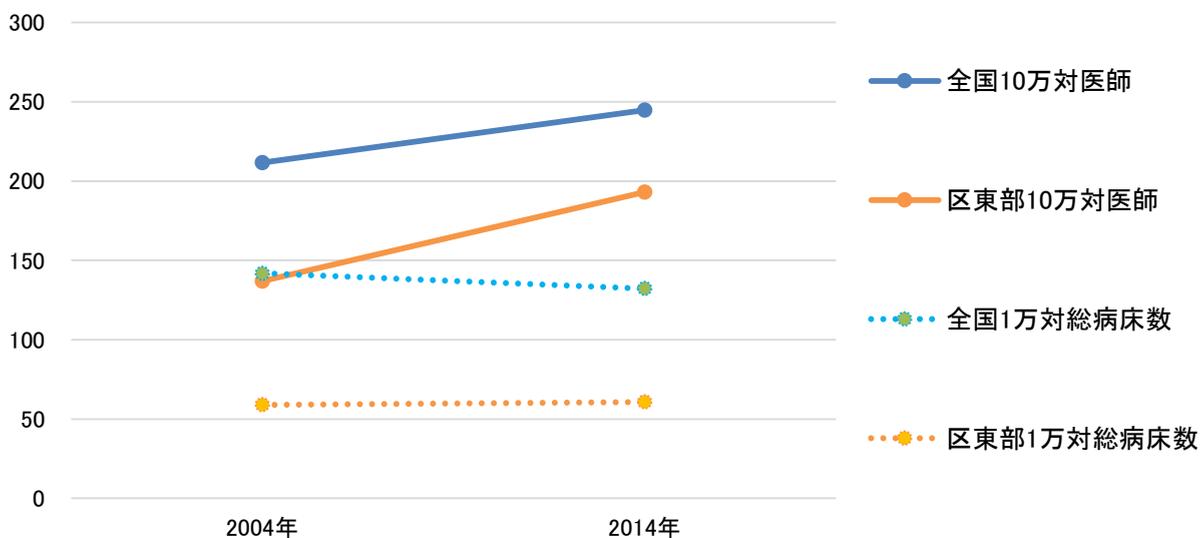
2004年の病院数が51(人口10万人当たり3.9病院(全国平均7.1)偏差値42)であったが、2014年に53(人口10万人当たり3.7病院(全国平均6.7)偏差値43)となり、10年間で2病院が増加した。

2004年の診療所数が914(人口10万人当たり70診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2014年に1030(人口10万人当たり72診療所(全国平均79)偏差値46)と、116診療所が増加した。

2004年の総病床数が7697床(人口1万人当たり59(全国平均142)偏差値35)であったが、2014年に8730床(人口1万人当たり61(全国平均132)偏差値37)と、1033床の増加、率にして13%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。

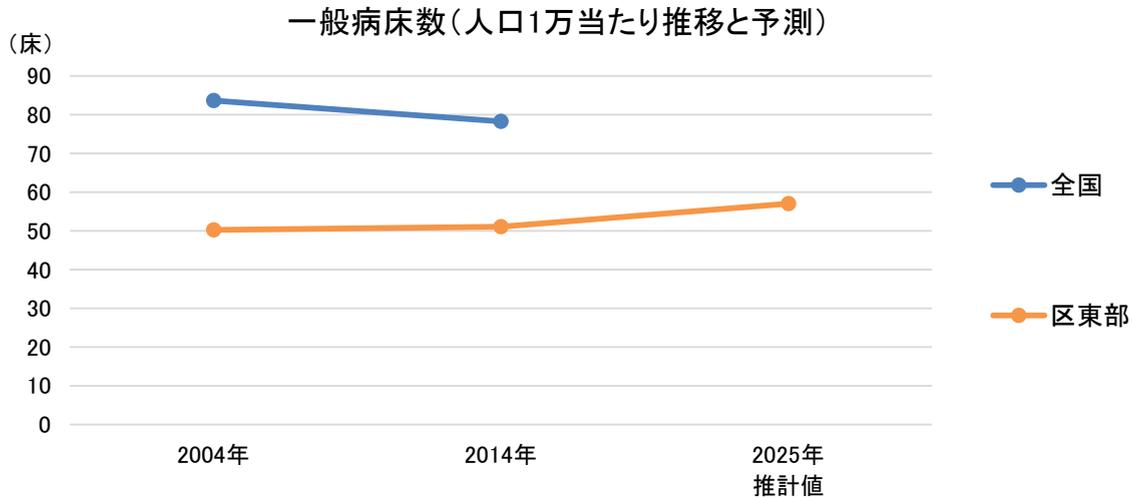
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が1788人(人口10万人当たり137人(全国平均212人)偏差値41)であったが、2014年に2773人(人口10万人当たり193人(全国平均245人)偏差値44)と、985人の増加、率にして55%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



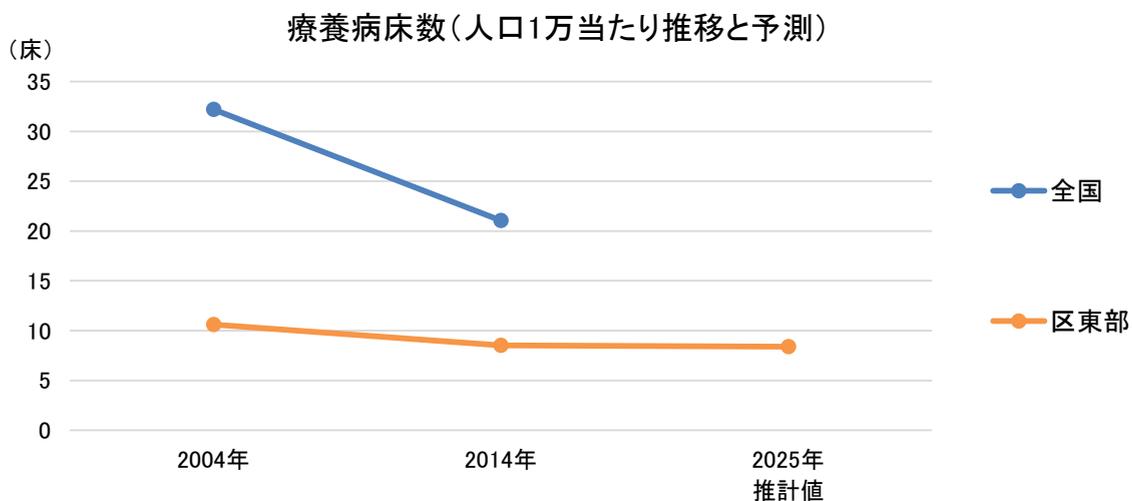
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が6566床(人口1万人当たり50(全国平均84)偏差値38)であったが、2014年に7331床(人口1万人当たり51(全国平均78)偏差値40)と、765床の増加、率にして12%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には8173床(2025年の推計人口1万人当たり57)になることが予想される。



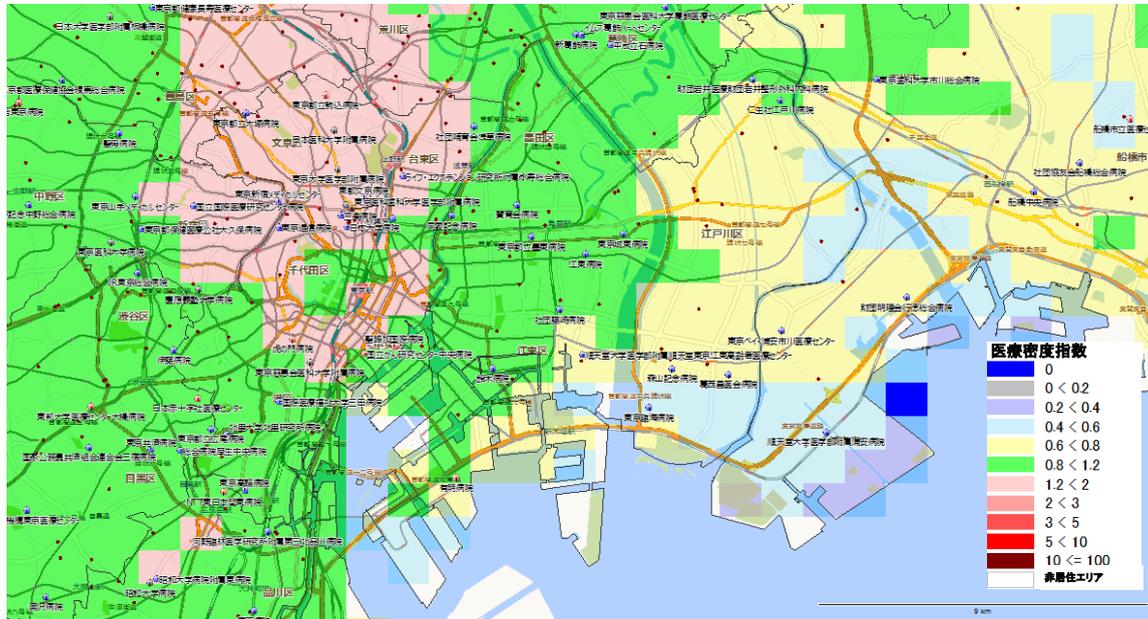
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が896床(75歳以上1000人当たり11(全国平均32)偏差値38)であったが、2014年に1174床(75歳以上1000人当たり9(全国平均21)偏差値39)と、278床の増加、率にして31%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には1480床(2025年の推計75歳以上1000人当たり8)になることが予想される。



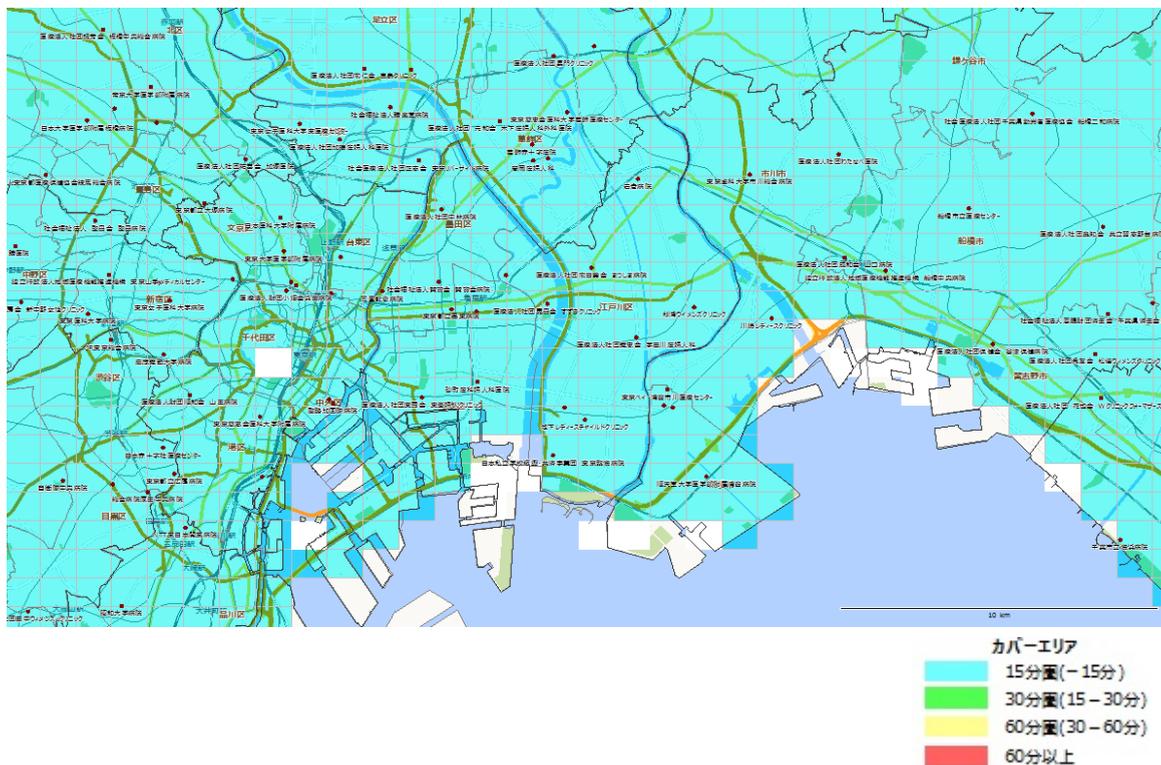
(区東部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表13-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-7-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。（集計方法は補論参照のこと）



13-8. にしたま西多摩医療圏

構成市区町村⁹

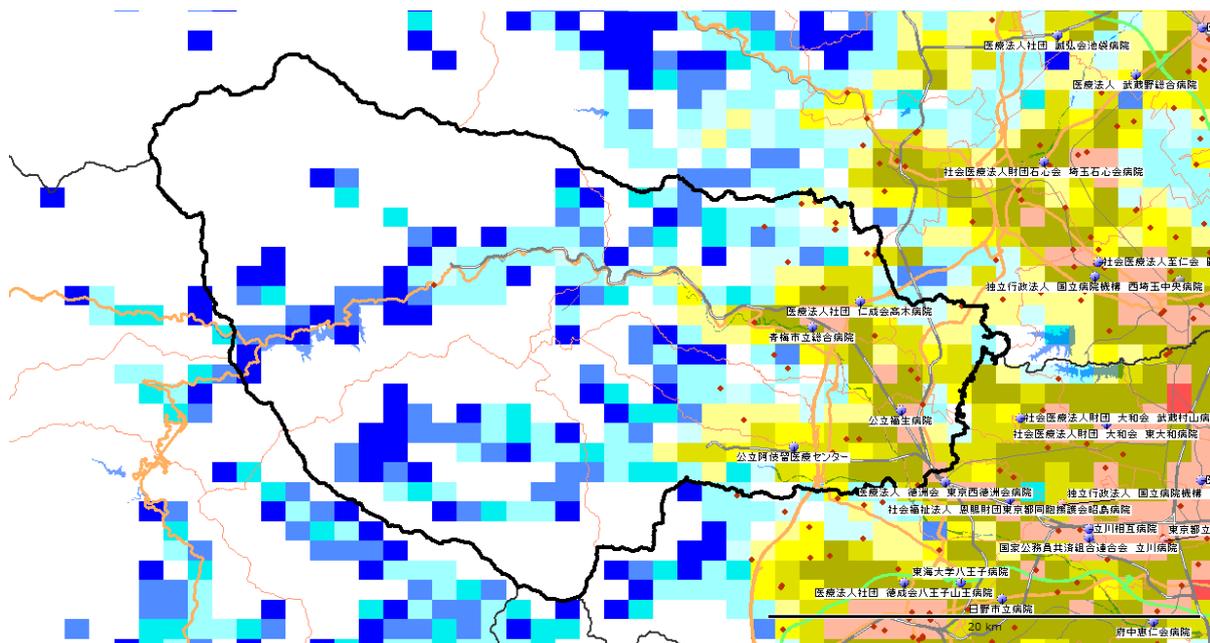
青梅市
瑞穂町

福生市
日の出町

羽村市
檜原村

あきる野市
奥多摩町

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(西多摩医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 西多摩(青梅市)は、総人口約391千人(2015年)、面積573km²、人口密度は683人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 西多摩の総人口は2025年に362千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に310千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の50千人が、2025年にかけて66千人へと増加し(2015年比+32%)、2040年には66千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 西多摩の一人当たり医療費(国保)は310千円(偏差値42)、介護給付費は204千円(偏差値36)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 西多摩の一人当たり急性期医療密度指数²は0.69、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.84で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が43(病院医師数45、診療所医師数40)と、総医師数と診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は46とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は39で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。西多摩には、年間全身麻酔件数が1000例以上の公立福生病院(Ⅲ群)、高木病院(Ⅲ群)、青梅市立総合病院(Ⅲ群・救命)、500例以上の公立阿伎留医療センター(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は66と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値48と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は69で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 西多摩の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、9925人(75歳以上1000人当たりの偏差値107)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が8843床(偏差値145)、高齢者住宅等が1082床(偏差値37)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6846人(75歳以上1000人当たりの偏差値103)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設60、特別養護老人ホーム150、介護療養型医療施設82、有料老人ホーム44、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム35、サ高住44である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は偏差値54とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値46とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、311人(75歳以上1000人当たりの偏差値36)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+44%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数では過剰である。

(西多摩医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

西多摩医療圏の総人口は、2005年398832人が、2015年に390897人と2%減少し、2025年の人口が361840人と予測され、2005年→2025年の間に9%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に13%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の増加が予測される。

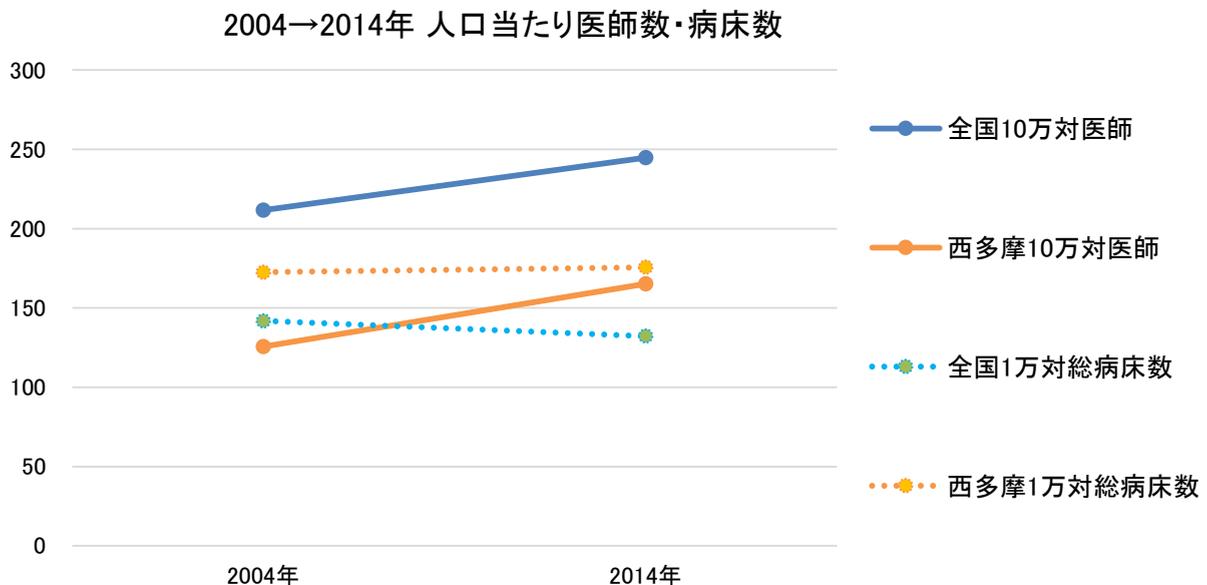
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が29(人口10万人当たり7.3病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2014年に30(人口10万人当たり7.7病院(全国平均6.7)偏差値52)となり、10年間で1病院が増加した。

2004年の診療所数が253(人口10万人当たり63診療所(全国平均76)偏差値44)であったが、2014年に250(人口10万人当たり64診療所(全国平均79)偏差値42)と、3診療所が減少した。

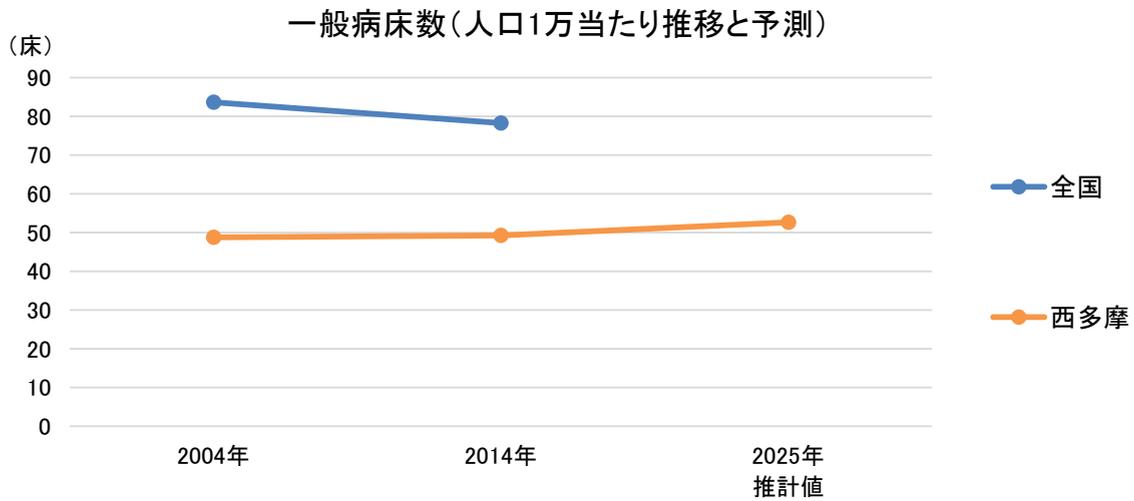
2004年の総病床数が6880床(人口1万人当たり173(全国平均142)偏差値55)であったが、2014年に6867床(人口1万人当たり176(全国平均132)偏差値58)と、13床の減少、率にして1%未満の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が501人(人口10万人当たり126人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2014年に646人(人口10万人当たり165人(全国平均245人)偏差値42)と、145人の増加、率にして29%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



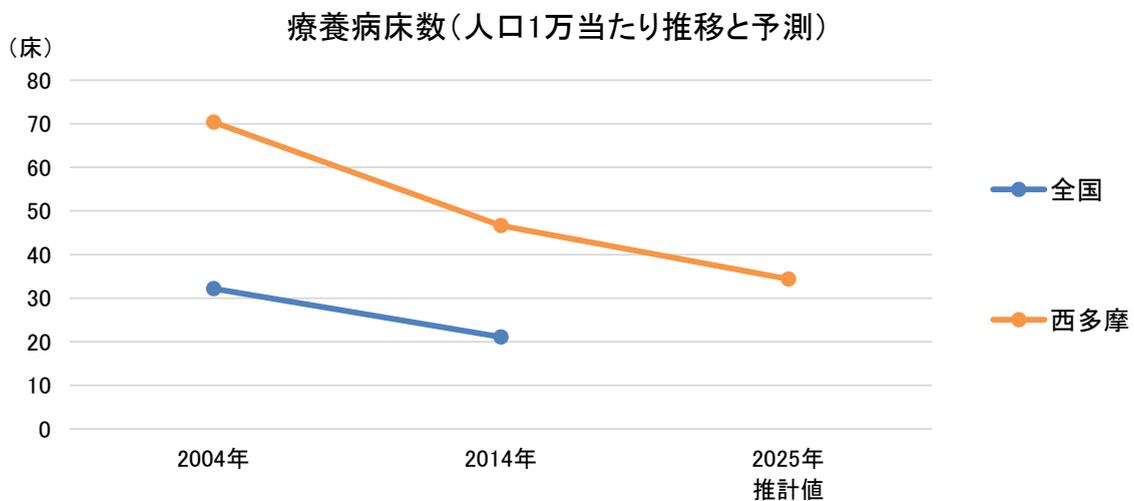
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1944床(人口1万人当たり49(全国平均84)偏差値38)であったが、2014年に1925床(人口1万人当たり49(全国平均78)偏差値39)と、19床の減少、率にして1%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1904床(2025年の推計人口1万人当たり53)になることが予想される。



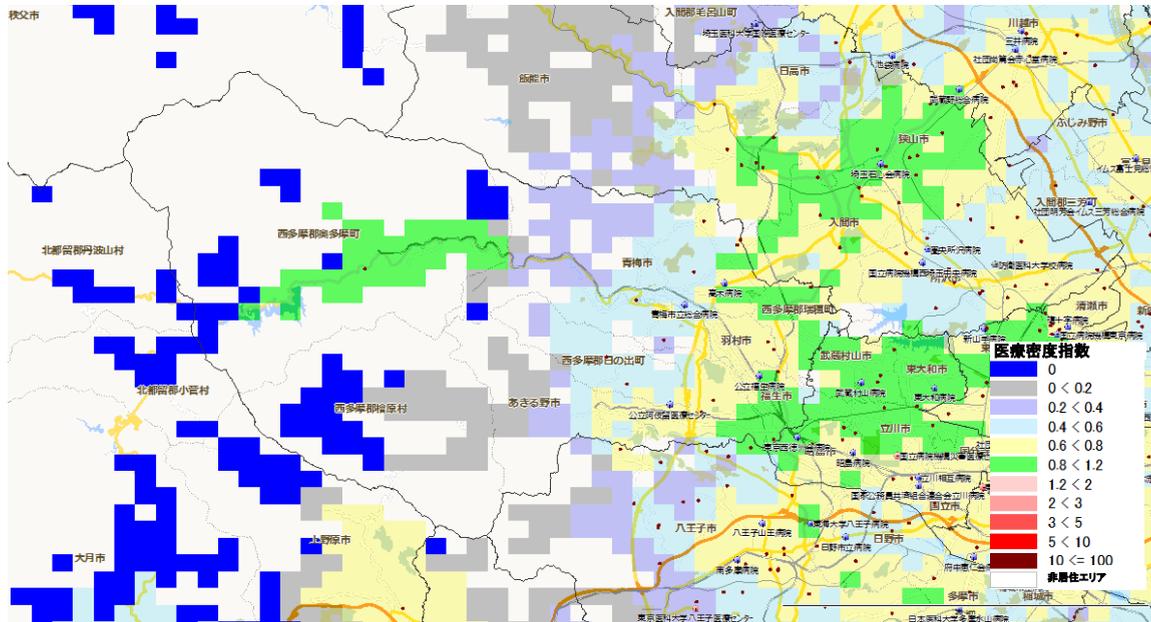
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2348床(75歳以上1000人当たり70(全国平均32)偏差値72)であったが、2014年に2316床(75歳以上1000人当たり47(全国平均21)偏差値72)と、32床の減少、率にして1%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2281床(2025年の推計75歳以上1000人当たり34)になることが予想される。



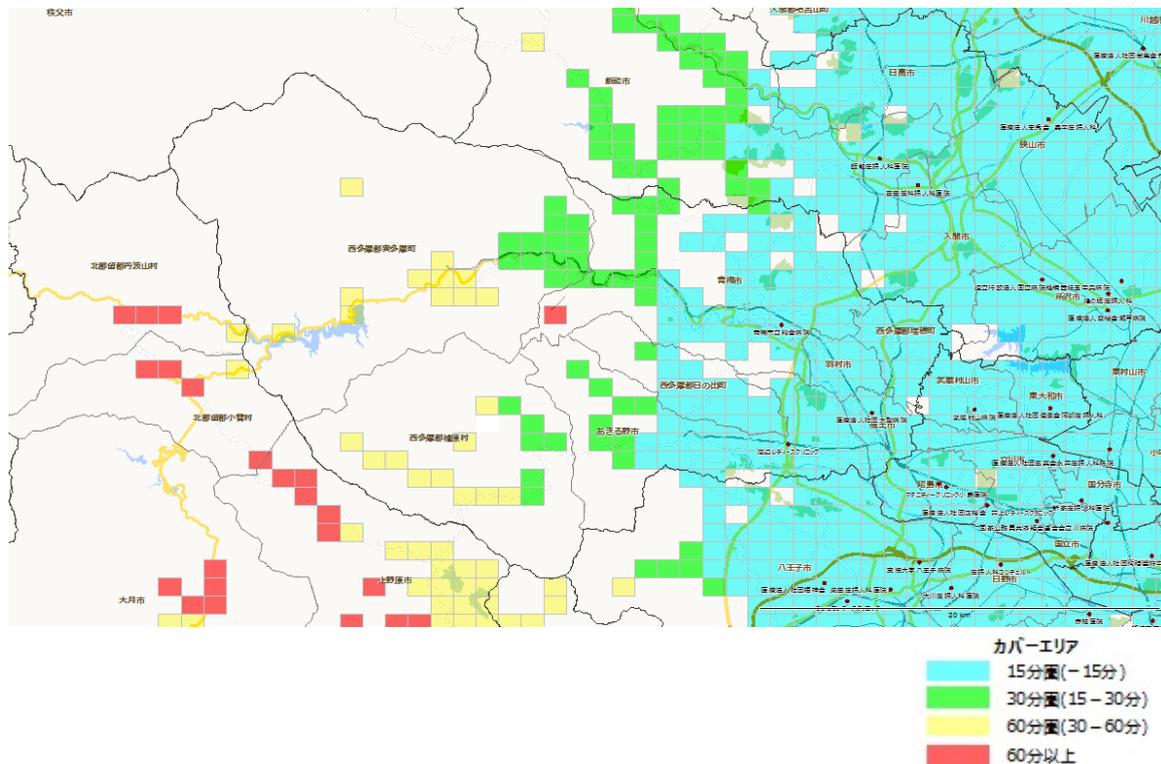
(西多摩医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表13-8-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-8-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

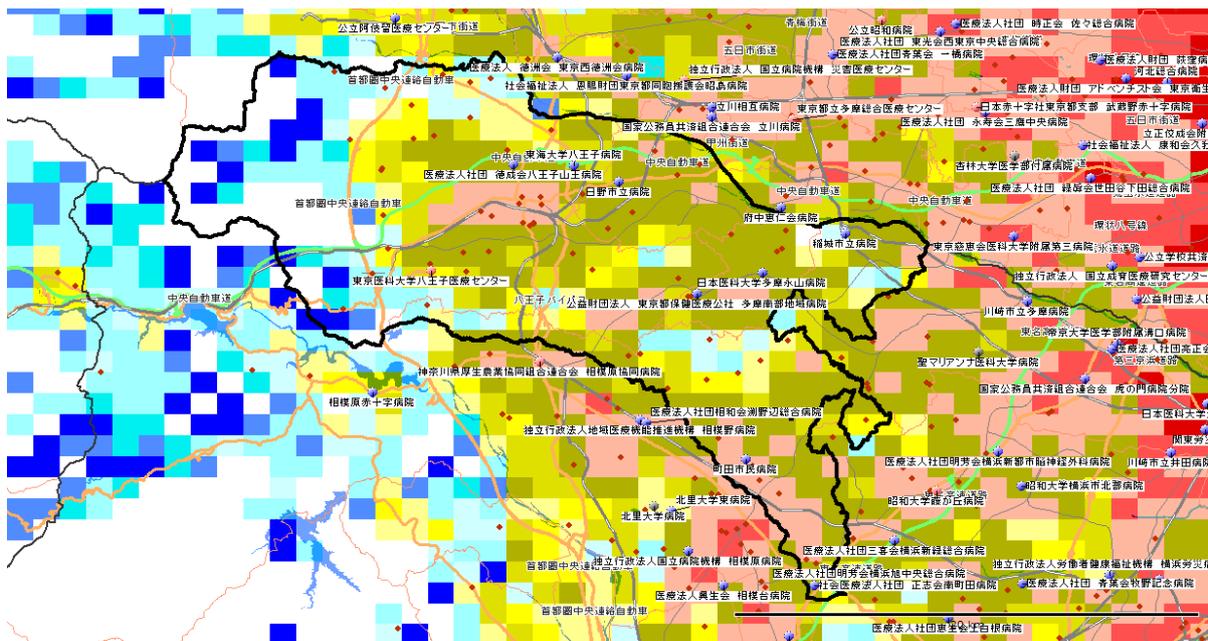
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。（集計方法は補論参照のこと）



13-9. みなみたま 南多摩医療圏

構成市区町村⁹ [八王子市](#) [町田市](#) [日野市](#) [多摩市](#)
[稲城市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(南多摩医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 南多摩(八王子市)は、総人口約1430千人(2015年)、面積325km²、人口密度は4405人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 南多摩の総人口は2025年に1441千人へと増加し(2015年比+1%)、2040年に1353千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の160千人が、2025年にかけて241千人へと増加し(2015年比+51%)、2040年には252千人へと増加する(2025年比+5%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 南多摩の一人当たり医療費(国保)は319千円(偏差値44)、介護給付費は222千円(偏差値41)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 南多摩の一人当たり急性期医療密度指数²は0.7、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.01で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が44(病院医師数42、診療所医師数49)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は42と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は38で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。南多摩には、年間全身麻酔件数が2000例以上の東海大学八王子病院(Ⅲ群)、東京医科大学八王子医療センター(Ⅱ群・救命)、1000例以上の稲城市立病院(Ⅲ群)、多摩南部地域病院(Ⅲ群)、日本医科大学多摩永山病院(Ⅲ群・救命)、日野市立病院(Ⅲ群)、町田市民病院(Ⅲ群)、500例以上の南町田病院(Ⅲ群)、南多摩病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は44で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 南多摩の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、18620人(75歳以上1000人当たりの偏差値57)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が9617床(偏差値49)、高齢者住宅等が9003床(偏差値59)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、10923人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設39、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設57、有料老人ホーム72、軽費ホーム44、グループホーム38、サ高住48である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値43と少なく、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、1721人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-17%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(南多摩医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

南多摩医療圏の総人口は、2005年1364453人が、2015年に1430411人と5%増加し、2025年の人口が1441077人と予測され、2005年→2025年の間に6%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に21%増加し、2015年から2025年にかけて11%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

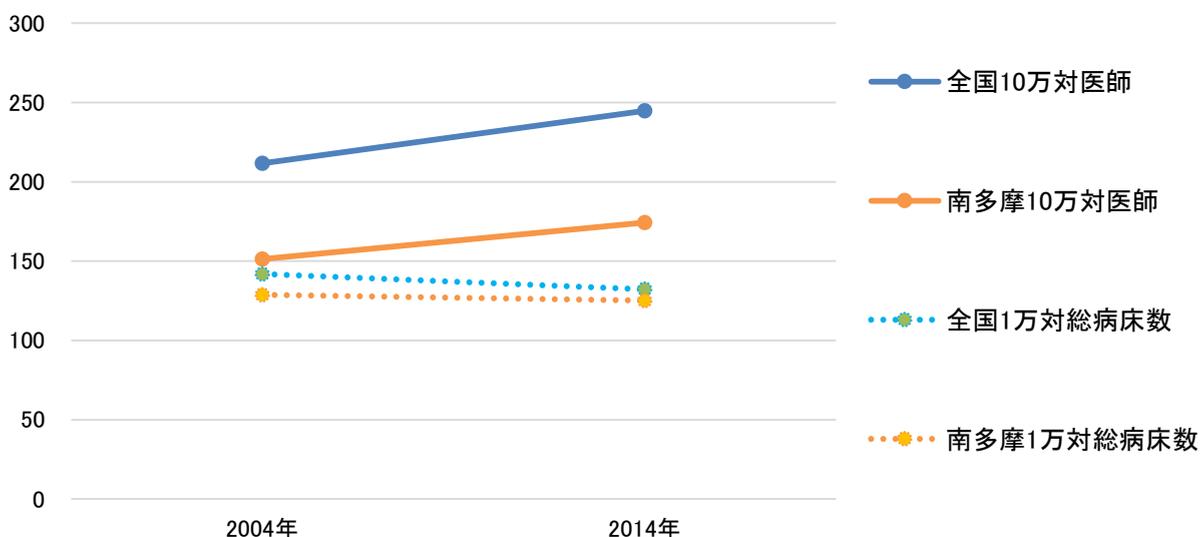
2004年の病院数が76(人口10万人当たり5.6病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2014年に77(人口10万人当たり5.4病院(全国平均6.7)偏差値47)となり、10年間で1病院が増加した。

2004年の診療所数が911(人口10万人当たり67診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2014年に956(人口10万人当たり67診療所(全国平均79)偏差値43)と、45診療所が増加した。

2004年の総病床数が17567床(人口1万人当たり129(全国平均142)偏差値48)であったが、2014年に17891床(人口1万人当たり125(全国平均132)偏差値49)と、324床の増加、率にして2%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。

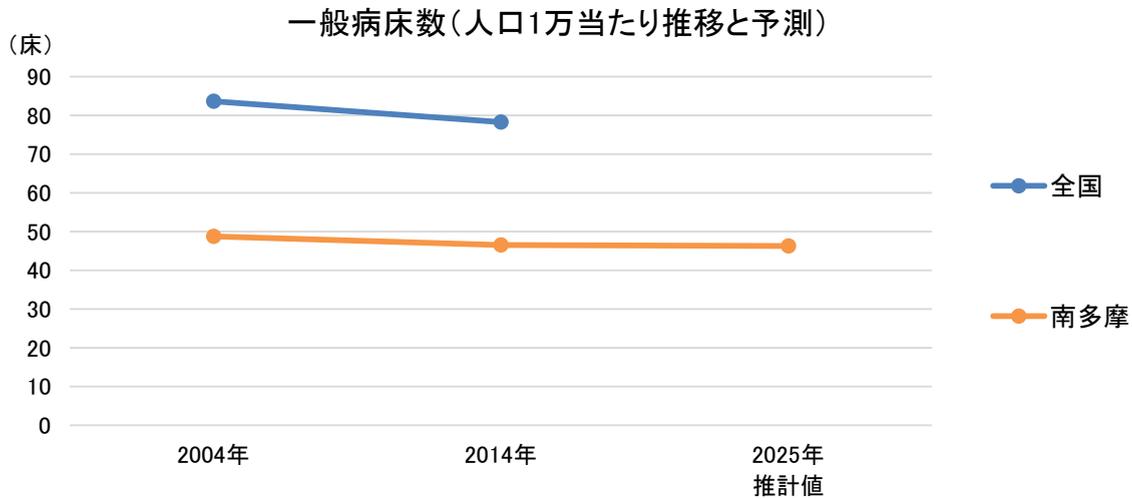
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が2064人(人口10万人当たり151人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2014年に2494人(人口10万人当たり174人(全国平均245人)偏差値42)と、430人の増加、率にして21%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



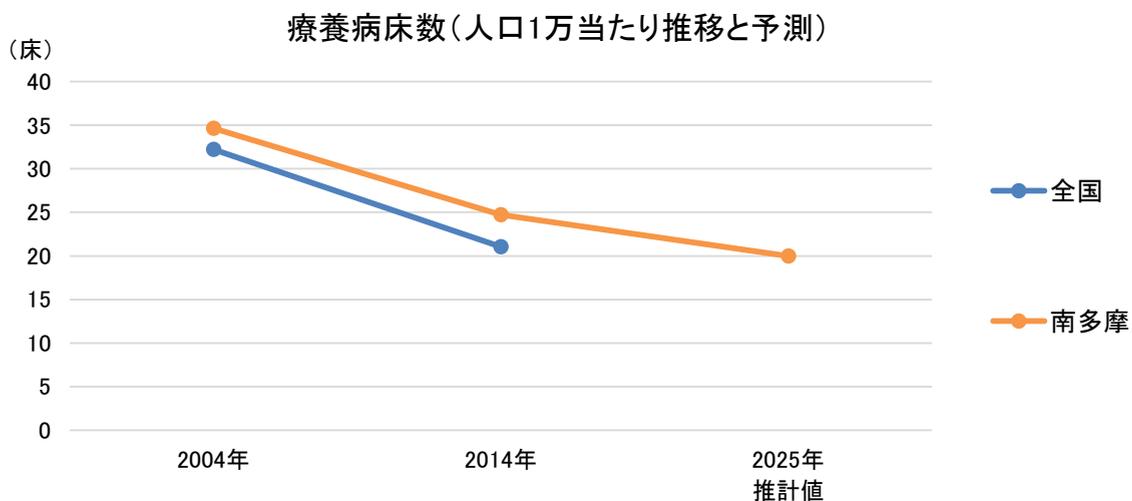
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が6654床(人口1万人当たり49(全国平均84)偏差値38)であったが、2014年に6660床(人口1万人当たり47(全国平均78)偏差値38)と、6床の増加、率にして1%未満の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には6667床(2025年の推計人口1万人当たり46)になることが予想される。



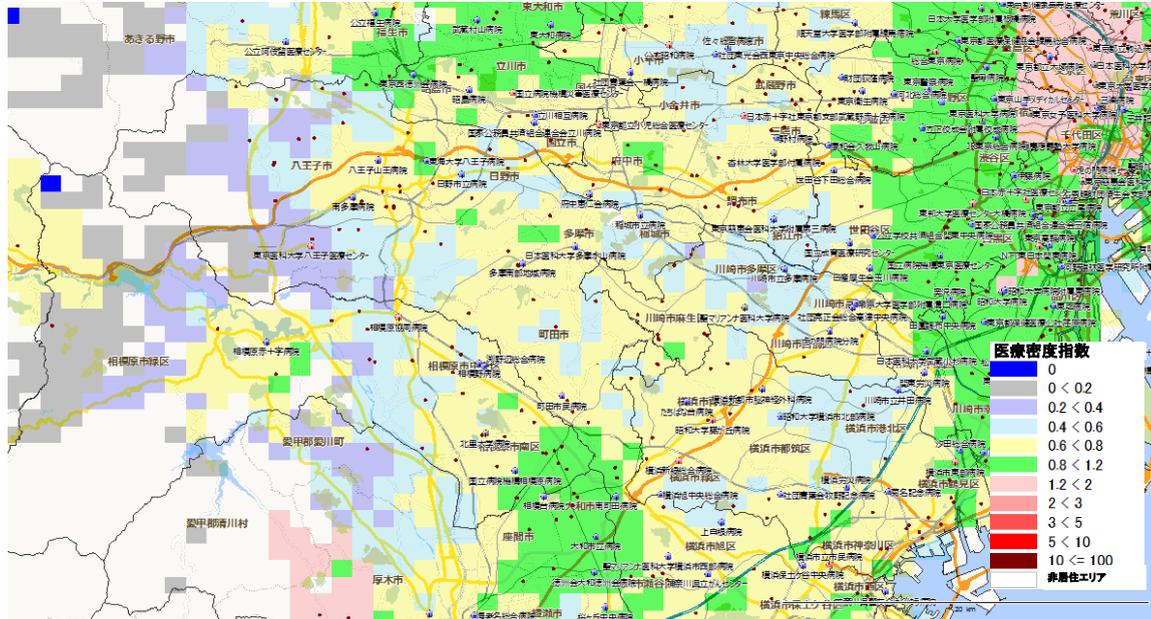
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が3185床(75歳以上1000人当たり35(全国平均32)偏差値51)であったが、2014年に3962床(75歳以上1000人当たり25(全国平均21)偏差値53)と、777床の増加、率にして24%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には4817床(2025年の推計75歳以上1000人当たり20)になることが予想される。



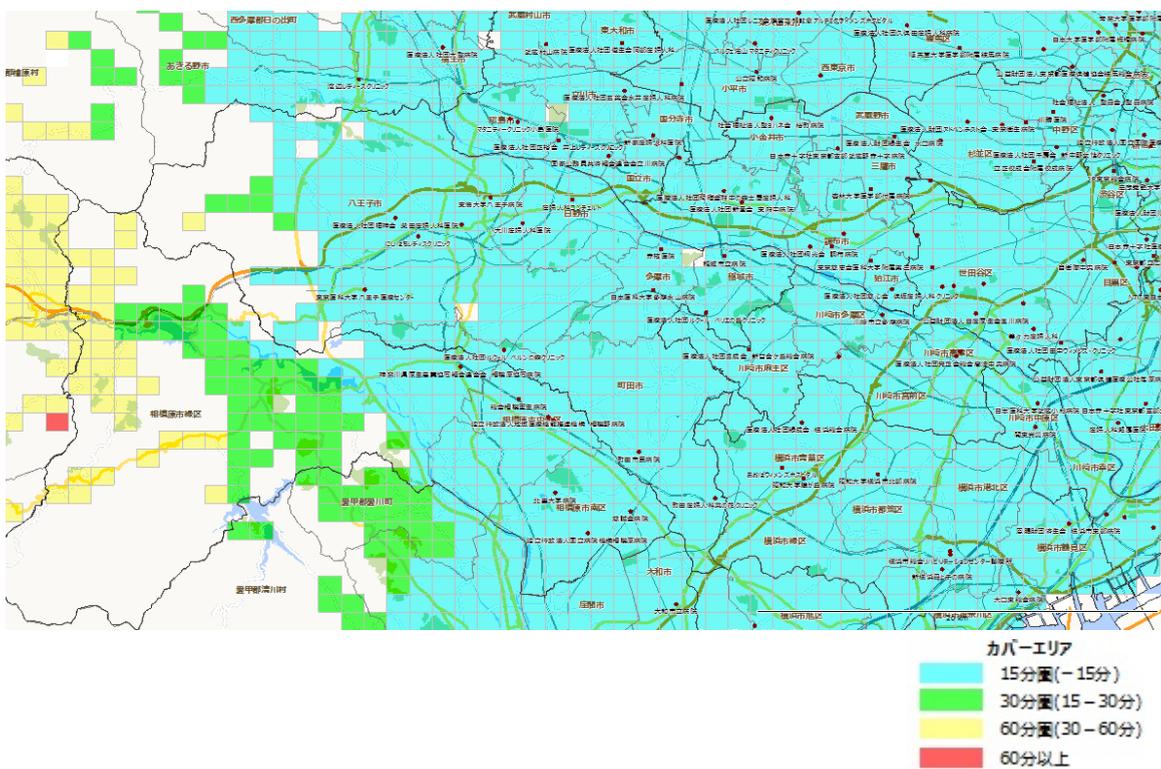
(南多摩医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表13-9-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-9-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

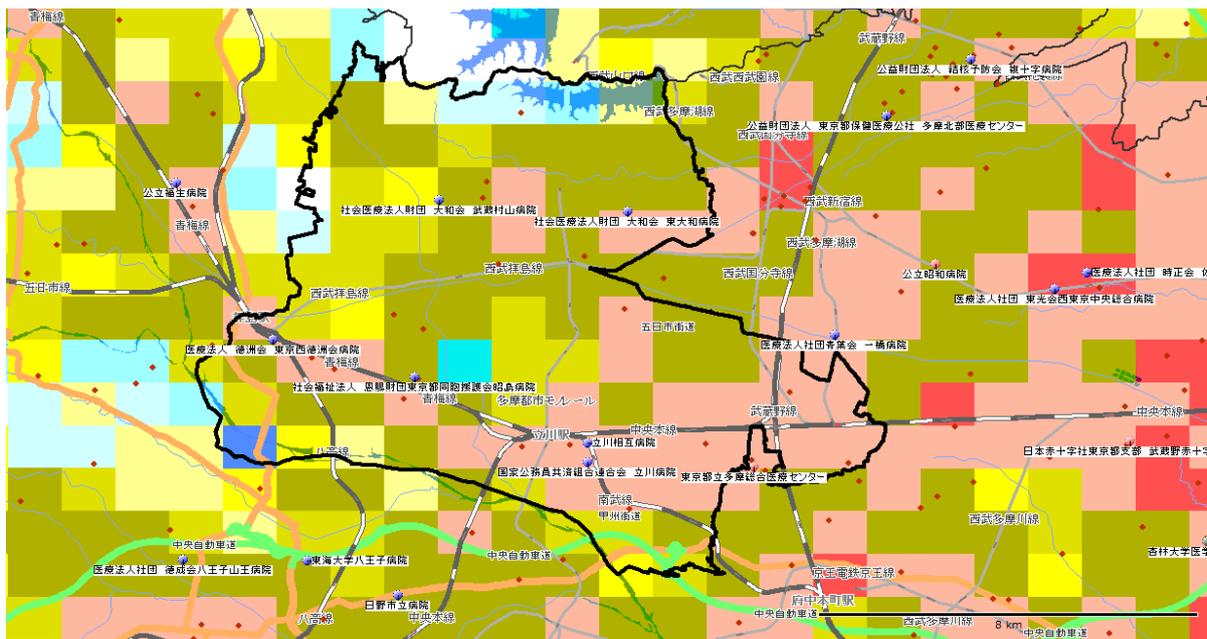
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



13-10. きたたませいぶ北多摩西部医療圏

構成市区町村⁹ [立川市](#) [昭島市](#) [国分寺市](#) [国立市](#)
[東大和市](#) [武蔵村山市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(北多摩西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 北多摩西部(立川市)は、総人口約641千人(2015年)、面積90km²、人口密度は7114人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 北多摩西部の総人口は2025年に638千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年に590千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の69千人が、2025年にかけて101千人へと増加し(2015年比+46%)、2040年には108千人へと増加する(2025年比+7%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 北多摩西部の一人当たり医療費(国保)は308千円(偏差値42)、介護給付費は231千円(偏差値44)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 北多摩西部の一人当たり急性期医療密度指数²は0.75、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.77で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が44(病院医師数41、診療所医師数52)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は40と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は42で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。北多摩西部には、年間全身麻酔件数が1000例以上の東大和病院(Ⅲ群)、立川病院(Ⅲ群)、国立病院機構災害医療センター(Ⅱ群・救命)、500例以上の武蔵村山病院(Ⅲ群)、東京西徳洲会病院(Ⅲ群)、立川相互病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は38で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は49で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 北多摩西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6995人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が3927床(偏差値46)、高齢者住宅等が3068床(偏差値51)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4502人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設45、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設42、有料老人ホーム56、軽費ホーム44、グループホーム39、サ高住55である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値50と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、945人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-39%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(北多摩西部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

北多摩西部医療圏の総人口は、2005年618886人が、2015年に640617人と4%増加し、2025年の人口が638003人と予測され、2005年→2025年の間に3%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に15%増加し、2015年から2025年にかけて12%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

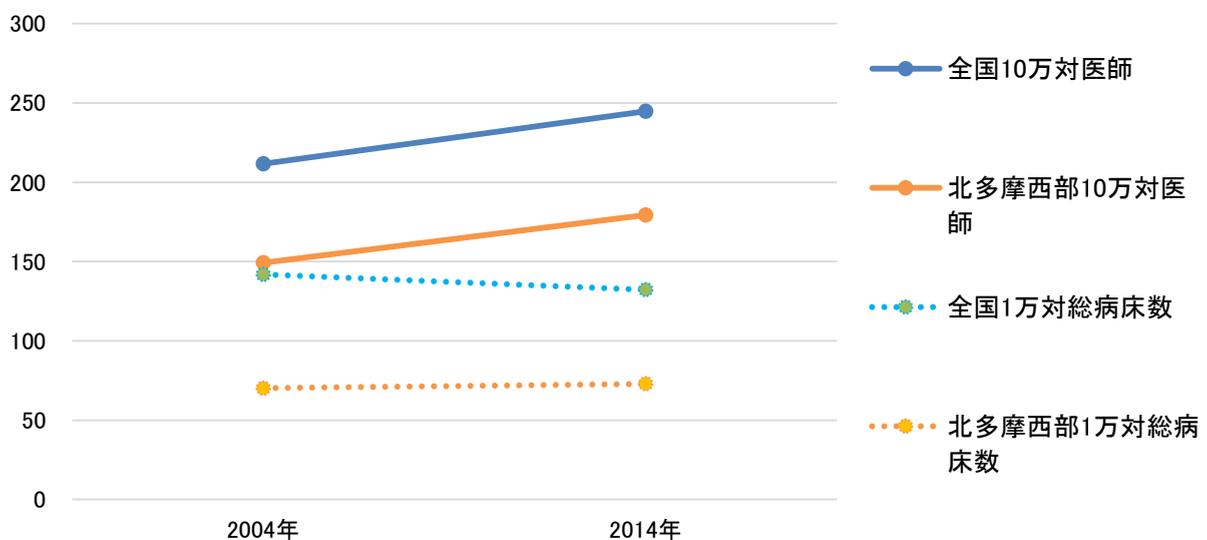
2004年の病院数が23(人口10万人当たり3.7病院(全国平均7.1)偏差値41)であったが、2014年に25(人口10万人当たり3.9病院(全国平均6.7)偏差値43)となり、10年間で2病院が増加した。

2004年の診療所数が469(人口10万人当たり76診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2014年に487(人口10万人当たり76診療所(全国平均79)偏差値48)と、18診療所が増加した。

2004年の総病床数が4344床(人口1万人当たり70(全国平均142)偏差値37)であったが、2014年に4668床(人口1万人当たり73(全国平均132)偏差値39)と、324床の増加、率にして7%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。

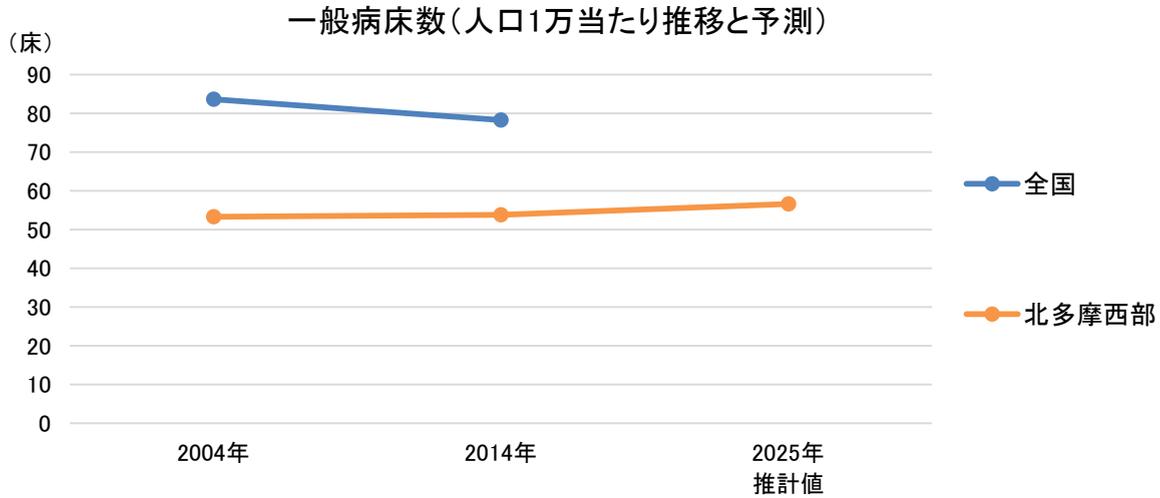
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が924人(人口10万人当たり149人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2014年に1149人(人口10万人当たり179人(全国平均245人)偏差値43)と、225人の増加、率にして24%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



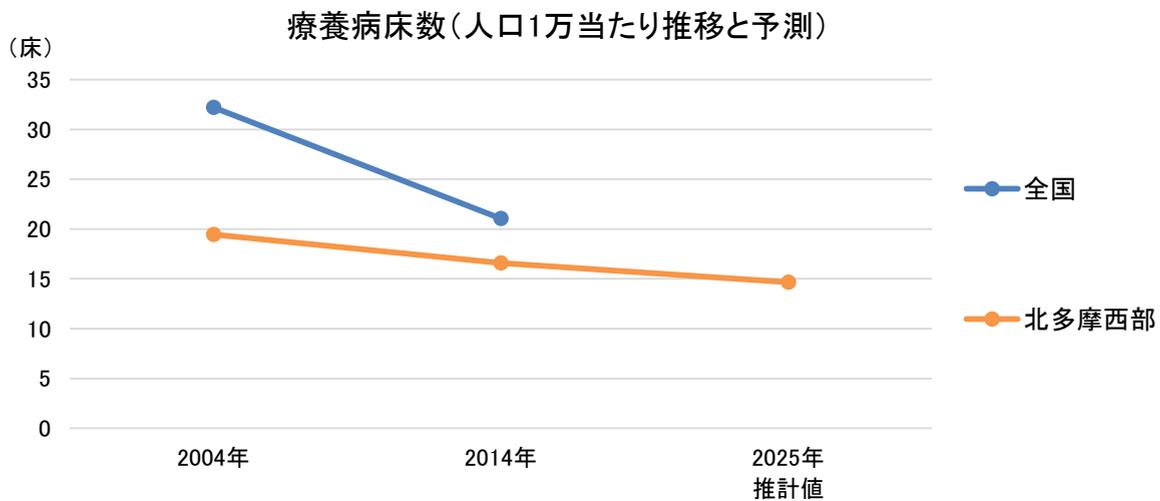
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3301床(人口1万人当たり53(全国平均84)偏差値39)であったが、2014年に3449床(人口1万人当たり54(全国平均78)偏差値41)と、148床の増加、率にして4%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には3612床(2025年の推計人口1万人当たり57)になることが予想される。



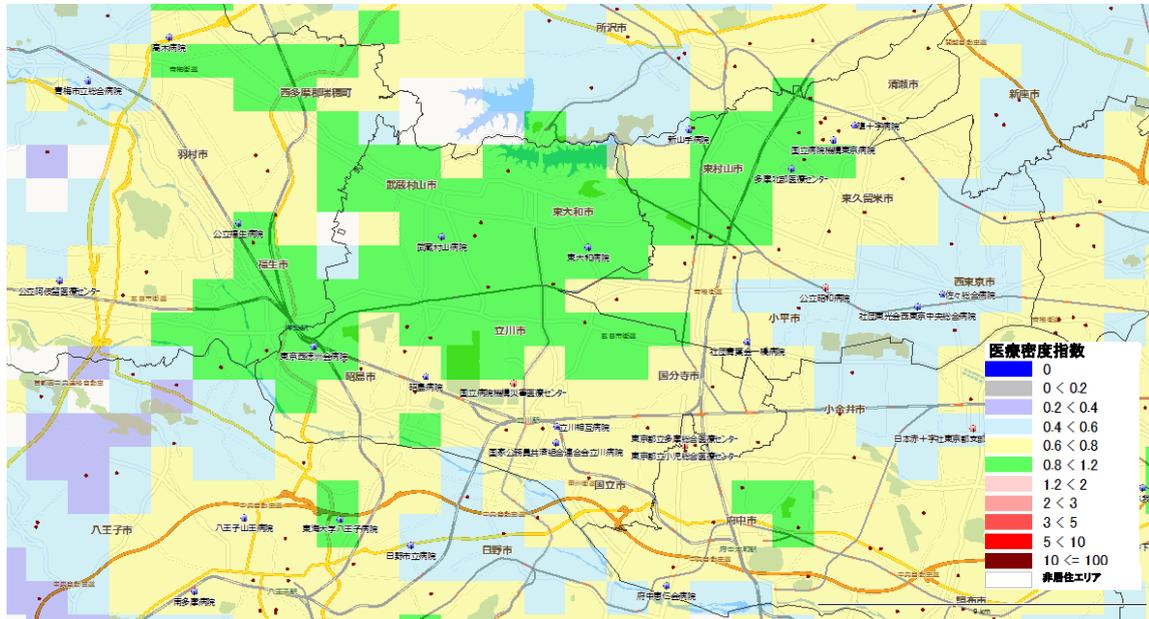
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が843床(75歳以上1000人当たり19(全国平均32)偏差値43)であったが、2014年に1150床(75歳以上1000人当たり17(全国平均21)偏差値46)と、307床の増加、率にして36%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には1488床(2025年の推計75歳以上1000人当たり15)になることが予想される。



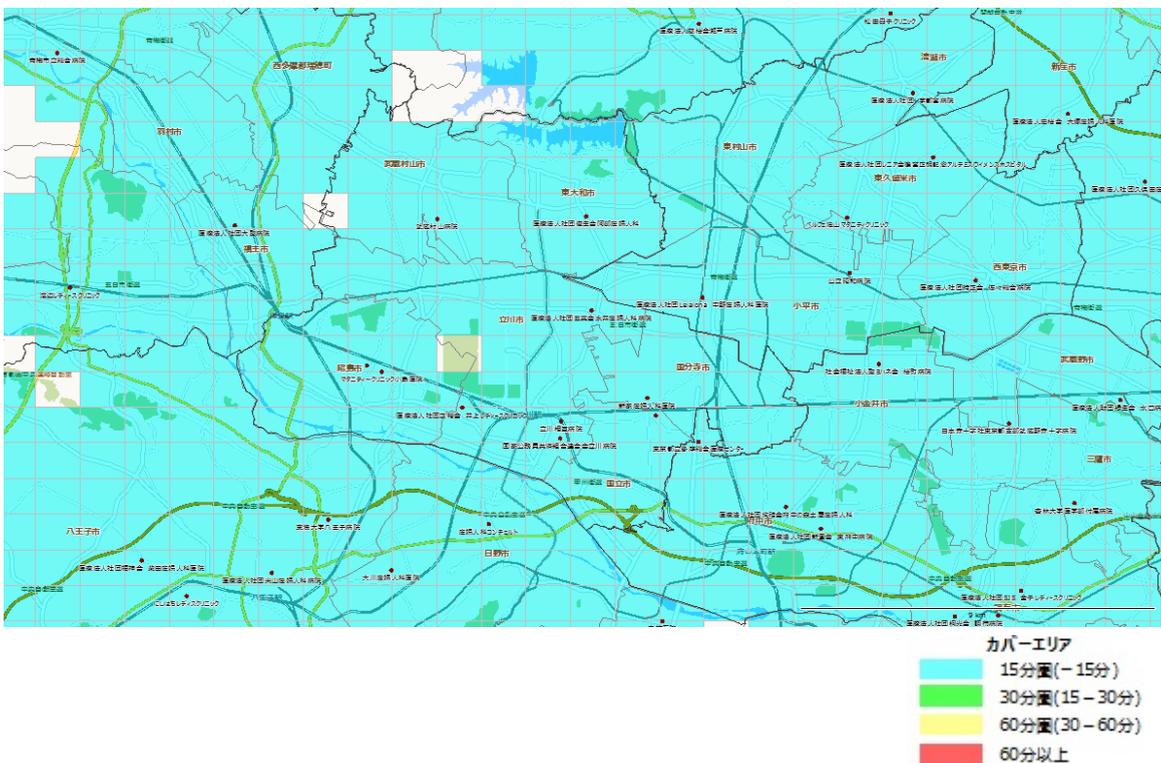
(北多摩西部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表13-10-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-10-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

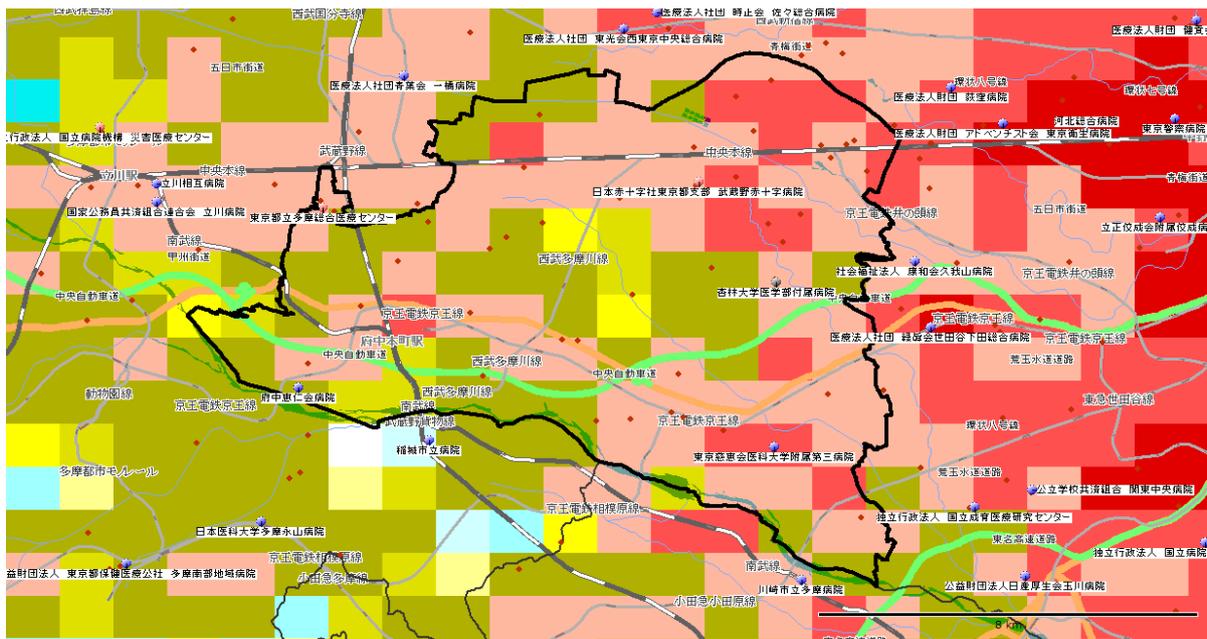
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



きたたまななぶ
13-11. 北多摩南部医療圏

構成市区町村⁹ [武蔵野市](#) [三鷹市](#) [府中市](#) [調布市](#)
[小金井市](#) [狛江市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(北多摩南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 北多摩南部(武蔵野市)は、総人口約1023千人(2015年)、面積96km²、人口密度は10641人/km²の大都市型二次医療圏である。
- *人口の将来予測： 北多摩南部の総人口は2025年に1017千人へと減少し(2015年比-1%)、2040年に965千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の105千人が、2025年にかけて149千人へと増加し(2015年比+42%)、2040年には172千人へと増加する(2025年比+15%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 北多摩南部の一人当たり医療費(国保)は299千円(偏差値40)、介護給付費は250千円(偏差値49)であり、医療費は低いが、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 北多摩南部の一人当たり急性期医療密度指数²は0.71、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.53で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。
- *医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が56(病院医師数58、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は47とやや少ない。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床数はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は52と全国平均レベルである。北多摩南部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の東京慈恵会医科大学附属第三病院(Ⅲ群)、東京都立小児総合医療センター(Ⅲ群)、東京都立多摩総合医療センター(Ⅱ群・救命)、武蔵野赤十字病院(Ⅱ群・救命)、杏林大学医学部付属病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上の榊原記念病院(Ⅲ群)、500例以上の府中恵仁会病院(Ⅲ群)がある。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は44と療養病床数は少ない。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は51で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 北多摩南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、9733人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が4245床(偏差値33)、高齢者住宅等が5488床(偏差値56)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6108人(75歳以上1000人当たりの偏差値34)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設37、特別養護老人ホーム37、介護療養型医療施設47、有料老人ホーム72、軽費ホーム45、グループホーム39、サ高住41である。

- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値48と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値52と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1421人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

- *介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-35%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(北多摩南部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

北多摩南部医療圏の総人口は、2005年968714人が、2015年に1022646人と6%増加し、2025年の人口が1016764人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に15%増加し、2015年から2025年にかけて10%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

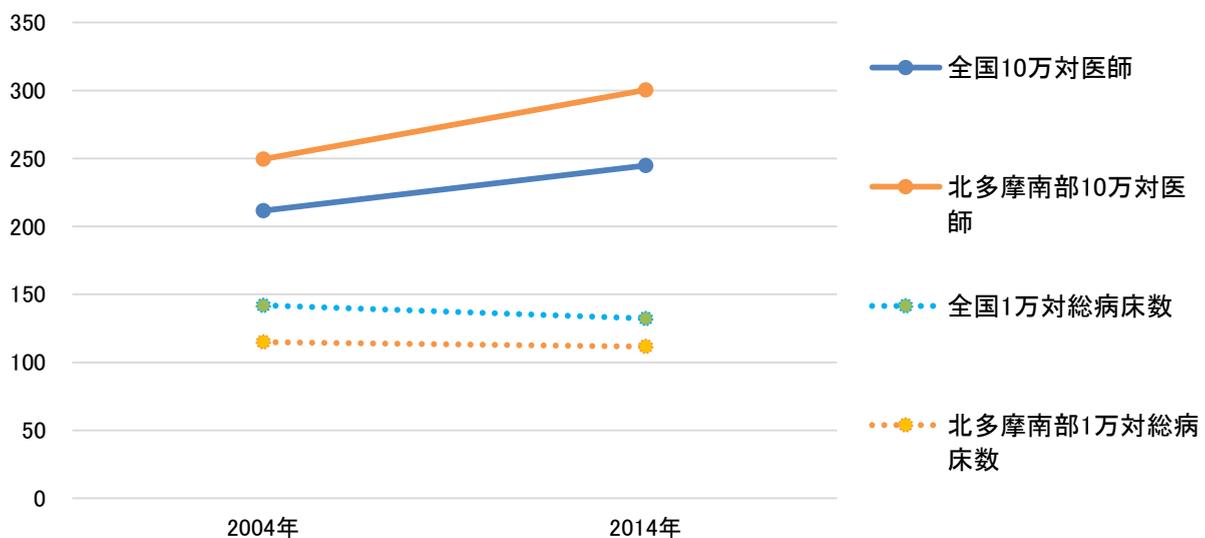
2004年の病院数が47(人口10万人当たり4.9病院(全国平均7.1)偏差値44)であったが、2014年に48(人口10万人当たり4.7病院(全国平均6.7)偏差値45)となり、10年間で1病院が増加した。

2004年の診療所数が796(人口10万人当たり82診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2014年に828(人口10万人当たり81診療所(全国平均79)偏差値51)と、32診療所が増加した。

2004年の総病床数が11134床(人口1万人当たり115(全国平均142)偏差値45)であったが、2014年に11420床(人口1万人当たり112(全国平均132)偏差値46)と、286床の増加、率にして3%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。

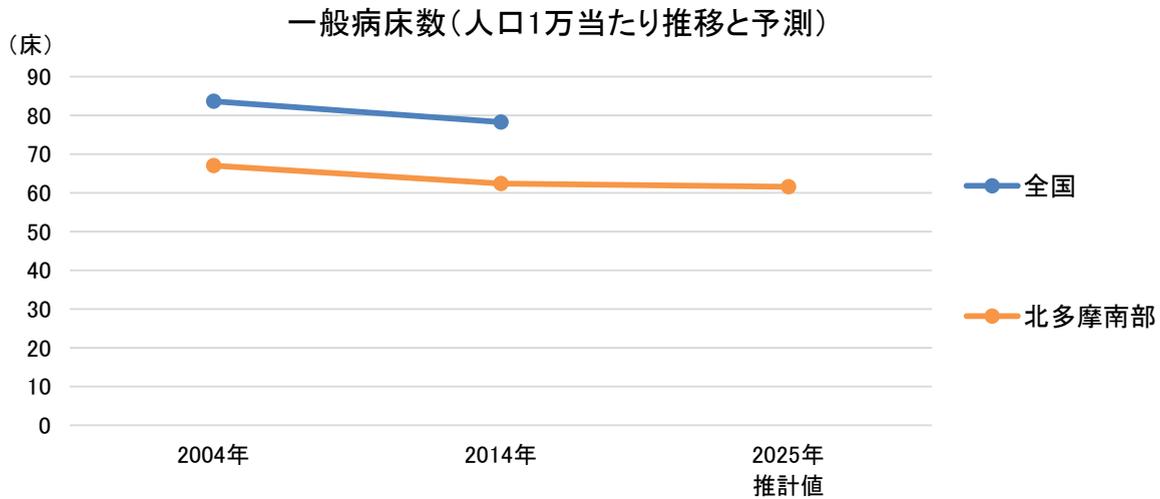
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が2416人(人口10万人当たり249人(全国平均212人)偏差値55)であったが、2014年に3071人(人口10万人当たり300人(全国平均245人)偏差値56)と、655人の増加、率にして27%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



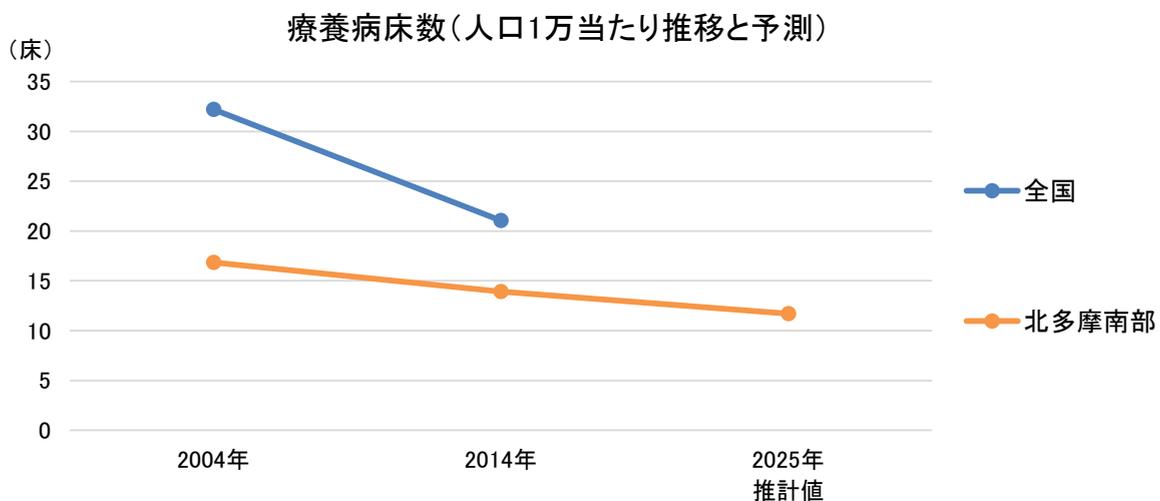
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が6495床(人口1万人当たり67(全国平均84)偏差値44)であったが、2014年に6384床(人口1万人当たり62(全国平均78)偏差値44)と、111床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には6262床(2025年の推計人口1万人当たり62)になることが予想される。



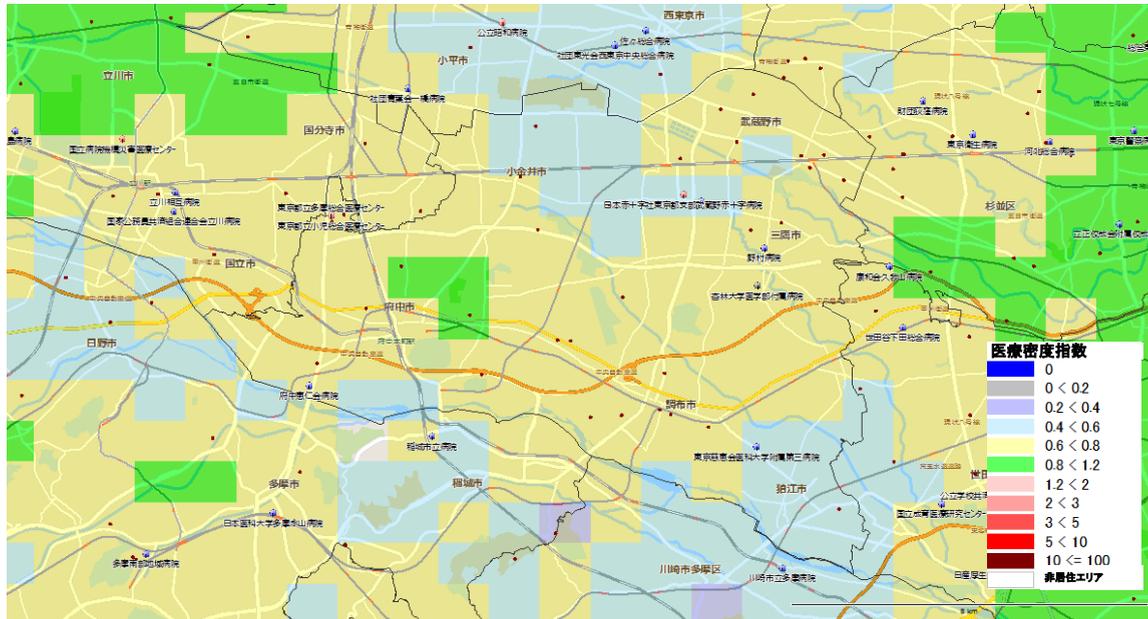
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1216床(75歳以上1000人当たり17(全国平均32)偏差値41)であったが、2014年に1464床(75歳以上1000人当たり14(全国平均21)偏差値44)と、248床の増加、率にして20%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には1737床(2025年の推計75歳以上1000人当たり12)になることが予想される。



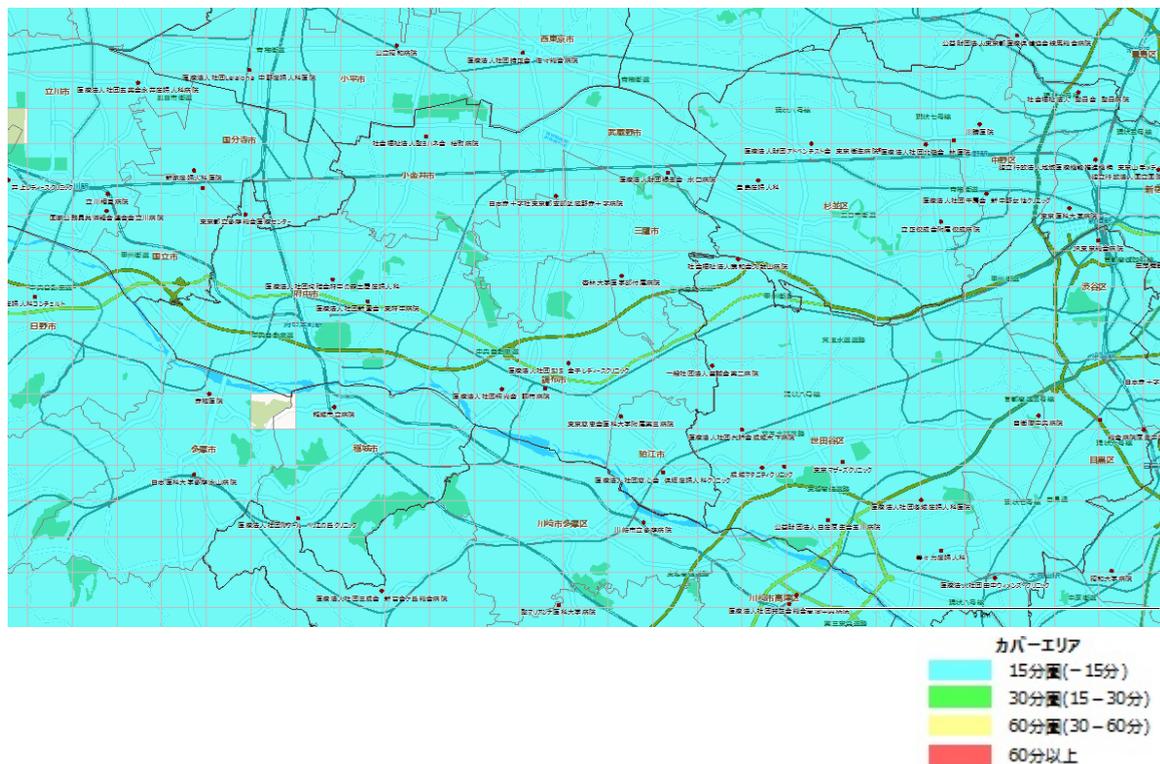
(北多摩南部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表13-11-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-11-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

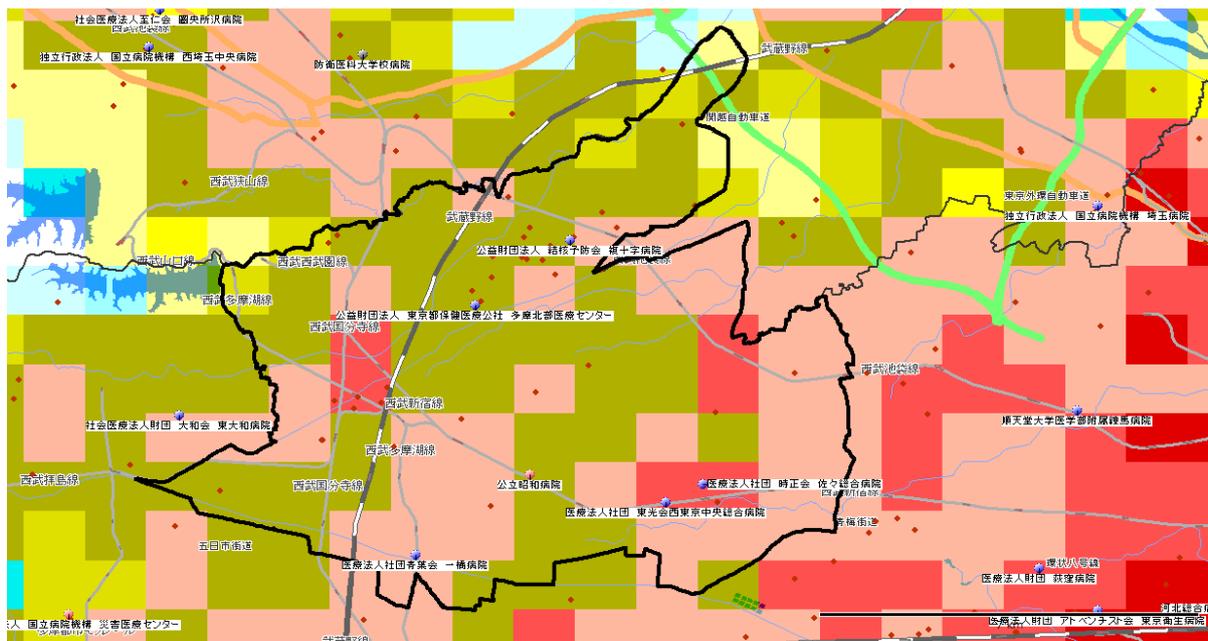
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



13-12. きたたまほくぶ 北多摩北部医療圏

構成市区町村⁹ [小平市](#) [東村山市](#) [清瀬市](#) [東久留米市](#)
[西東京市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(北多摩北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 北多摩北部(小平市)は、総人口約731千人(2015年)、面積77km²、人口密度は9560人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 北多摩北部の総人口は2025年に724千人へと減少し(2015年比-1%)、2040年に674千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の89千人が、2025年にかけて118千人へと増加し(2015年比+33%)、2040年には126千人へと増加する(2025年比+7%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 北多摩北部の一人当たり医療費(国保)は316千円(偏差値44)、介護給付費は246千円(偏差値48)であり、医療費は低い、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 北多摩北部の一人当たり急性期医療密度指数²は0.69、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.81で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が44(病院医師数45、診療所医師数43)と、総医師数と診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は43と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床数はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。北多摩北部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の公立昭和病院(Ⅱ群・救命)、500例以上の西東京中央総合病院(Ⅲ群)、佐々総合病院(Ⅲ群)、多摩北部医療センター(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値47とやや少なく、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は41で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 北多摩北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、9043人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が5110床(偏差値47)、高齢者住宅等が3933床(偏差値51)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5584人(75歳以上1000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設41、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設51、有料老人ホーム58、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム40、サ高住51である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値46とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値43と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値49と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1078人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-20%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(北多摩北部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

北多摩北部医療圏の総人口は、2005年707319人が、2015年に731469人と3%増加し、2025年の人口が723675人と予測され、2005年→2025年の間に2%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に16%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

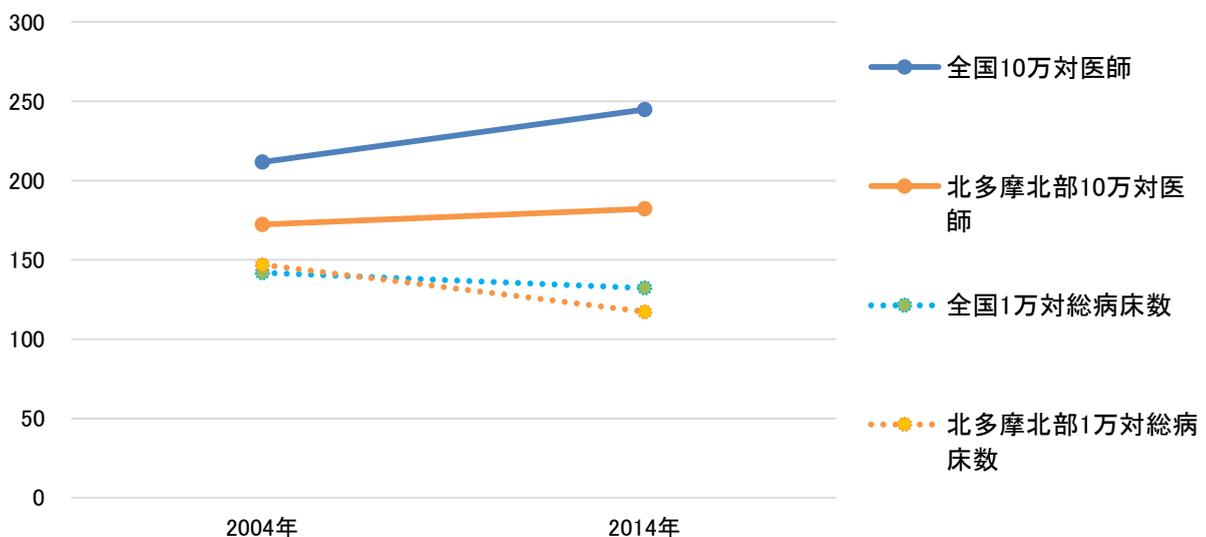
2004年の病院数が45(人口10万人当たり6.4病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2014年に41(人口10万人当たり5.6病院(全国平均6.7)偏差値47)となり、10年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が465(人口10万人当たり66診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2014年に468(人口10万人当たり64診療所(全国平均79)偏差値42)と、3診療所が増加した。

2004年の総病床数が10392床(人口1万人当たり147(全国平均142)偏差値51)であったが、2014年に8570床(人口1万人当たり117(全国平均132)偏差値47)と、1822床の減少、率にして18%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

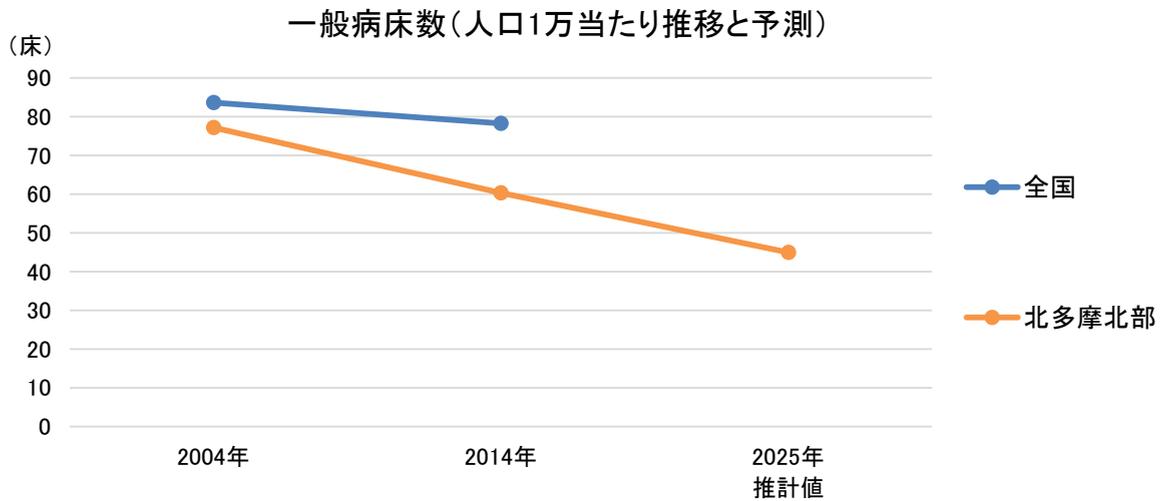
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が1219人(人口10万人当たり172人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2014年に1332人(人口10万人当たり182人(全国平均245人)偏差値43)と、113人の増加、率にして9%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



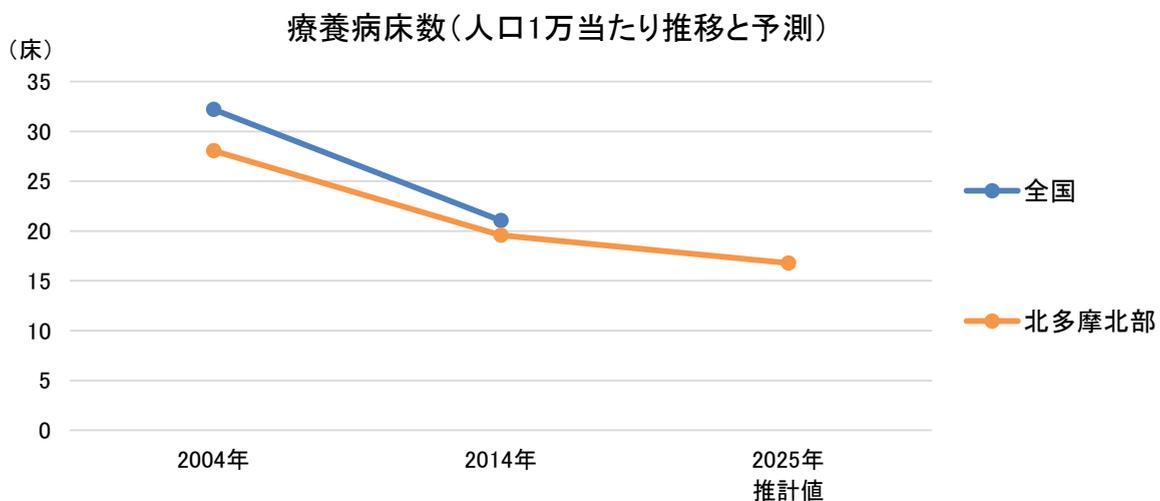
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5462床(人口1万人当たり77(全国平均84)偏差値48)であったが、2014年に4412床(人口1万人当たり60(全国平均78)偏差値43)と、1050床の減少、率にして19%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3257床(2025年の推計人口1万人当たり45)になることが予想される。



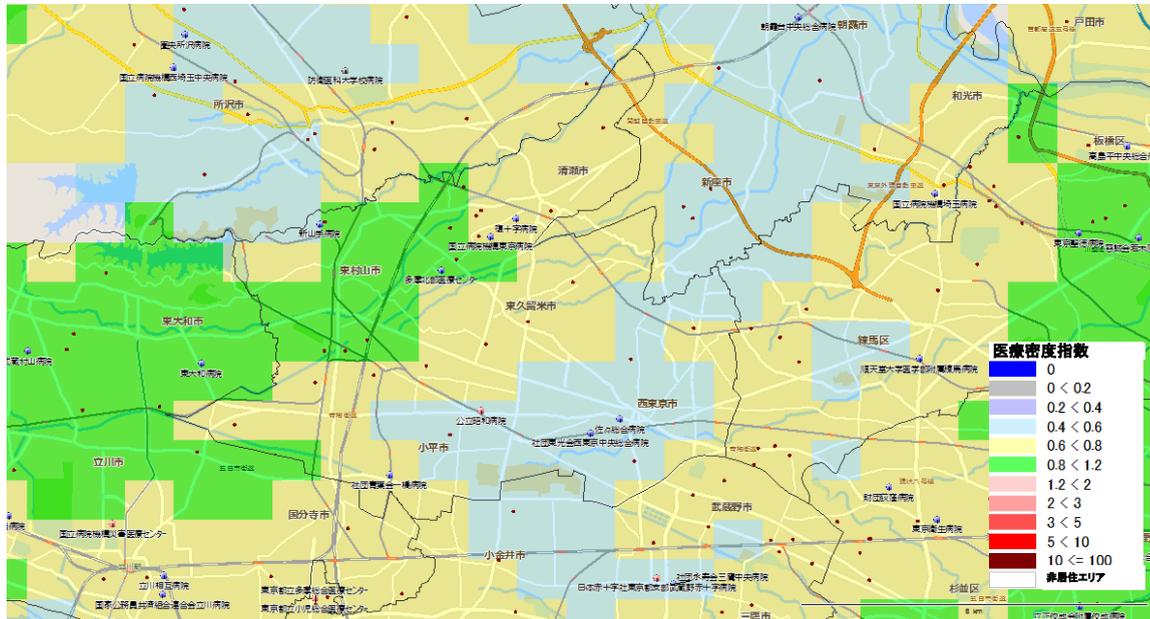
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1535床(75歳以上1000人当たり28(全国平均32)偏差値48)であったが、2014年に1743床(75歳以上1000人当たり20(全国平均21)偏差値49)と、208床の増加、率にして14%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には1972床(2025年の推計75歳以上1000人当たり17)になることが予想される。



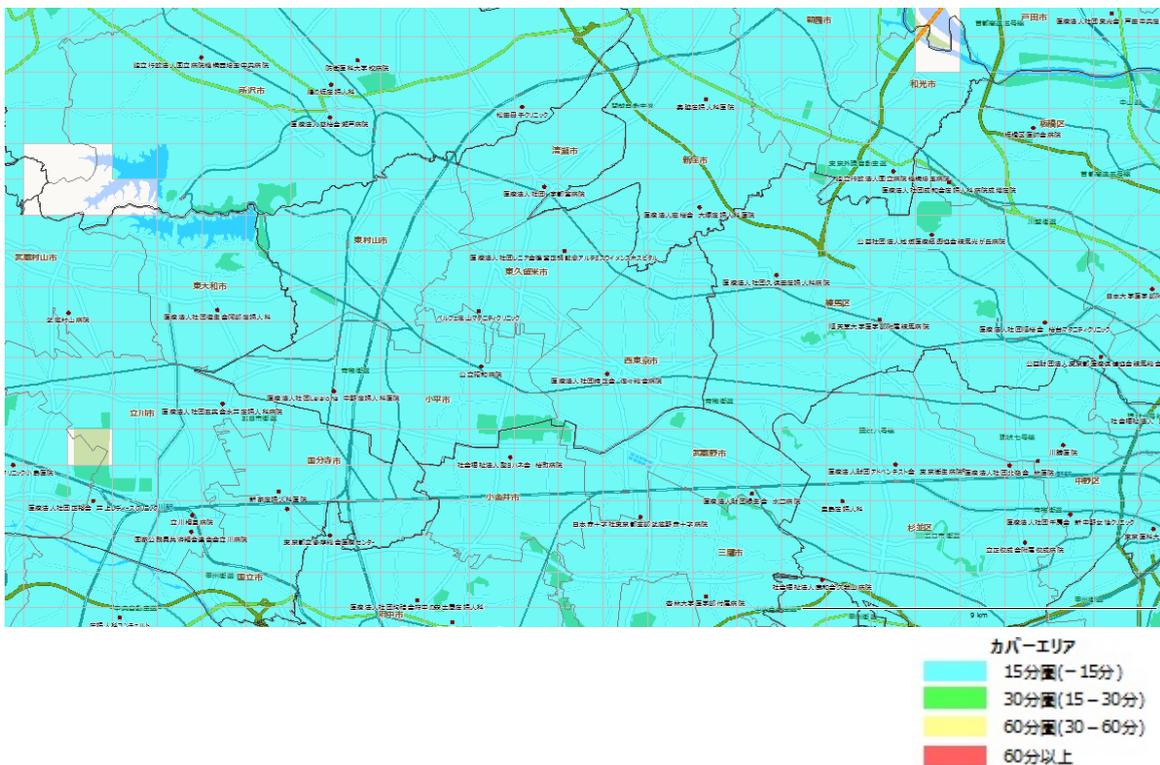
(北多摩北部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表13-12-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-12-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



13-13. とう島しょ医療圏

構成市区町村⁹

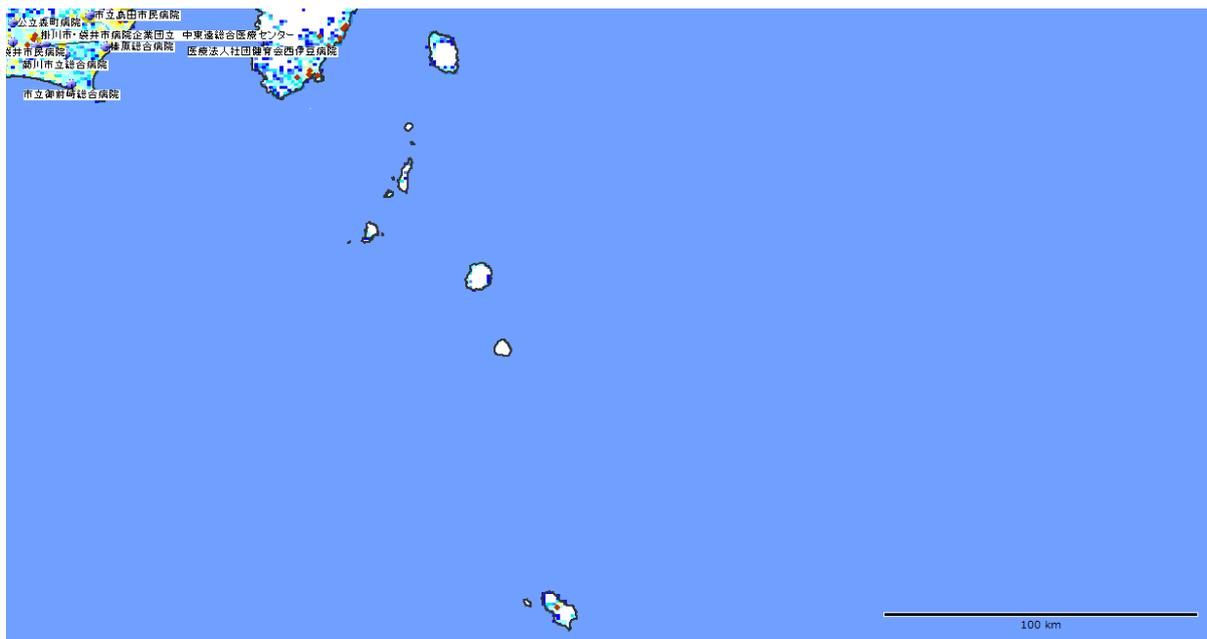
[大島町](#)
[三宅村](#)
[小笠原村](#)

[利島村](#)
[御蔵島村](#)

[新島村](#)
[八丈町](#)

[神津島村](#)
[青ヶ島村](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

● I群

● II群

● III群

● 一般病院

(島しょ医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 島しょ(大島町)は、総人口約26千人(2015年)、面積399km²、人口密度は66人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 島しょの総人口は2025年に23千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に19千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の4千人が、2025年にかけて5千人へと増加し(2015年比+25%)、2040年には4千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 島しょの一人当たり医療費(国保)は315千円(偏差値44)、介護給付費は260千円(偏差値52)であり、医療費は低いが、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 島しょの一人当たり急性期医療密度指数²は0.18、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.37で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が37(病院医師数28、診療所医師数60)と、総医師数は少ないが、診療所医師数は多く、病院医師数は非常に少ない。総看護師数の偏差値は36と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は28で、一般病床数は非常に少ない。全身麻酔数は0件である。島しょには、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 療養病床は0である。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値33と非常に少なく、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 精神病床数は0である。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 島しょの総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、298人(75歳以上1000人当たりの偏差値30)と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が289床(偏差値55)、高齢者住宅等が9床(偏差値25)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、243人(75歳以上1000人当たりの偏差値33)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設なし(偏差値11)、特別養護老人ホーム83、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム33、サ高住なし(偏差値30)である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値47とやや少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値30と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、26人(75歳以上1000人当たりの偏差値36)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-37%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(島しょ医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

島しょ医療圏の総人口は、2005年28744人が、2015年に26491人と8%減少し、2025年の人口が23443人と予測され、2005年→2025年の間に18%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年にほぼ増減なし、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

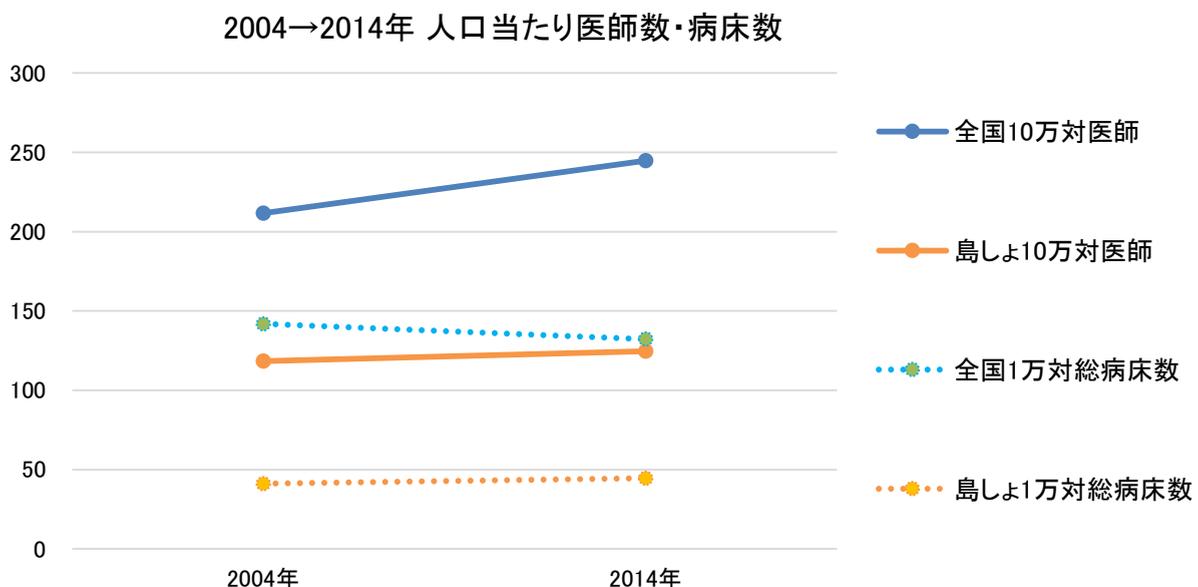
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が1(人口10万人当たり3.5病院(全国平均7.1)偏差値41)であったが、2014年に1(人口10万人当たり3.8病院(全国平均6.7)偏差値43)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が18(人口10万人当たり63診療所(全国平均76)偏差値43)であったが、2014年に22(人口10万人当たり83診療所(全国平均79)偏差値52)と、4診療所が増加した。

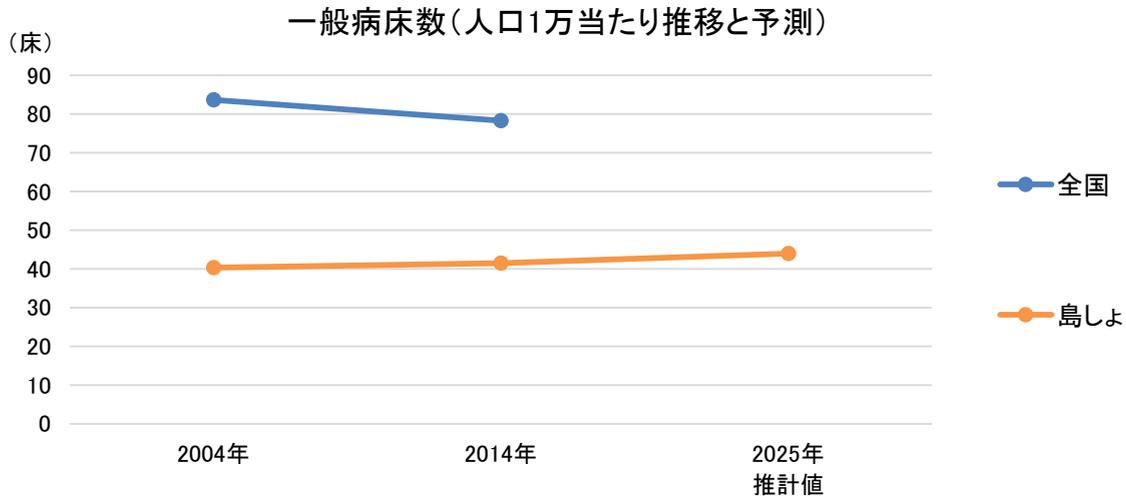
2004年の総病床数が118床(人口1万人当たり41(全国平均142)偏差値32)であったが、2014年に118床(人口1万人当たり45(全国平均132)偏差値34)と、増減がなかった(全国平均7%の減少)。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が34人(人口10万人当たり118人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2014年に33人(人口10万人当たり125人(全国平均245人)偏差値37)と、1人の減少、率にして3%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



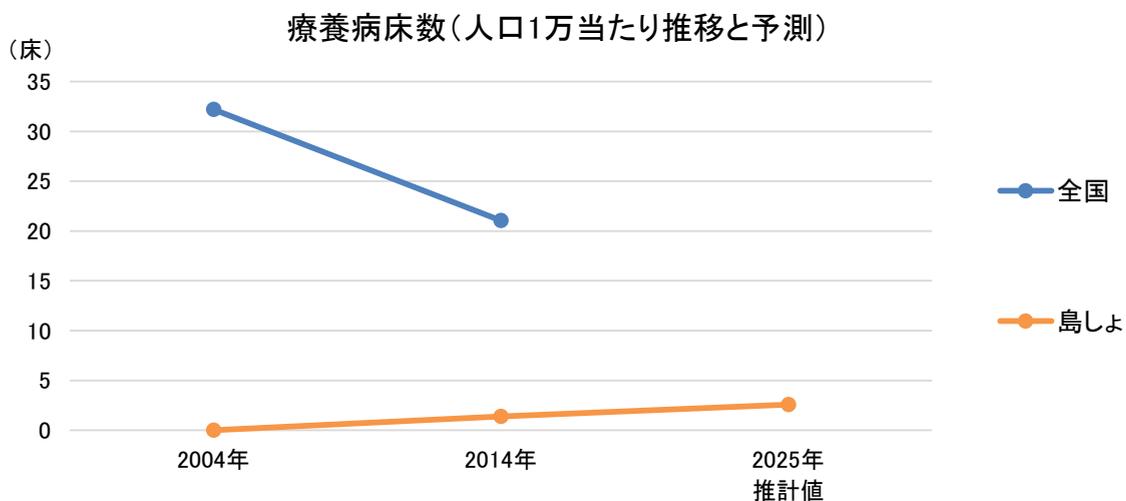
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が116床(人口1万人当たり40(全国平均84)偏差値35)であったが、2014年に110床(人口1万人当たり42(全国平均78)偏差値36)と、6床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には103床(2025年の推計人口1万人当たり44)になることが予想される。



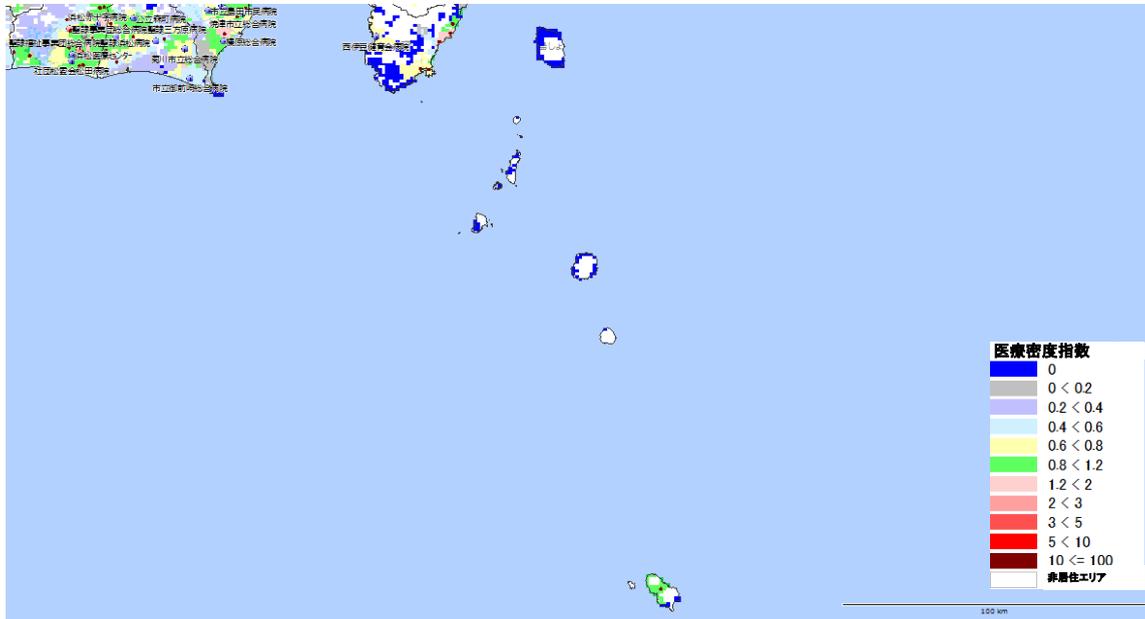
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が0床(75歳以上1000人当たり0(全国平均32)偏差値32)であったが、2014年に6床(75歳以上1000人当たり1(全国平均21)偏差値33)と、6床の増加、率にして100%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には13床(2025年の推計75歳以上1000人当たり3)になることが予想される。



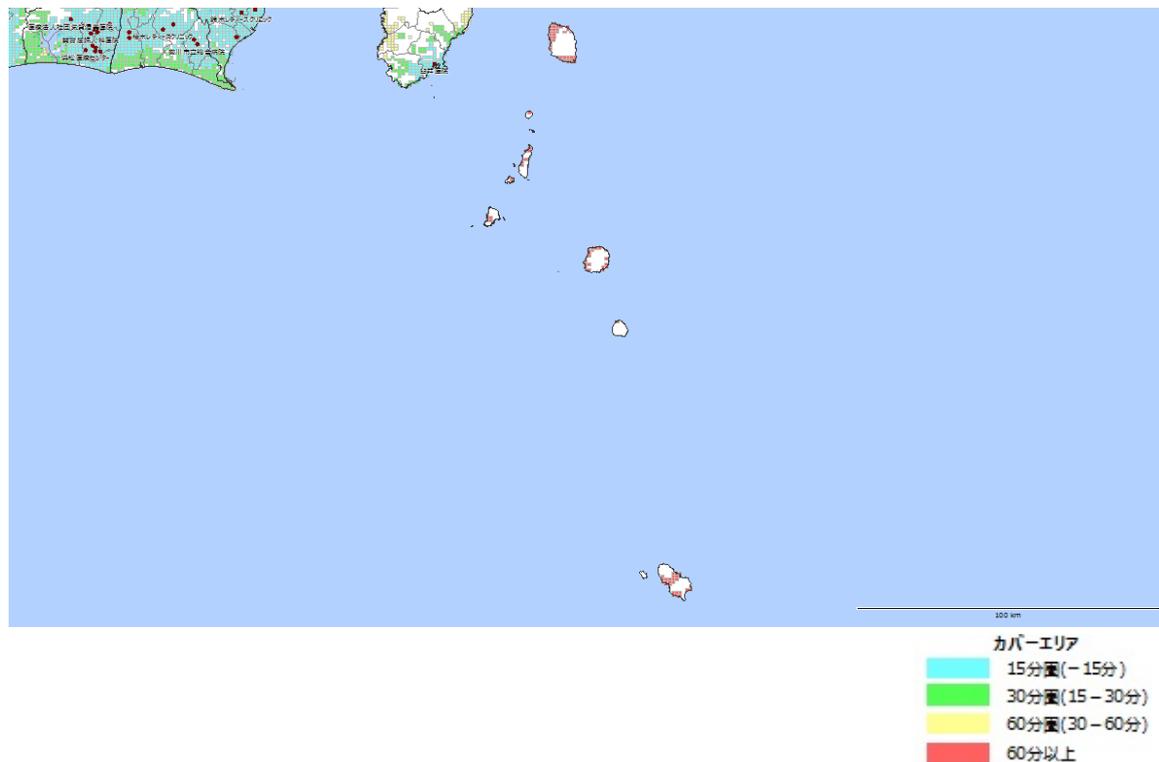
(都しよ医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表13-13-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-13-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。（集計方法は補論参照のこと）



注

¹1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

³【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成27年病院報告(厚生労働省 平成27年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

⁵急性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

⁶日医総研WP no.375「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集(2016年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

⁷医療費は市町村国民健康保険のみ。複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

複数医療圏にまたがる広域連合の介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

⁸医療需要は(0~64歳人口) + (65~74歳人口) × 3.1 + (75歳以上人口) × 5.0で算出。

⁹日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。